

(案)

原子力発電所周辺環境放射能測定結果

(令和元年度 第 1 四半期)

福 島 県

目次

第1	測定結果の概要	1
第2	測定項目	8
第3	測定方法	14
第4	測定結果	
4-1	空間放射線	
4-1-1	空間線量率	20
4-1-2	空間積算線量	21
4-2	環境試料	
4-2-1	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	22
4-2-2	環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種）	23
4-2-3	環境試料中の核種濃度（ベータ線放出核種）	25
4-2-4	環境試料中の核種濃度（アルファ線放出核種）	26
第5	原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表	
5-1	空間放射線	
5-1-1	空間線量率	29
5-1-2	空間積算線量	32
5-2	環境試料	
5-2-1	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	35
5-2-2	大気浮遊じんの核種濃度	37
5-2-3	大気中水分のトリチウム濃度	41
5-2-3	降水物の核種濃度	42
5-2-4	環境試料中の核種濃度	43
5-3	比較対照地点	
5-3-1	空間線量率（比較対照地点）	46
5-3-2	大気浮遊じんの核種濃度（比較対照地点）	47
5-3-3	大気中水分のトリチウム濃度（比較対照地点）	48
5-3-4	降水物の核種濃度（比較対照地点）	49
5-3-5	環境試料中の核種濃度（比較対照地点）	50
5-4	試料採取時の付帯データ集	51
第6	参考資料	
6-1	福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う 海水モニタリング結果（公表資料）	52

必要に応じて、福島県原子力安全対策課のホームページに掲載している原子力用語集をご活用下さい。

○URL
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16025c/genan183.html>

○または、
福島県原子力安全対策課トップページ → 参考資料 → 原子力用語集

第 1 測定結果の概要

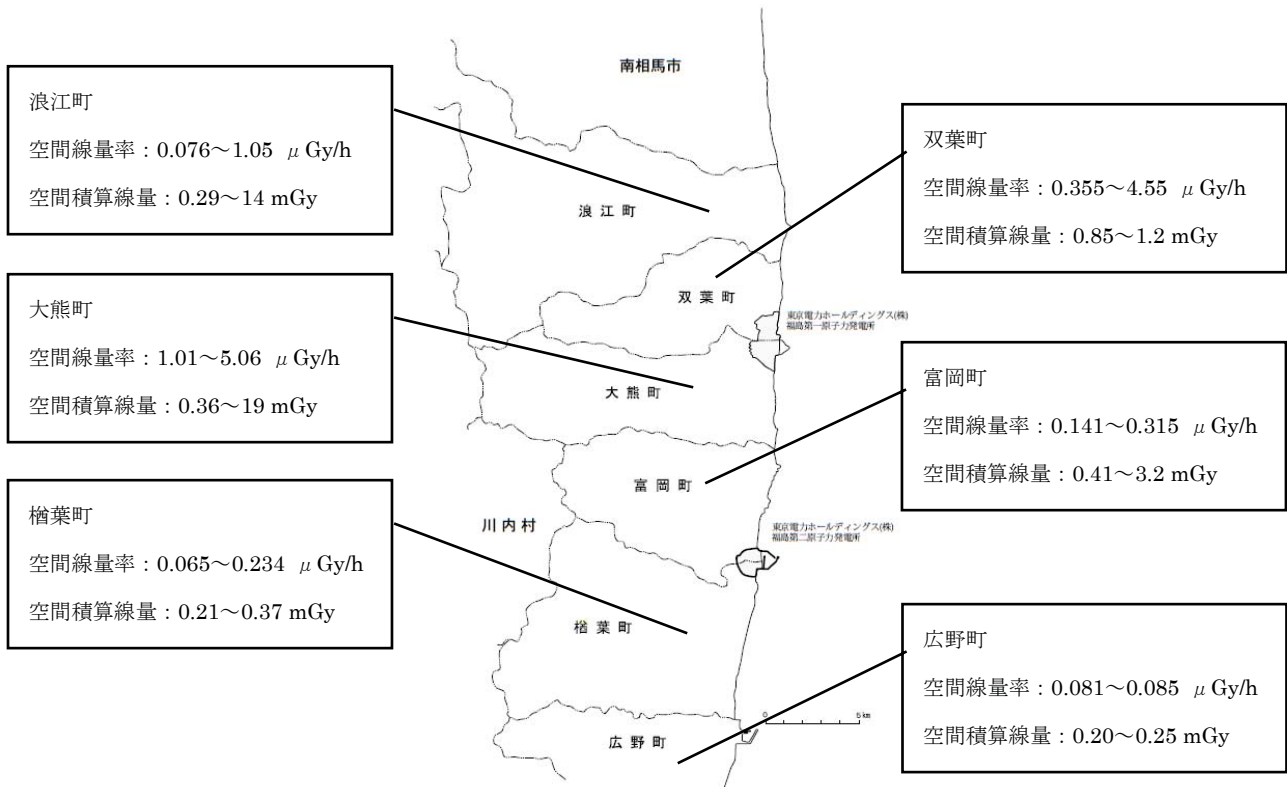
福島県が令和元年度第 1 四半期（平成 31 年 4 月～令和元年 6 月）に実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりです。東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故による影響を受けた空間線量率や環境試料については、一部を除いて事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

1 空間放射線

- 空間線量率について、今期の測定値（月間平均値 0.045～5.06 $\mu\text{Gy/h}$ ）は、いわき市小川、いわき市下桶売及び南相馬市萱浜の 3 地点を除く各地点で、事故前の測定値の範囲（月間平均値 0.033～0.054 $\mu\text{Gy/h}$ ）を上回っています。全体として年月の経過とともに減少する傾向にありました。
- 空間積算線量（90 日換算値）については、今期の測定値（0.16～19 mGy）は事故前の測定値の範囲（0.10～0.14 mGy）を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

【町別の空間線量率及び空間積算線量】

※ 空間線量率と空間積算線量の測定地点は同一とは限りません。詳細な地点は p.9 図 2-1 環境放射能等測定地点を参照してください。

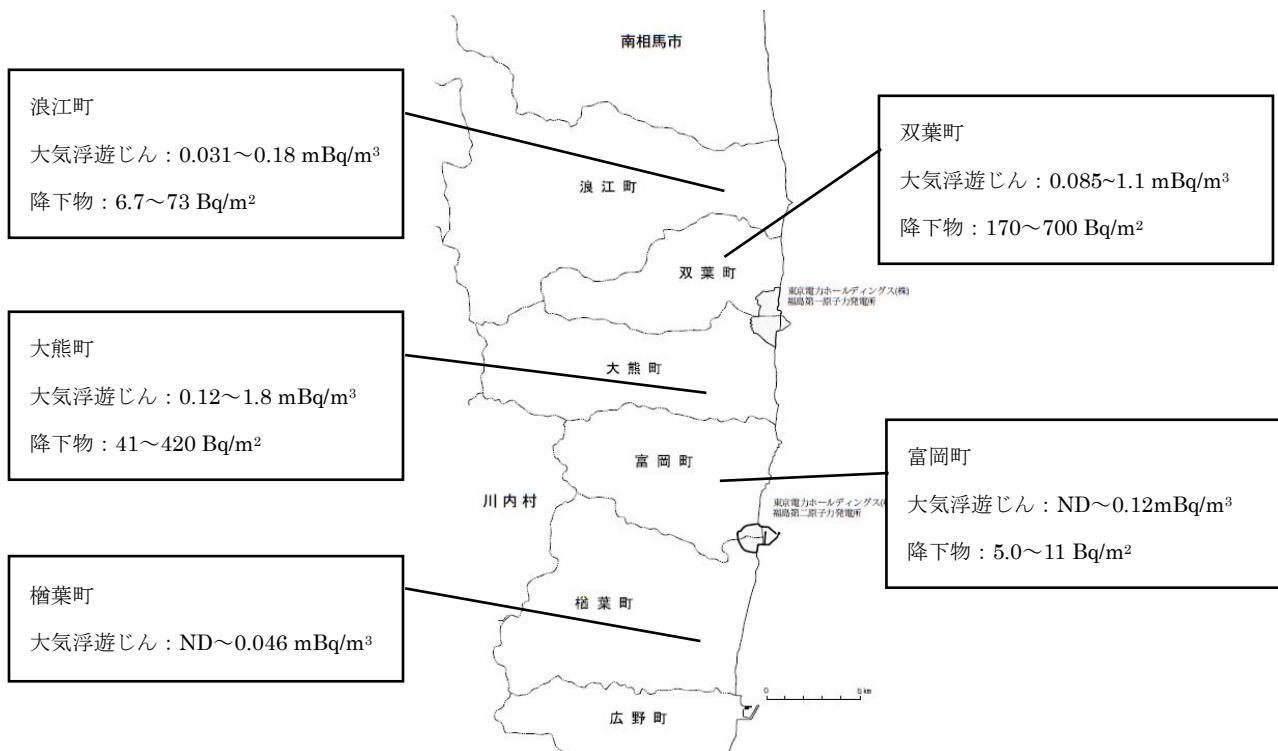


2 環境試料の核種濃度

- 大気浮遊じん、降下物、土壌、上水、海水、海底土及び松葉の7品目の試料からセシウム-134及びセシウム-137が検出され、事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期の測定値と比較すると概ね横ばい傾向にあります。
上水の一部からセシウム-134及びセシウム-137が検出されていますが、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値である10Bq/kg(10Bq/L)を大きく下回っています。
- 大気中水分、上水の試料からトリチウムが検出され、大気中水分の大熊町夫沢、双葉町郡山の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、前年度の測定値の範囲内でした。上水のトリチウムの測定値は事故前の測定値の範囲内でした。
- 海水の試料からストロンチウム-90が検出され、事故前の測定値の範囲を上回った試料がありましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前年度の測定値の範囲内でした。海底土の試料からストロンチウム-90が検出され、事故前の測定値の範囲を上回った試料がありましたが、前年度の測定値の範囲内でした。
- 土壌の試料からプルトニウム-238が検出されましたが、事故後の測定値の範囲内でした。土壌、海水、海底土の試料からプルトニウム-239+240が検出され、土壌の浪江町幾世橋及び海水の第一(発)南放出口付近の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故後の測定値の範囲内でした。海底土は事故前の測定値の範囲内でした。
- 土壌の試料からアメリカシウム-241、キュリウム-244が検出されました。

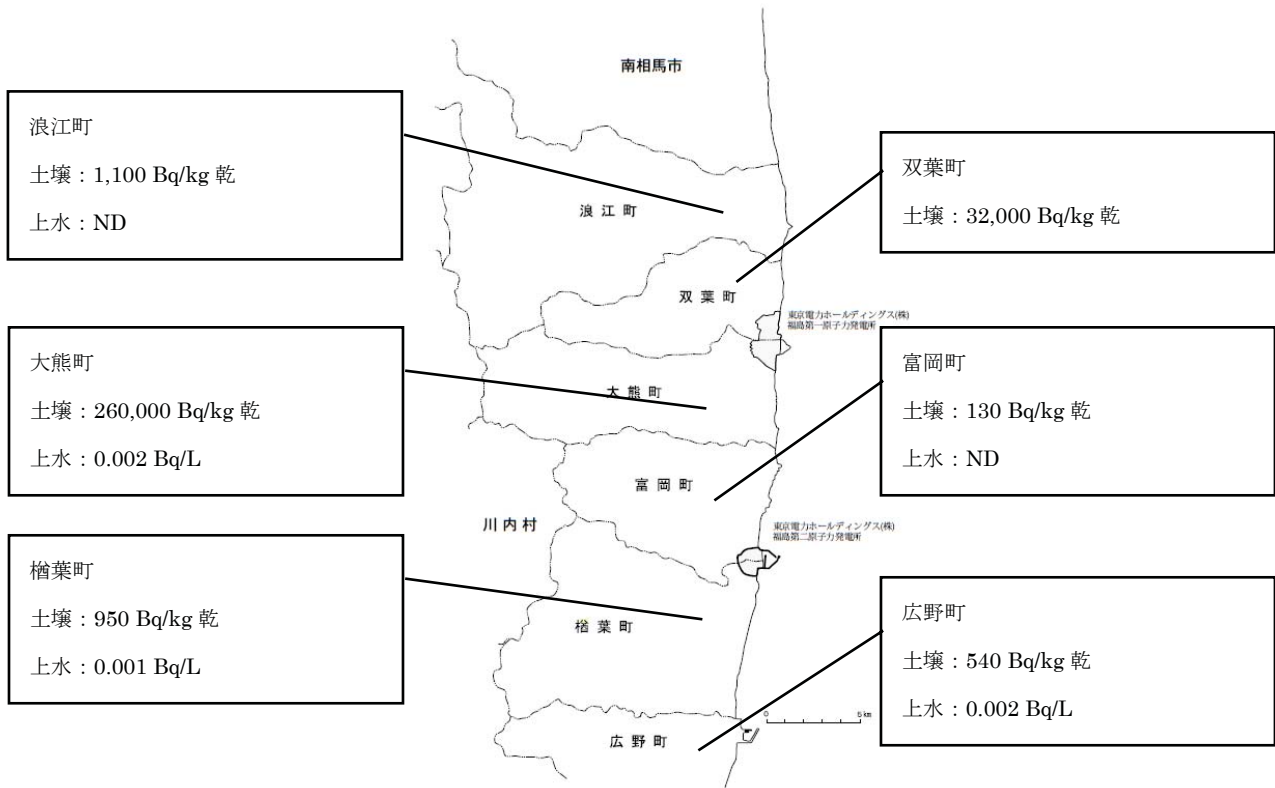
【町別の大気浮遊じん及び降下物のセシウム-137濃度】

※ 大気浮遊じんと降下物の採取地点は同一とは限りません。詳細な地点は p.11 図2-3 環境試料採取地点を参照してください。

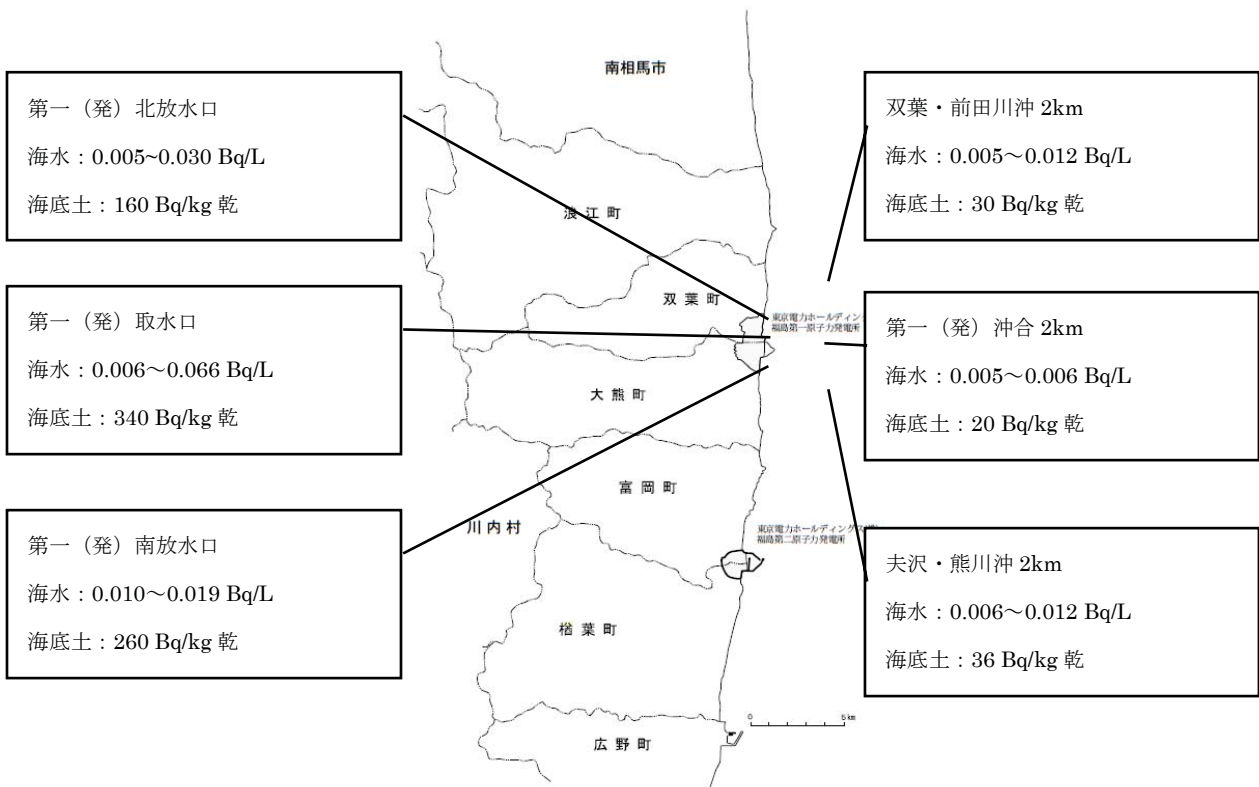


【町別の土壌及び上水のセシウム-137濃度】

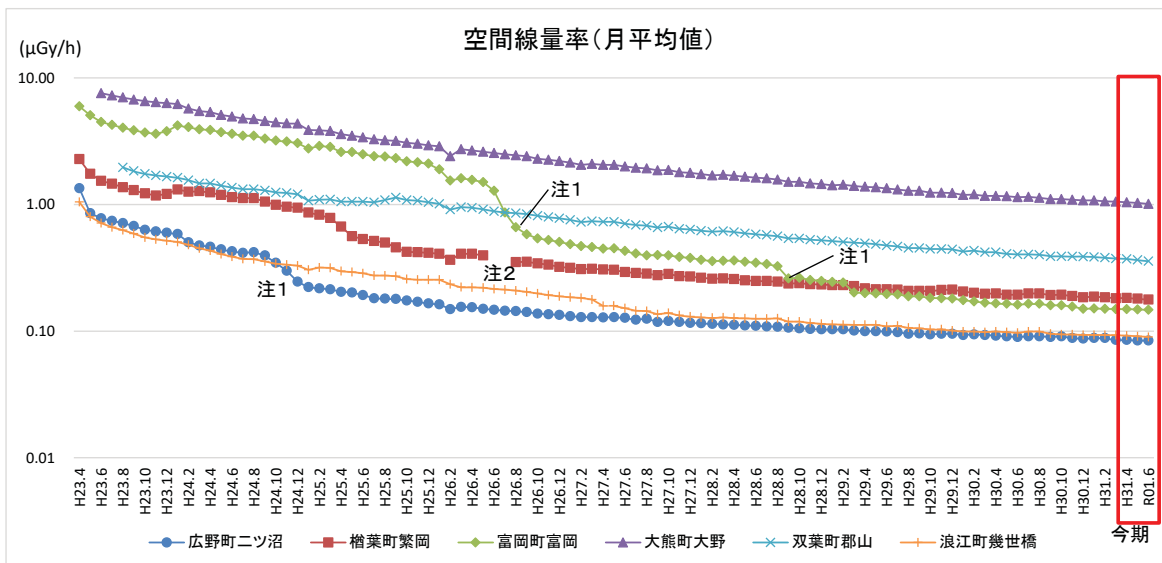
※ 土壌と上水の採取地点は同一とは限りません。詳細な地点は p.11 図 2-3 環境試料採取地点を参照してください。



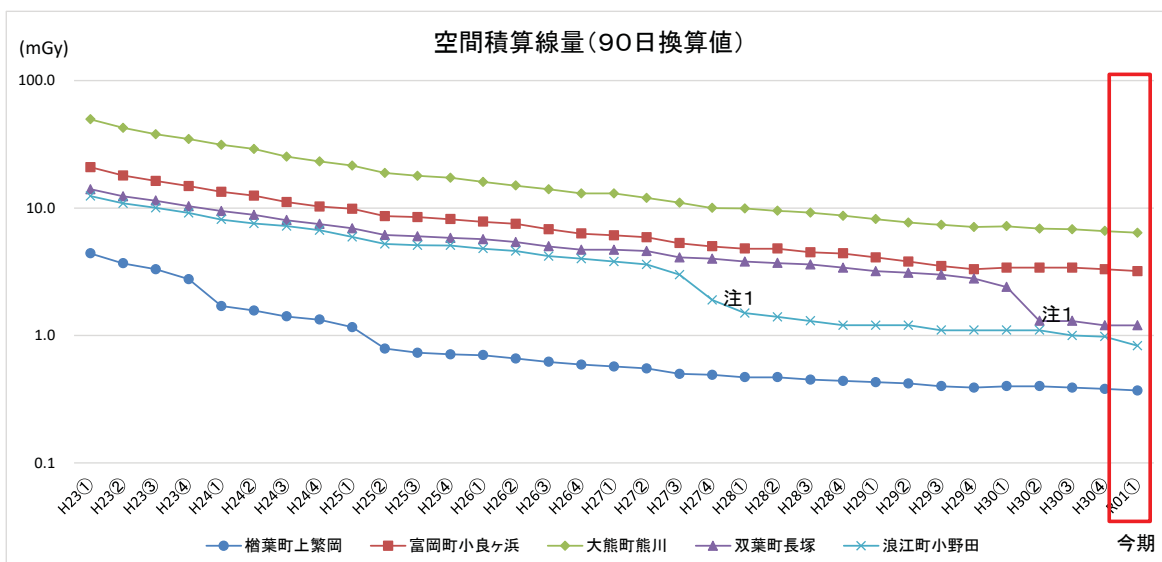
【海水及び海底土のセシウム-137濃度】



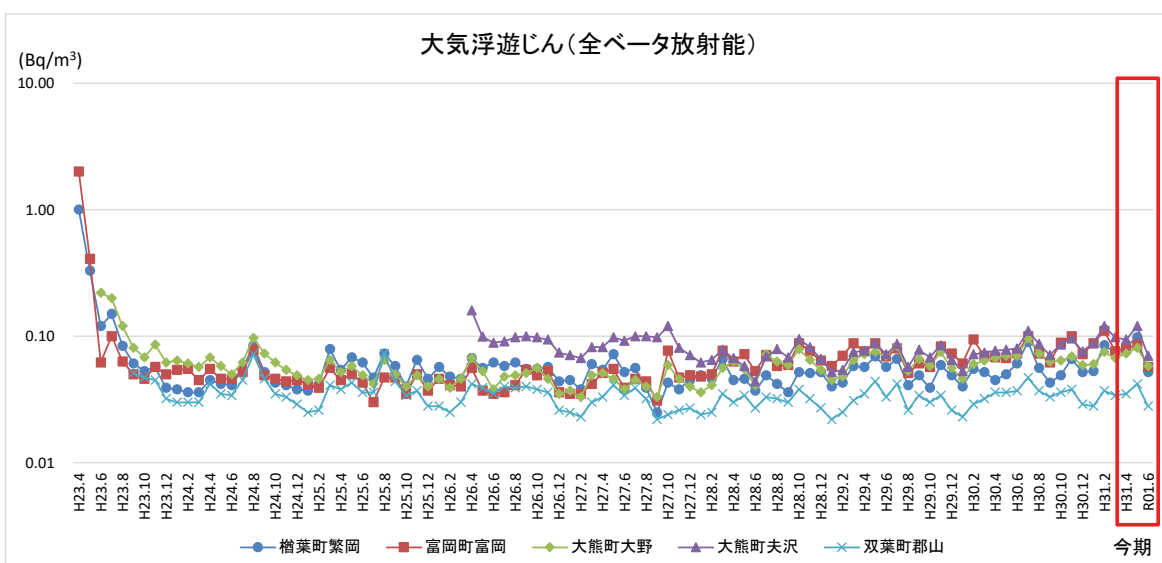
事故後の各項目毎のトレンドグラフ

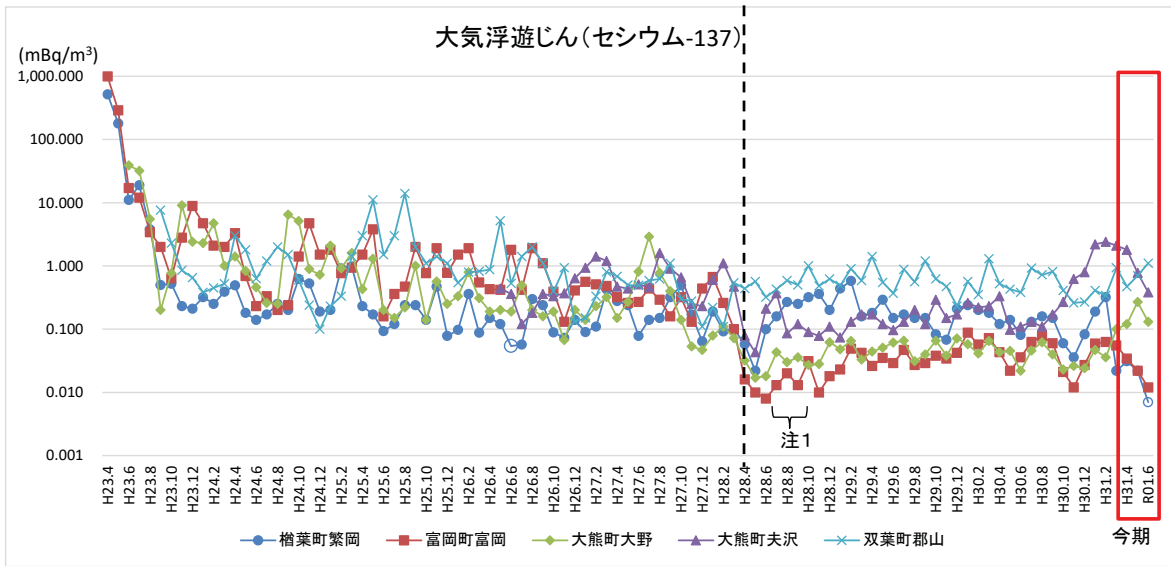


注1: 除染による減少、注2: 欠測

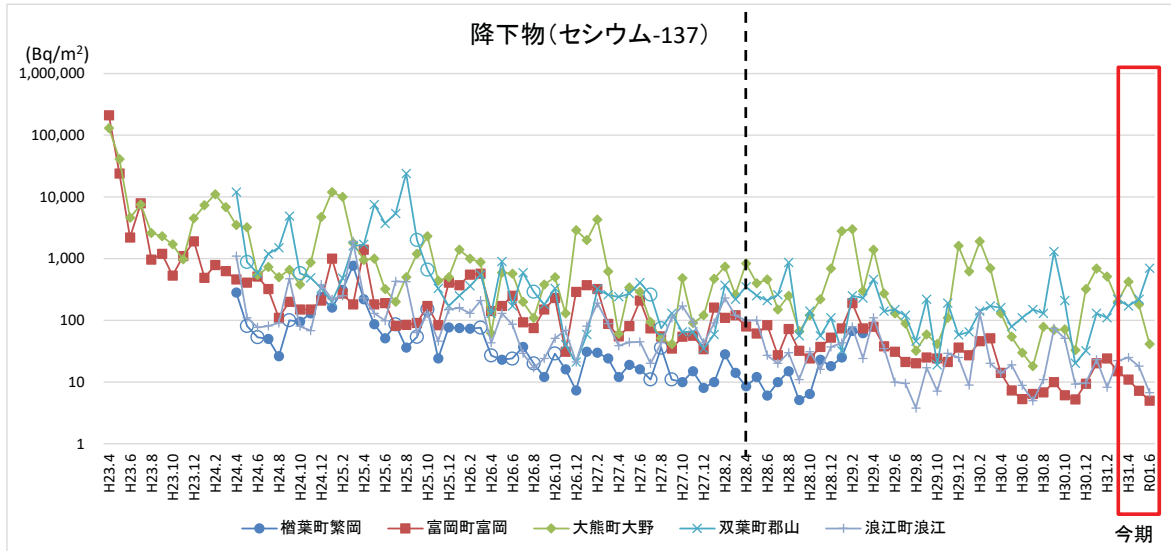


注1: 除染による減少

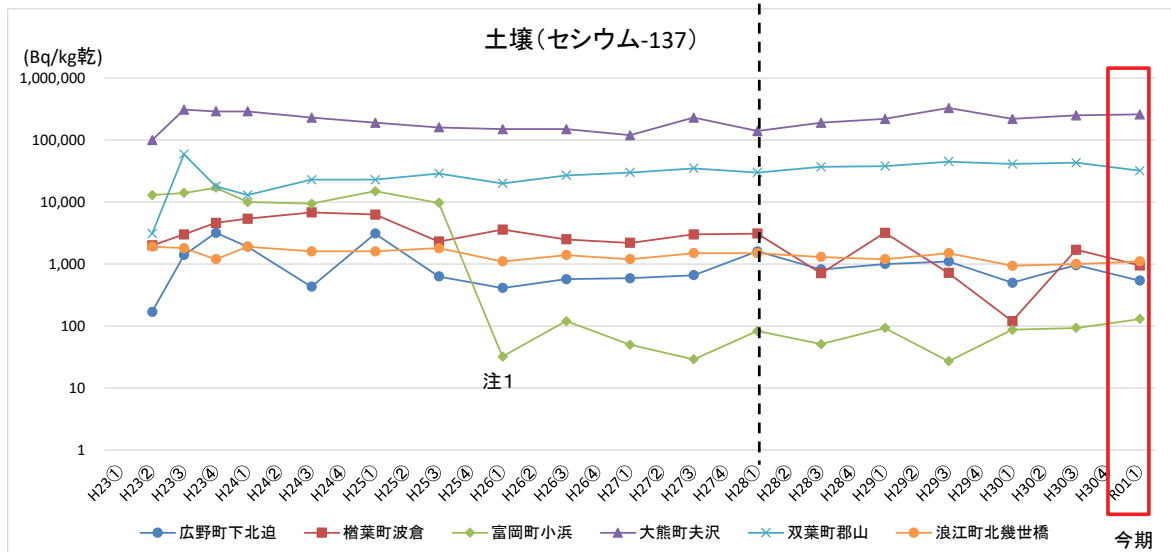




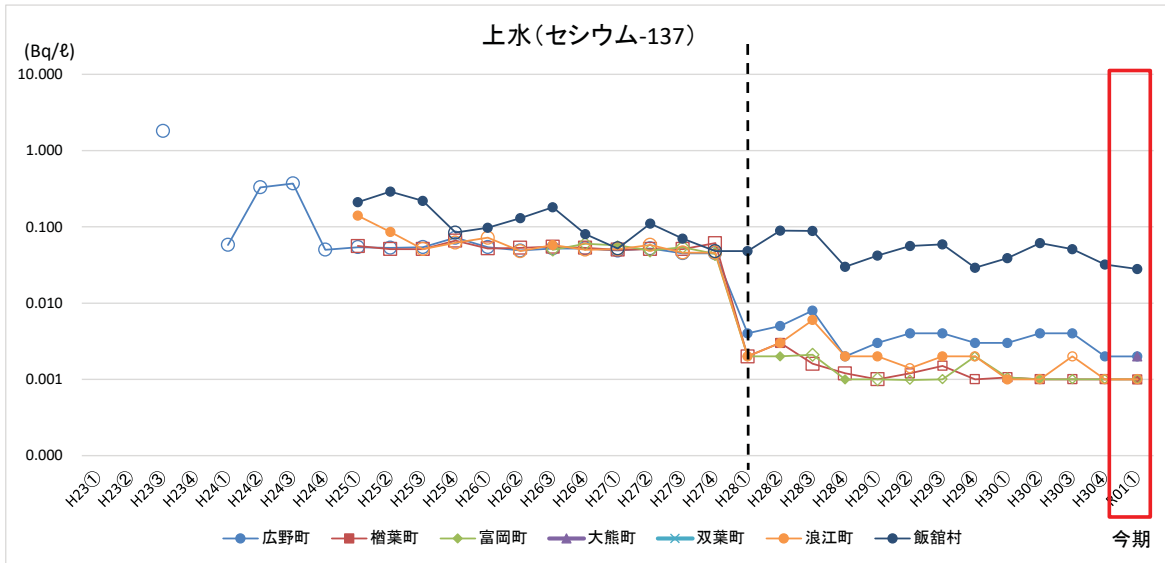
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 富岡町富岡は機器不具合のため平成28年7月から10月は参考値



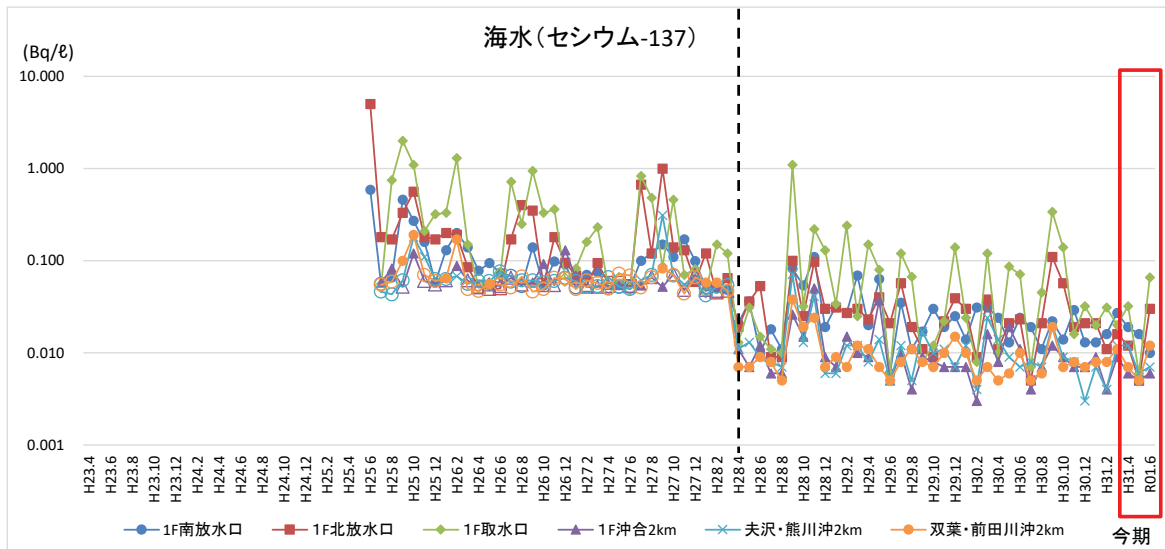
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。



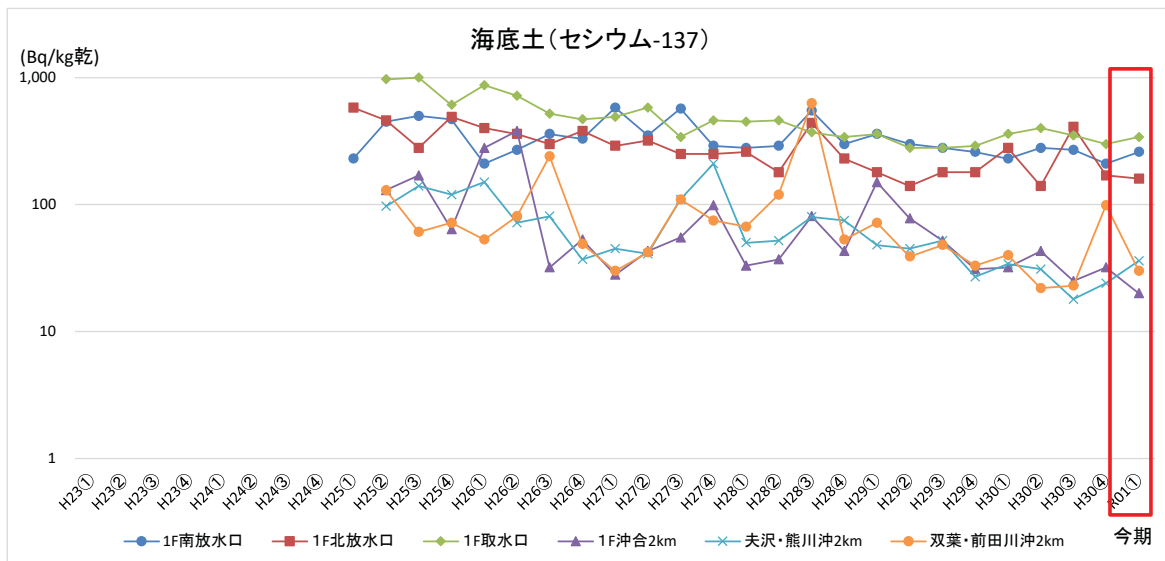
・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 除染による減少

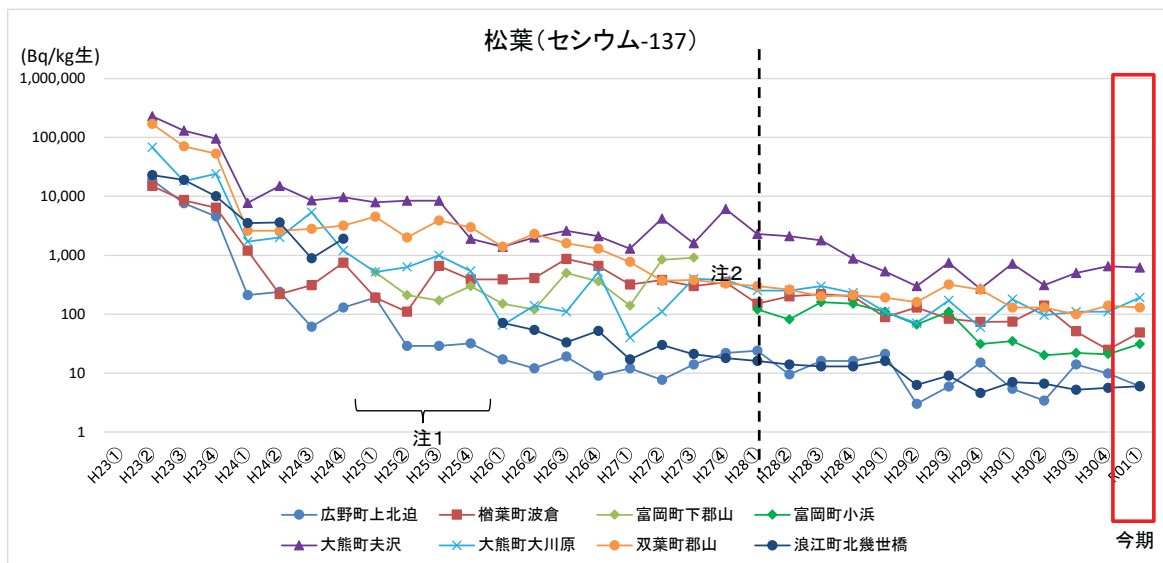


・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方に戻し、検出下限値が低下。



・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方に戻し、検出下限値が低下。





・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 浪江町北幾世橋は平成25年度は調査未実施
 注2: 富岡町下郡山は平成27年第4四半期以降試料採取が困難となったため、平成28年第1四半期より富岡町小浜で試料採取を行っている。

第 2 測 定 項 目

令和元年度第1四半期（平成31年4月～令和元年6月）測定分

1 測定項目

(1) 空間放射線

項 目	計画地点数	調査地点数 (今期)	測定頻度	実施機関
空間線量率	39	39	連 続	環境創造センター
空間積算線量	64	64	3 カ月積算	

(2) 環境試料

区 分	試 料 名	計画地点数	調査地点数 (今期)	採取回数 (今期)	採取頻度	測定試料数 (今期)							実施機関	
						全β	γ	¹³¹ I	³ H	Sr	Pu	Am,Cm		
大 気	大気浮遊じん	17	17	3	毎月	連続 全α全β	51							環境創造 センター
		25	25	3			75							
	大気中水分	5	5	3	毎月				15					
降 下 物	降 下 物	10	10	3	毎月		30							
土 壤	土 壤	15	15	1	年2回		15							
			15	1	年1回					15	15	15		
陸 水 上	水	13	12	1	年4回		12		12					
			0	0	年1回					0	0			
海 水	海 水	6(*1)	6(*1)	3	毎月	18	18		18	18	18			
		2(*2)	2(*2)	1	年4回	2	2		2					
					年1回					2	2			
海 底 土	海 底 土	6(*1)	6(*1)	1	年4回		6			6	6			
		2(*2)	2(*2)	1	年4回		2							
					年1回					2	2			
指 標 植 物	松 葉	15	15	1	年4回		15	15						
指 標 海 洋 生 物	ほんだわら	2	0	0	年1回		0	0		0	0			

*1 東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所周辺海域

*2 東京電力ホールディングス（株）福島第二原子力発電所周辺海域

2 測定項目（比較対照地点調査）

(1) 空間放射線

項 目	計画地点数	調査地点数 (今期)	測定頻度	実施機関
空間線量率	3	3	連 続	環境創造センター

(2) 環境試料

区 分	試 料 名	計画地点数	調査地点数 (今期)	採取回数 (今期)	採取頻度	測定試料数 (今期)							実施機関
						全β	γ	¹³¹ I	³ H	Sr	Pu	Am,Cm	
大 気	大気浮遊じん	7	7	3	毎月		21						
	大気中水分	1	1	3					3				
降 下 物	降 下 物	2	2	3	毎月		6						
土 壤	土 壤	7	7	1	年1回		7			7	7		
		1	1	1								1	
陸 水 上	水	2	1	1	年1回		1		1				
		1	0	0						0	0		
海 水	海 水	1	0	0	年1回	0	0		0	0	0		
海 底 土	海 底 土	1	0	0	年1回		0			0	0		
指 標 植 物	松 葉	5	5	1	年4回		5	5					

図2-1 環境放射能等測定地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

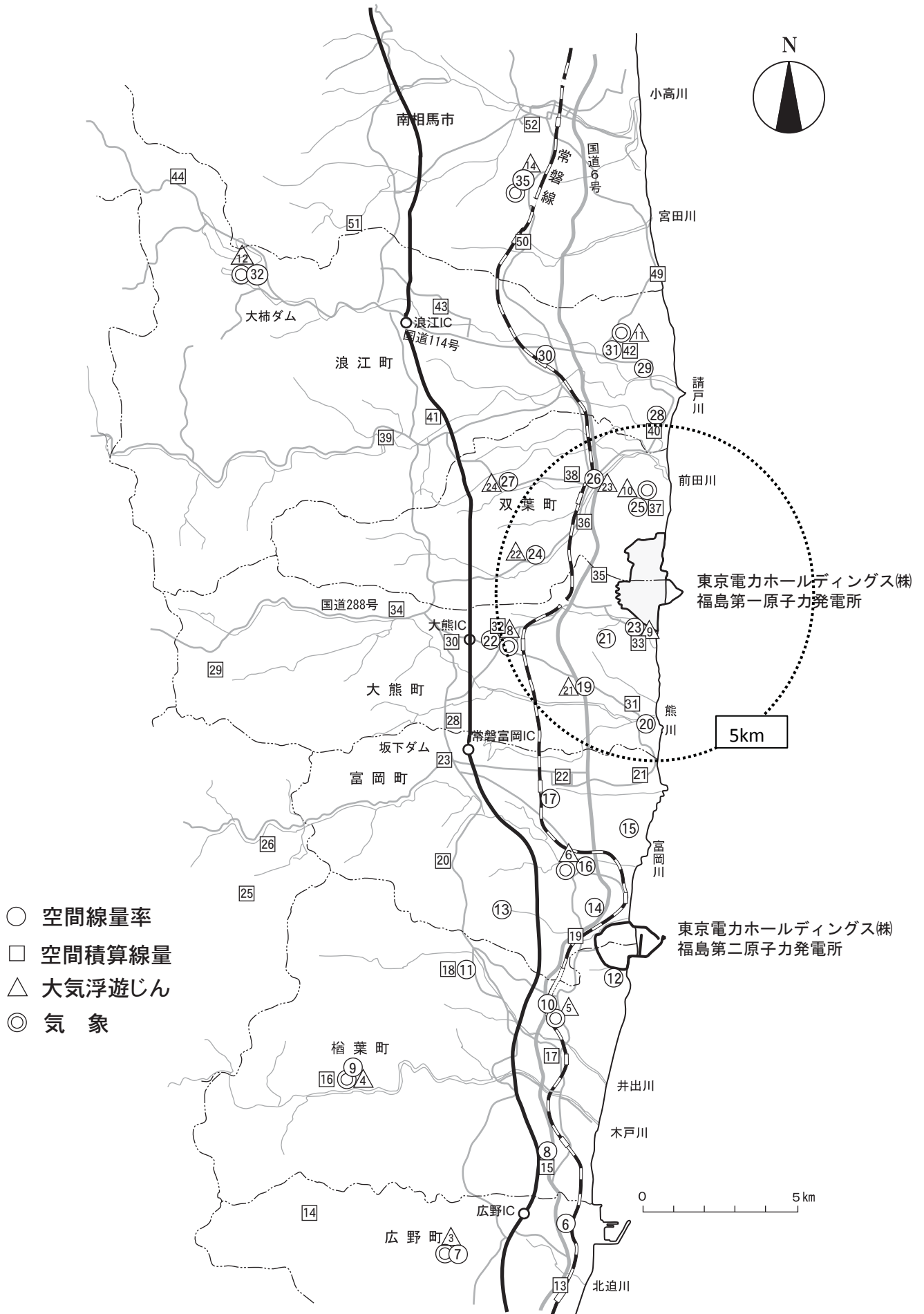
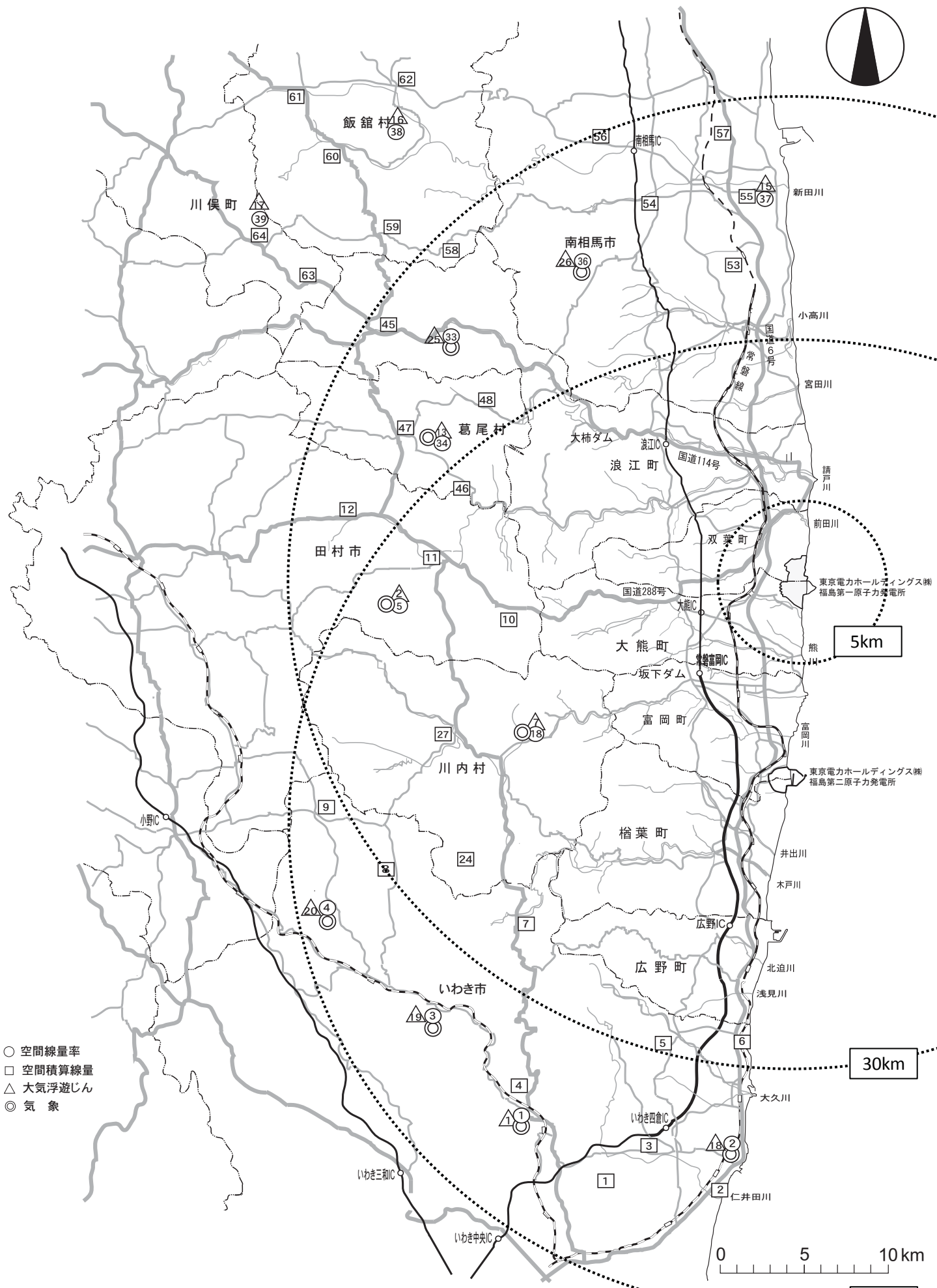


図2-2 環境放射能等測定地点（広域）



- 空間線量率
- 空間積算線量
- △ 大気浮遊じん
- ◎ 気象

図2-3 環境試料採取地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

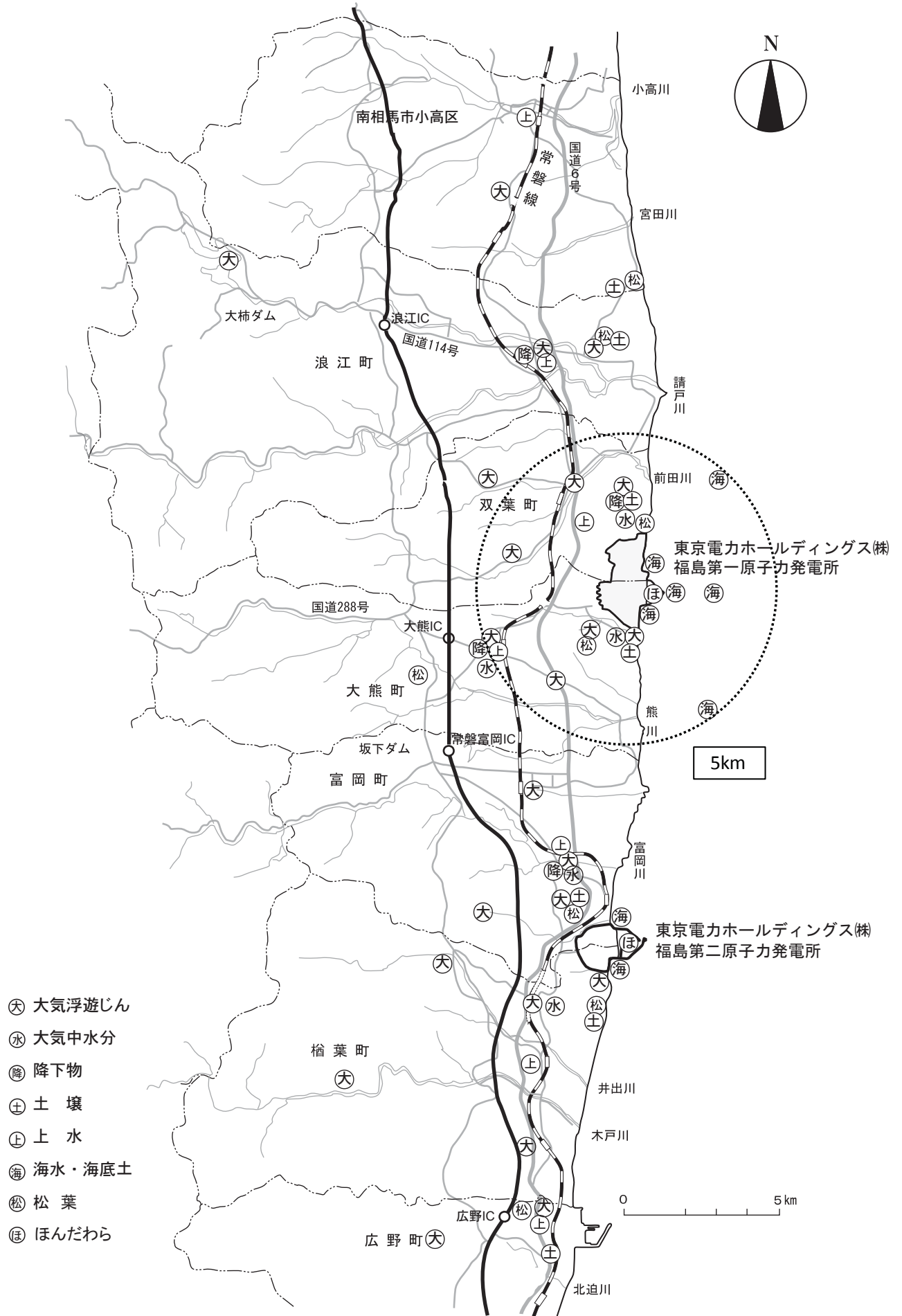


図2-4 環境試料採取地点（広域）

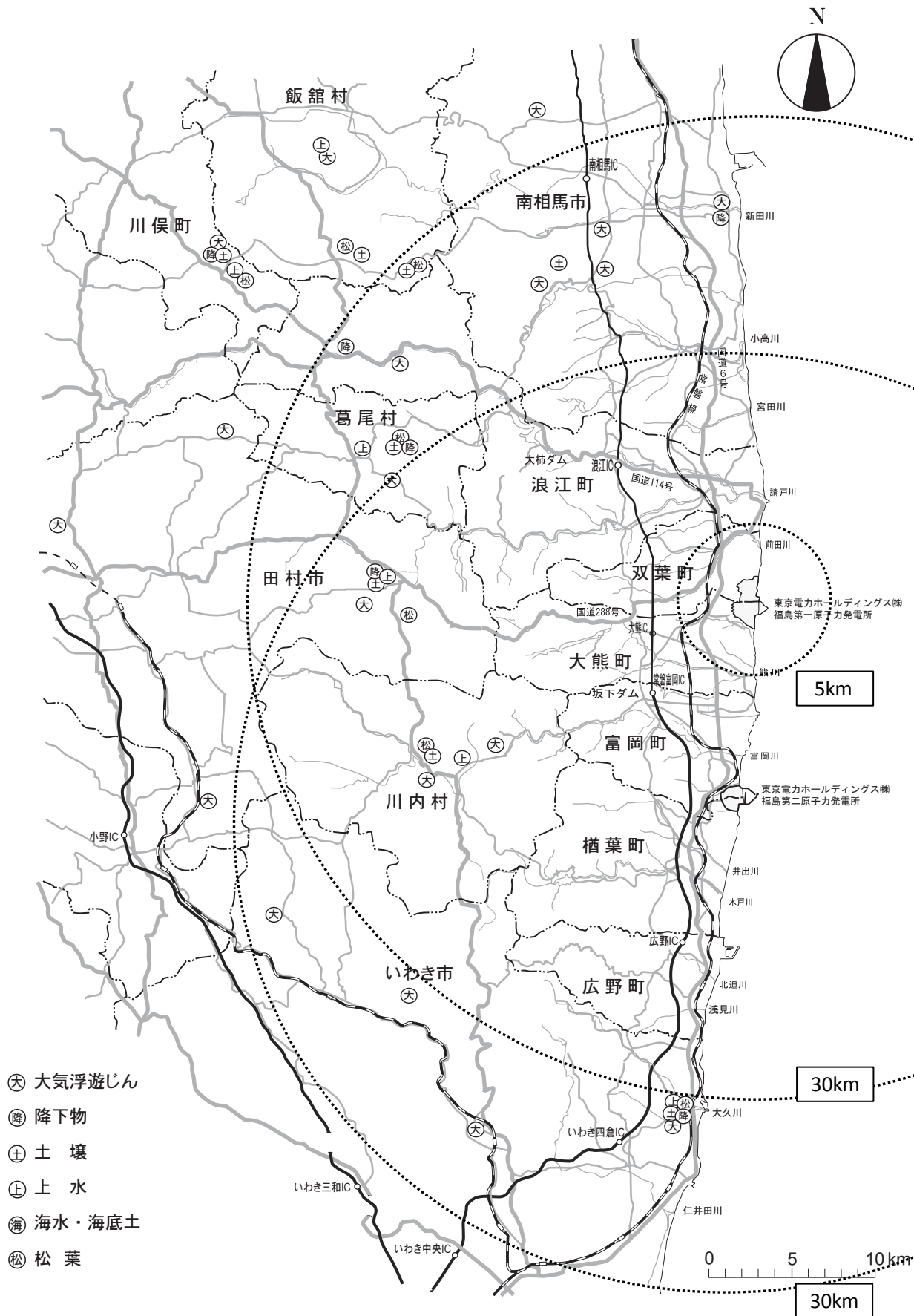
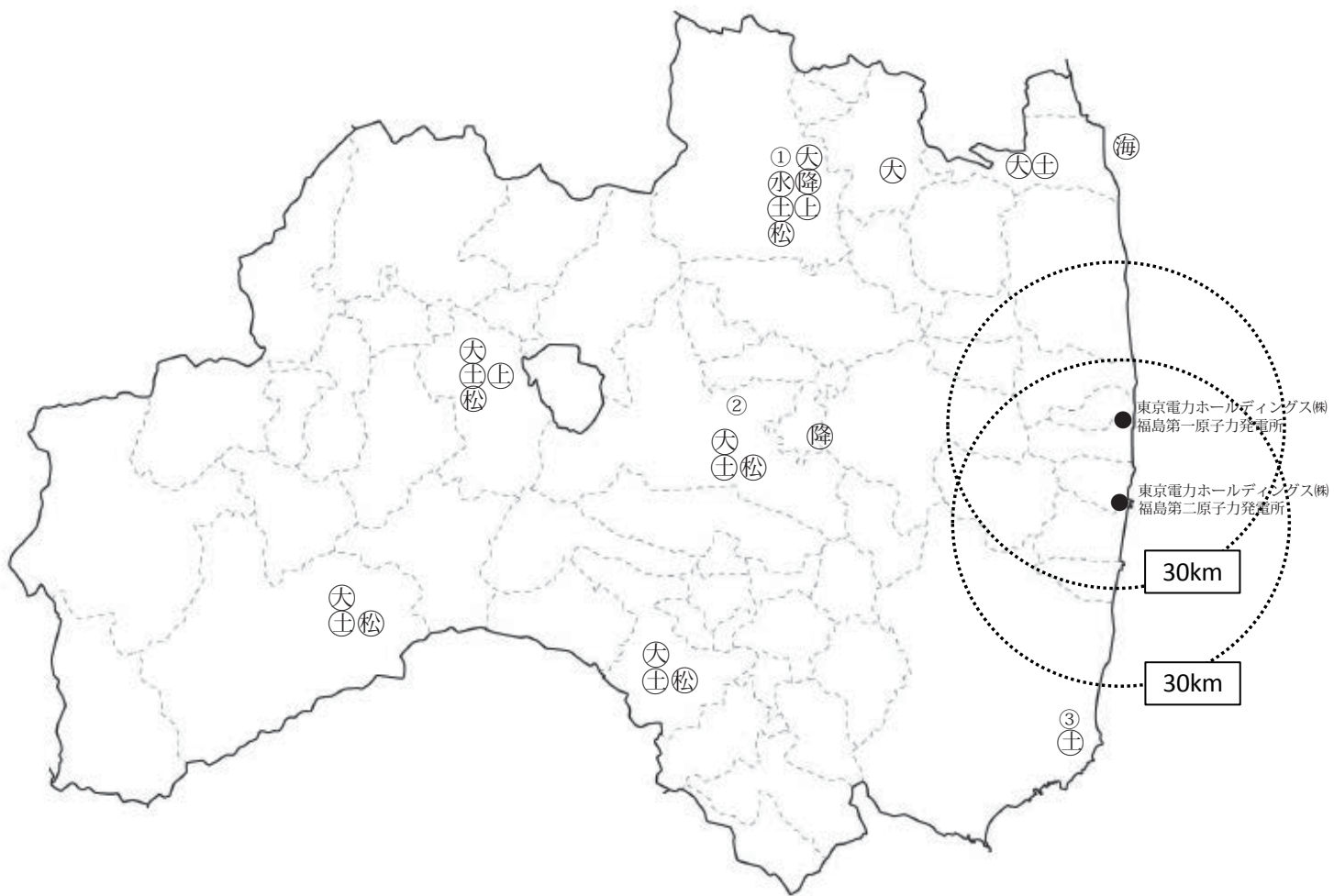


図2-5 環境放射能等測定地点及び環境試料採取地点（県内全域）



- 空間線量率
- ⊕ 大気浮遊じん
- ⊖ 大気中水分
- ⊙ 降下物
- ⊕ 土壌
- ⊖ 海水・海底土
- ⊕ 上水
- ⊖ 松葉

第 3 測定方法

環境試料放射能測定方法詳細一覧表

(Cs-134、Cs-137濃度・トリチウム濃度・ストロンチウム-90濃度)

項目	試料名	大気浮遊じん			
		簡易型ダストサンプラー(福島第一原子力発電所から30km圏内)	簡易型ダストサンプラー(比較対照地点)	連続ダストサンプラー	連続ダストモニタ
核種		Cs-134、Cs-137			
試料採取	採取方法	ハイボリュームエアサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約1m	ハイボリュームエアサンプラーによる24時間採取 ・採取位置:地表上約1m	ダストサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2~3m
	採取容器等	ろ紙(GB-100R)		ろ紙(HE-40T)	
	採取量	約34,500m ³	約1,150m ³	約500m ³	約11,000m ³
	現場での前処理(酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			
	採取器具のコンタミ防止(試料採取器具を適切に使用しているか)	・地点毎に採取器具を専用としている。 ・ろ紙が触れる部分を使用毎に洗浄している。		試料毎に分けて採取している。	
前処理	方法	約1週間毎に回収したろ紙を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	約1週間毎に回収した集じんろ紙の集じん箇所を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。
	分取、縮分の代表性(高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	1週間分の集じんろ紙(203×254mm)を47.5φmmの打ち抜き器を用いて12ヶ所計42%を採取する。これを1ヶ月分まとめ週ごとのかたよりが出ないよう順にU8へ収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	50φmmの円の中心から46φmmを打ち抜き84.64%を採取する。ろ紙には均一に採取されている。これを1ヶ月分まとめU8容器底面に収納する。	灰にした試料全量をU8容器に充填する。
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。		・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600°C)。 ・充填する時に用いる器具類はラッピングして使用。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置			
	測定試料状態	生			灰
	測定容器	U8容器			
	供試料量	約34,500m ³	約1,150m ³	約2,000m ³	約11,000m ³
	測定時間	12,000秒	80,000秒	15,000秒	80,000秒
	測定下限値	約0.01~0.03mBq/m ³	約0.03~0.04mBq/m ³	約0.03~0.1mBq/m ³	約0.005~0.01mBq/m ³
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。			
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88			
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施			
	BG測定頻度	月1回 試料測定時間の2倍以上			
備考	平成26年7月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定に切り換え	平成23年11月:測定開始 平成27年7月:測定時間変更(3,600秒→20,000秒)	平成28年4月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定に切り換え	平成27年10月:測定時間変更(3,600秒→21,600秒) 平成28年4月:前処理変更(生→灰化)	

項目	試料名	大気浮遊じん		大気中水分	
		リアルタイムダストモニタ	リアルタイムダストモニタ(福島第一原子力発電所からおおむね5km圏内)	福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
核種		Cs-134、Cs-137		H-3	
試料採取	採取方法	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m		シリカゲルを充填したカラムに一定量の大气を通過させ、大気に含まれる水分を捕集する。	
	採取容器等	ろ紙(HE-40T)	ろ紙(IGAM/ROLL (フィルターコード:FSLW))	シリカゲルを充填した、ガラスカラム(φ55 mm×H400 mm)2本	
	採取量	約2,200m ³	約1,250m ³	約100 g	
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし		なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	試料毎に分けて採取している。		シリカゲルを充填したガラスカラムは地点毎に専用としている。	
前処理	方法	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	減圧蒸留法	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	灰にした試料全量をU8容器に充填する。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	シリカゲルに吸着させた水分を全量回収し、十分に混合する。その後、所定量を減圧蒸留する。	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はラッピングして使用。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・前処理器具は大気中水分専用器具を使用している。 ・使用するガラス器具類は洗浄後十分に乾燥させたものを使用している。 ・テフロンバイアルは毎回新品を使用している。 	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置		ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	
	測定試料状態	灰	生	液体シンチレータ混合物	
	測定容器	U8容器		100 mLテフロンバイアル	
	供試料量	約2,200m ³	約1,250m ³	50.00 g	
	測定時間	80,000秒		30,000 秒	
	測定下限値	約0.02~0.06mBq/m ³	約0.02~0.06mBq/m ³	約1.27 mBq/m ³ ~9.37 mBq/m ³	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		試料毎に新品のバイアル瓶を使用している。検出器の汚染確認は、毎測定時にBG測定で実施。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88		H-3	
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		(納入時) メーカーにて効率校正 (1年毎) メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。 精密点検時に、密封線源により効率確認。	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒		測定の都度	
備考	平成28年4月:測定開始	平成27年4月:測定開始 ろ紙がPTFE製のため減容不可	平成30年4月:測定開始		

項目	試料名	降下物	
		福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
	核種	Cs-134、Cs-137	
試料採取	採取方法	建物屋上等に水盤を設置し、1ヶ月後に盤内の水を全量採取する。	
	採取容器等	大型水盤または小型水盤(SUS製バケツ)	
	採取量	0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤)	
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	容器は据え置き又は地点毎に専用としている。	
前処理	方法	全量をガスコンロまたはマントルヒータ等で濃縮し、残渣をU8容器に採取する。	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	採取試料全量を充填	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	測定容器(U-8)は試料毎に新品を使用している。	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	
	測定試料状態	乾固物	
	測定容器	U8容器	
	供試料量	0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤)	
	測定時間	80,000秒	
	測定下限値	大型水盤: 約0.1~0.2MBq/km ² 程度 小型水盤: 約0.3~0.7MBq/km ² 程度	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57、60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	
備考	8地点で大型水盤、4地点で小型水盤を使用している。 平成24年4月: 小型水盤による採取開始 平成27年6月: 比較対照地点の前処理変更(2L分取→2L濃縮) 平成28年4月: 前処理変更(2L分取・2L濃縮→全量蒸発乾固) 比較対照地点の測定時間変更(21,600秒→80,000秒)		

項目	試料名	土壌		上水		
		核種	Cs-134, Cs-137	Sr-90	Cs-134, Cs-137	H-3
試料採取	採取方法	裸未耕土の表層(0mmから50mm)から一地点あたり5箇所以上、計3kg程度になるまで採取する。		各地点の上水(水道水)を蛇口より容器に採取。		
	採取容器等	採土器		ポリタンク	ポリビン	ポリタンク
	採取量	2kg程度		20L	1L	100L
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし		なし		
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採土器は共用で、採取の都度洗浄を行っている。		採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。		
前処理	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけて、十分に混合する。		加熱濃縮法	減圧蒸留法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法)		震災前と変更なし		
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料毎に地点専用のSUS製ふるいを使用(比較対照地点) ・試料処理毎に汚染がないことを確認		・前処理器具は上水専用または新品を使用もしくは試料毎に十分洗浄して使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認		
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	乾固物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	U8容器	100mlテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)
	供試料量	約100g	100g	20L	50mL	100L
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	30,000秒	3,600秒
	測定下限値	約1~10Bq/kg乾土	約0.2~0.5Bq/kg乾土	約0.001~0.002Bq/L	約0.32~0.46Bq/L	約0.00015~0.0004Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109, Co-57.60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90	Cd-109, Co-57.60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	H-3	Sr-90
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。		
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度
備考	平成28年4月:採取方法変更(U8容器→採土器) Cs-134, Cs-137の前処理変更(湿土→乾土)		平成28年4月:前処理変更 (生→加熱濃縮法)			

項目	試料名	海水			海底土	
	核種	Cs-134, Cs-137	H-3	Sr-90	Cs-134, Cs-137	Sr-90
試料採取	採取方法	海面より深さ1mにホースを入れ、ポンプにて採取する。			船上から採泥器にて採取する。	
	採取容器等	ポリタンク	ポリビン	ポリタンク	採泥器	
	採取量	40L	1L	60L	3kg程度	
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか) 採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	なし			なし	
前処理	方法	リンモリブデン酸アンモニウム -二酸化マンガン共沈法	減圧蒸留法	イオン交換法	一昼夜程度自然乾燥させ、105°Cで72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかき、十分に混合する。	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	震災前と変更なし			地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取。(インクリメント縮分法)	
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	・採取地点毎の専用容器または新品を使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認			・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料処理毎に汚染確認を行い、汚染がないことを確認	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置
	測定試料状態	リンモリブデン酸アンモニウム と二酸化マンガンの混合物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物	乾土	鉄共沈物
	測定容器	U8容器	100mlテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)
	供試料量	20L以上	50mL	50L	約100g	100g
	測定時間	80,000秒	30,000秒	3,600秒	80,000秒	3,600秒
	測定下限値	約0.001~0.002Bq/L	約0.32~0.46Bq/L	約0.0007~0.01Bq/L	約0.5~1.5Bq/kg乾土	約0.15~0.25Bq/kg乾土
	測定におけるコンタミ防止 とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染がないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染がないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	H-3	Sr-90	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度
備考	平成28年4月:前処理変更 (生→リンモリブデン酸アンモニウム-二酸化マンガン共沈法)					

項目	試料名	松葉	
		福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
核種		Cs-134、Cs-137	
試料採取	採取方法	採取地点付近にある樹木より2年葉を採取する。	
	採取容器等	ビニール袋	
	採取量	200g程度	
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取地点毎に新品の袋に採取	
前処理	方法	95℃で所定時間加熱乾燥後、粉砕機により粉砕	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	乾燥後の試料から所定量を均等に分取	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・加熱乾燥に用いるバットは十分洗浄して使用 ・粉砕器は、地点専用のものを使用	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	
	測定試料状態	乾燥物	
	測定容器	U8容器	
	供試料量	約 50g	
	測定時間	80,000秒	
	測定下限値	約0.5~1Bq/kg生	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	
備考	平成27年7月: 比較対照地点の測定時間変更(3,600秒→10,800秒) 平成28年4月: 前処理変更(生→乾燥) マニュアルに示す減容処理(灰化)は実施していない。除染等により松の木が減少しており、継続的に採取していくには、1回の採取量を抑える必要がある。また、松葉はそのまま測定しても検出可能である地点が多いことから、濃縮度を小さくしても支障ないと考えた。これらの理由から、灰までの濃縮は行わず、乾燥にとどめた。		

第 4 測定結果

4-1 空間放射線

4-1-1 空間線量率

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径 5km 未満の地域（以下「1F 近傍」という。）で 8 地点、福島第一原子力発電所から概ね半径 5km 以上 30km 未満及び福島第二原子力発電所から概ね半径 30km 未満の地域（以下「1F・2F 周辺」という。）で 31 地点、福島第一及び第二原子力発電所からそれぞれ 30km 以上離れた地域（以下「比較対照地点」という。）で 3 地点、計 42 地点で空間線量率を常時測定しました。各地点の測定結果は以下のとおりです。詳細な測定値は 29～31、46 ページを参照。

(1) 月間平均値

各測定地点における月間平均値は、いわき市小川、いわき市下桶売及び南相馬市萱浜の 3 地点を除く各地点で、福島第一原子力発電所の事故（以下「事故」という）の影響により事故前の月間平均値を上回っています。全体として年月の経過とともに減少する傾向にありました。事故直後の最大値と今期の測定値の最大値を比較すると、減少率の高い順から 1F・2F 周辺、1F 近傍、比較対象地点でした。今期の測定値は、いずれの月も数値の高い順から 1F 近傍、1F・2F 周辺、比較対照地点でした。

各地点の空間線量率の月間平均値

(単位：nGy/h)

測定 エリア	測定 地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値(*1)		
		4 月	5 月	6 月	H26～	事故直後	事故前
1F 近傍	8	371～5,060	364～4,960	355～4,800	374～	910～	33～54
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/35 に減少			18,341	176,000	
1F・2F 周辺	31	45～1,020	45～1,050	45～1,010	45～	117～	
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/56 に減少			2,547	58,454	
比較対 照地点	3	61～123	61～124	61～123	62～	181～	39～42
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/30 に減少			220	3,716	

(注) *1 「過去の月間平均値」の期間（次項以降も同じ）

H26～：平成 26 年度から前四半期まで。

事故直後：事故後（平成 23 年 3 月 11 日以降）から平成 25 年度まで。

事故前：平成 13 年度から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

なお、測定地点数は年度により異なる。

(2) 1時間値の変動状況

各測定地点における1時間値は、降雨等の影響による変動があるものの、原子力発電所等に由来する変動はありませんでした。

なお、1時間値は降雨による影響により、およそ300nGy/h以下の低線量地域では自然の放射性物質が地表付近に降下するため、一時的に空間線量率が上昇し、およそ300nGy/hを超える高線量地域では雨水による遮へい効果により一時的に低下するという傾向が見られます。

各地点の空間線量率の最大値（1時間値）（単位：nGy/h）

測定 エリア	測定 地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値		
		4月	5月	6月	H26～	事故直後	事故前
1F 近傍	8	381～5,190	376～5,080	369～5,050	18,578	1,018,174	157
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/196に減少					
1F・2F 周辺	31	60～1,080	65～1,100	77～1,070	2,674	1,591,066	
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/1446に減少					
比較対 照地点	3	74～136	71～137	84～151	232	9,956	88
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/66に減少					

4-1-2 空間積算線量

1F近傍で7地点、1F・2F周辺で57地点、計64地点で空気中の放射線量を測定しました。詳細な測定値は32～34ページを参照。

90日換算値は、事故の影響により事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

空間積算線量の90日換算値（単位：mGy/90日）

測定 エリア	測定 地点数	測定値	過去の測定値		
		(平成31年4月4日～ 令和元年7月4日)	H26～	事故直後	事故前(*1)
1F近傍	7	0.85～19	0.86～45	2.38～137.79	0.10～0.14
		事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約1/7に減少			
1F・2F周辺	57	0.16～14	0.16～31	0.18～35.84	
		事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約1/2に減少			

(注) *1 事故前：事故前から測定していた20地点における平成15年度第1四半期から平成22年度第3四半期まで。

4-2 環境試料

4-2-1 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

1F近傍で3地点、1F・2F周辺で14地点、計17地点で全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施しました。詳細な測定値は35～36ページを参照。

(1) 月間平均値

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値は、原子力発電所からの距離に関係なく、いずれの月も事故前の月間平均値の範囲内でした。

各地点の大気浮遊じんの月間平均値

(単位：Bq/m³)

測定項目	測定エリア	測定地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値		
			4月	5月	6月	H26～	事故直後	事故前
全アルファ放射能	1F近傍	3	0.015～ 0.022	0.019～ 0.033	0.011～ 0.016	0.004～ 0.059	0.007～ 0.039	0.007～ 0.076
	1F・2F周辺	14	0.011～ 0.048	0.016～ 0.055	0.009～ 0.033	0.003～ 0.088	0.009～ 0.046	
全ベータ放射能	1F近傍	3	0.035～ 0.094	0.042～ 0.12	0.028～ 0.070	0.022～ 0.16	0.025～ 0.22	0.018～ 0.12
	1F・2F周辺	14	0.035～ 0.083	0.040～ 0.098	0.030～ 0.066	0.017～ 0.13	0.030～ 2.0	

(2) 変動状況

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の最大値は事故前の最大値を下回りました。また、全アルファ・全ベータ放射能に良い相関が見られていることから、変動の要因は自然放射能の影響によるものと考えられました。なお、巻末のグラフ集(57～65ページ)に相関図を示しております。

各地点の大気浮遊じんの最大値

(単位：Bq/m³)

測定項目	測定エリア	測定地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値		
			4月	5月	6月	H26～	事故直後	事故前
全アルファ放射能	1F近傍	3	0.089～ 0.15	0.11～ 0.20	0.070～ 0.16	0.21	0.19	0.58
	1F・2F周辺	14	0.064～ 0.31	0.069～ 0.28	0.063～ 0.20	0.41	0.34	
全ベータ放射能	1F近傍	3	0.20～ 0.52	0.19～ 0.62	0.13～ 0.49	0.53	1.3	0.78
	1F・2F周辺	14	0.12～ 0.71	0.12～ 0.53	0.11～ 0.36	0.53	54	

4-2-2 環境試料の核種濃度（ガンマ線放出核種）

今期に測定した環境試料は、大気浮遊じんが 49 地点 147 試料、降下物が 12 地点 36 試料、土壌 22 地点 22 試料、上水が 13 地点 13 試料、海水が 8 地点 20 試料、海底土が 8 地点 8 試料、松葉が 20 地点 20 試料の 7 品目で合計 266 試料でした。詳細な測定値は 37～40、42～45、47、49～50 ページを参照。

全 7 品目の 87 試料からセシウム-134 が、全 7 品目の 203 試料からセシウム-137 が検出され、事故の影響により多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期の測定値と比較すると概ね横ばい傾向にあります。

上水の一部からセシウム-134 及びセシウム-137 が検出されていますが、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値である 10Bq/kg(10Bq/L)を大きく下回っています。

環境試料のガンマ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
大気浮遊じん (mBq/m ³)	Cs-134	1F 近傍	7	ND～0.14	ND～1.8	0.072～38	ND
		1F・2F 周辺	35	ND～0.015	ND～0.65	ND～1,100	
		比較対照地点	7	ND	ND～0.13	ND～8.2	
	Cs-137	1F 近傍	7	0.10～1.8	ND～5.2	0.14～39	ND
		1F・2F 周辺	35	ND～0.18	ND～2.1	ND～990	
		比較対照地点	7	ND～0.050	ND～0.45	ND～10	
降下物 (Bq/m ²) (MBq/km ²)	Co-60	1F 近傍	2	ND	ND～0.54	ND	ND
		1F・2F 周辺	8	ND	ND	ND	
		比較対照地点	2	ND	ND	ND	
	Sb-125	1F 近傍	2	ND	ND～2.0	ND	ND
		1F・2F 周辺	8	ND	ND	ND	
		比較対照地点	2	ND	ND	ND	
	Cs-134	1F 近傍	2	3.3～49	ND～1,200	76～5,000,000	ND
		1F・2F 周辺	8	ND～6.0	ND～110	ND～940,000	
		比較対照地点	2	ND～0.99	ND～180	ND～140,000	
	Cs-137	1F 近傍	2	41～700	18～4,300	170～5,600,000	ND～0.15
		1F・2F 周辺	8	0.89～73	ND～340	ND～1,000,000	
		比較対照地点	2	0.22～12	ND～620	ND～150,000	

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
土 壤 (Bq/kg 乾 (事故直後及び H26～H27 は Bq/kg 湿))	Co-60	1F 近傍	2	ND～2.2	ND～5.3	ND	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND～1.9	ND	
		比較対照地点	7	ND	ND	ND	ND
	Sb-125	1F 近傍	2	ND	ND～130	ND	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND	ND	
		比較対照地点	7	ND～12	ND～28	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	2,500～20,000	3,900～49,000	2,700～230,000	ND
		1F・2F 周辺	13	10～2,200	3.1～7,800	32～12,000	
		比較対照地点	7	2.9～270	5.0～690	14～9,200	ND
	Cs-137	1F 近傍	2	32,000～260,000	20,000～330,000	3,100～310,000	ND～16
		1F・2F 周辺	13	130～28,000	27～52,000	75～26,000	
		比較対照地点	7	59～3,600	37～4,500	18～14,000	ND～30
上 水 (Bq/L)	Cs-134	1F 近傍	1	ND	—	—	ND
		1F・2F 周辺	11	ND～0.003	ND～0.062	ND～0.17	
		比較対照地点	1	ND	ND～0.002	ND	ND
	Cs-137	1F 近傍	1	0.002	—	—	ND
		比較対照地点	1	0.005	ND～0.011	ND	ND
海 水 (Bq/L)	Cs-134	1F 放取水口	3	ND～0.006	ND～0.35	ND～2.4	ND
		1F 沖合	3	ND	ND～0.067	ND～0.094	
		2F 放水口	2	ND	ND～0.012	ND～0.20	
		松川浦	1	—	ND～0.005	ND	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	0.005～0.066	ND～1.1	ND～5.0	ND～ 0.003
		1F 沖合	3	0.005～0.012	ND～0.31	ND～0.19	
		2F 放水口	2	0.014～0.016	ND～0.12	0.12～0.42	
		松川浦	1	—	ND～0.028	ND	

(注)「—」は今期測定対象外。

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
海底土 (Bq/kg 乾)	Mn-54	1F 放取水口	3	ND	ND～1.1	ND～1.3	ND
		1F 沖合	3	ND	ND	ND～0.62	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND
	Co-60	1F 放取水口	3	ND	ND～1.0	ND～1.3	ND
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 放取水口	3	12～26	14～320	120～450	ND
		1F 沖合	3	1.8～2.5	ND～130	25～72	
		2F 放水口	2	6.3～7.0	5.0～68	47～230	
		松川浦	1	—	ND～4.4	1.3	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	160～340	140～870	230～1,000	ND～ 0.97
		1F 沖合	3	20～36	18～630	61～170	
		2F 放水口	2	87～90	55～200	100～470	
		松川浦	1	—	1.8～13	2.6	ND～2.3
松葉 (Bq/kg 生)	I-131	1F 近傍	2	ND	ND	ND～380	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND	ND	ND
		比較対照地点	5	ND	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	9.6～47	9.0～1,200	740～210,000	ND
		1F・2F 周辺	13	ND～16	ND～280	ND～61,000	
		比較対照地点	5	ND	ND～91	ND～33,000	—
	Cs-137	1F 近傍	2	130～620	99～6,100	1,900～230,000	ND～1.2
		1F・2F 周辺	13	0.72～190	ND～910	ND～68,000	
		比較対照地点	5	ND～5.5	ND～290	ND～52,000	—

(注)「—」は今期測定対象外。

4-2-3 環境試料の核種濃度 (ベータ線放出核種)

大気中水分 6 地点 18 試料、上水 13 地点 13 試料、海水 8 地点 20 試料の合計 51 試料について、トリチウムを調査した結果、大気中水分 6 地点 17 試料、上水 6 地点 6 試料から検出されました。詳細な測定値は 41、44、48、50 ページを参照。

トリチウムは、大気中水分の大熊町夫沢、双葉町郡山の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、前年度の測定値の範囲内でした。上水のトリチウムの測定値は事故前の測定値の範囲内でした。

土壌 22 地点 22 試料、海水 8 地点 20 試料、海底土 8 地点 8 試料について、ストロンチウム-90 を調査した結果、海水 8 地点 19 試料、海底土 2 地点 2 試料から検出されました。詳細な測定値は 43～44、50 ページを参照。

ストロンチウム-90 は、海水の第一(発)取水口付近(港湾出入口の外側)の地点で事故前の測定値

の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前年度の測定値の範囲内でした。海底土のストロンチウム-90の測定値は第一(発)南放水口付近、第二(発)南放水口の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、前年度の測定値の範囲内でした。

環境試料のベータ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～(*2)	事故直後	事故前
大気中水分 (mBq/m ³)	H-3	1F近傍	3	5.3～59	1.3～64	—	ND～23
		1F・2F周辺	2	3.6～10	ND～10	—	ND～14
		比較対照地点	1	ND～5.0	ND～21	ND～41	ND～12
土壌 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F近傍	2	25～45	19～61	15～81	ND～3.5
		1F・2F周辺	13	0.32～6.2	ND～17	ND～14	
		比較対照地点	7	ND～7.0	ND～16	ND～32	1.8～4.3
上水 (Bq/L)	H-3	1F近傍	1	0.48	—	—	ND～1.2
		1F・2F周辺	11	ND～0.51	ND～0.94	ND～0.96	
		比較対照地点	1	ND	ND～0.85	ND～1.4	ND～1.3
	Sr-90	1F近傍	—	—	—	—	0.001～0.002
		1F・2F周辺	11	—	ND～0.002	ND～0.002	
		比較対照地点	1	—	0.001～0.0015	0.001～0.002	0.001～0.002
海水 (Bq/L)	H-3	1F放水口	3	ND	ND～2.6	ND～6.2	ND～2.9
		1F沖合	3	ND	ND～0.91	ND～0.58	
		2F放水口	2	ND	ND～0.86	ND～0.56	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND～0.46
	Sr-90	1F放水口	3	0.0005～0.0027	ND～0.76	0.005～2.9	ND～0.002
		1F沖合	3	ND～0.0010	ND～0.031	0.001～0.26	
		2F放水口	2	0.0008～0.0011	0.0008～0.003	0.033～0.034	
		松川浦	1	—	0.001	0.001	0.001～0.002
海底土 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F放水口	3	ND～0.22	ND～4.6	ND～1.2	ND
		1F沖合	3	ND	ND～0.71	ND～0.19	
		2F放水口	2	ND～0.32	ND～0.32	ND～0.21	
		松川浦	1	—	ND～0.21	ND	ND～0.02

(注)「—」は今期測定対象外。

*2 大気中水分の1F近傍、1F・2F周辺は平成30年度から再開。

4-2-4 環境試料の核種濃度 (アルファ線放出核種)

土壌22地点22試料、海水8地点20試料、海底土8地点8試料について、プルトニウム-238及びプルトニウム-239+240を調査した結果、土壌7地点7試料からプルトニウム-238は検出され、土壌16地点16試料、海水6地点7試料及び海底土全試料からプルトニウム-239+240が検出されました。詳細な測定値は43～44、50ページを参照。

プルトニウム-238は、大熊町夫沢、双葉町郡山の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、

事故後の測定値の範囲内でした。

プルトニウム 239+240 は、土壌の浪江町幾世橋及び海水の第一(発)南放水口付近の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故後の測定値の範囲内でした。海底土は事故前の測定値の範囲内でした。

土壌 16 地点 16 試料について、アメリカシウム-241、キュリウム-244 を調査した結果、土壌 8 地点 8 試料からアメリカシウム-241 が検出され、土壌 2 地点 2 試料からキュリウム-244 が検出されました。今後の推移を注視していきます。

環境試料のアルファ線放出核種濃度

試料名	核種	採取 エリア	地点 数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
土 壤 (Bq/kg 乾)	Pu-238	1F 近傍	2	0.04～0.05	ND～0.09	ND～0.03	ND～0.03
		1F・2F 周辺	13	ND～0.03	ND～0.05	ND～0.05	
		比較対照地点	7	ND～0.02	ND～0.03	ND～0.18	ND～0.08
	Pu-239+240	1F 近傍	2	0.07～0.35	0.05～0.37	0.20～0.34	ND～0.44
		1F・2F 周辺	13	ND～0.54	ND～0.97	ND～0.66	
		比較対照地点	7	ND～0.76	ND～1.2	ND～4.8	ND～2.6
	Am-241	1F 近傍	2	0.04～0.16	0.02～0.18	0.02～0.16	—
		1F・2F 周辺	13	ND～0.19	ND～0.44	ND～0.25	
		比較対照地点	1	0.11	0.06～0.41	0.11	—
	Cm-244	1F 近傍	2	ND～0.02	ND～0.02	ND	—
		1F・2F 周辺	13	ND～0.03	ND	ND	
		比較対照地点	1	ND	ND	ND	—
上 水 (mBq/L)	Pu-238	1F 近傍	—	—	—	—	—
		1F・2F 周辺	11	—	ND	ND	
		比較対照地点	1	—	ND	ND	—
	Pu-239+240	1F 近傍	—	—	—	—	ND
		1F・2F 周辺	11	—	ND	ND	
		比較対照地点	1	—	ND	ND	ND
海 水 (mBq/L)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND	ND～0.010	ND	—
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	—
	Pu-239+240	1F 放取水口	3	ND～0.015	ND～0.016	ND～0.014	ND～0.013
		1F 沖合	3	ND～0.010	ND～0.009	ND～0.010	
		2F 放水口	2	ND～0.008	ND～0.020	ND～0.011	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND～0.012

(注)「—」は今期測定対象外。

試料名	核種	採取 エリア	地点 数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
海底土 (Bq/kg 乾)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND	ND	ND	—
		1F 沖合	3	ND	ND～0.01	ND～0.02	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	
	Pu- 239+240	1F 放取水口	3	0.22～0.30	0.09～0.43	0.08～0.32	0.15～0.61
		1F 沖合	3	0.37～0.52	0.21～0.61	0.33～0.52	
		2F 放水口	2	0.22～0.31	0.14～0.31	0.21～0.25	
		松川浦	1	—	0.18～0.31	0.20	

(注)「—」は今期測定対象外。

第5 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表

5-1 空間放射線

5-1-1 空間線量率

単位：線量率：μSv/h 測定時間：h
上段：平均値（下段）：最大値

No.	測定年月 測定項目 測定地点名	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
		線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	
1	いわき市小川	54 (62)	720	49 (65)	744	49 (77)	720																			
2	いわき市久之浜	77 (88)	720	76 (85)	744	75 (96)	720																			
3	いわき市千代田	54 (63)	720	54 (66)	744	54 (86)	720																			
4	いわき市川前	66 (73)	720	65 (81)	744	65 (103)	720																			
5	田村市都路馬洗戸	83 (97)	720	84 (96)	744	83 (115)	720																			
6	広野町二ツ沼	85 (107)	720	84 (102)	744	84 (118)	720																			
7	広野町小滝立	83 (92)	720	82 (94)	744	81 (113)	720																			
8	檜葉町山田岡	65 (77)	720	65 (79)	744	65 (99)	720																			
9	檜葉町木戸ダム	98 (106)	720	98 (123)	744	97 (131)	720																			
10	檜葉町繁岡	183 (196)	720	180 (198)	744	177 (205)	720																			
11	檜葉町松館	167 (176)	720	163 (183)	744	162 (191)	720																			
12	檜葉町波倉	234 (244)	720	230 (245)	744	228 (249)	720																			

No.	測定年月 測定項目 測定地点名	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3			
		線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	
13	富岡町 上郡山	256 (265)	720	250 (263)	744	243 (261)	720																				
14	富岡町 下郡山	179 (189)	720	172 (185)	744	167 (198)	720																				
15	富岡町 深谷*1	145 (162)	720	143 (164)	744	141 (177)	720																				
16	富岡町 富岡	149 (160)	720	148 (164)	744	147 (175)	720																				
17	富岡町 夜の森	315 (323)	720	313 (323)	744	306 (323)	720																				
18	川内村 下川内	131 (140)	720	132 (145)	744	129 (157)	720																				
19	大熊町 向畑	1,210 (1260)	720	1,190 (1230)	744	1,150 (1,220)	720																				
20	大熊町 熊川*1	1,690 (1800)	720	1,700 (1830)	744	1,680 (1,830)	720																				
21	大熊町 南台*2	5,060 (5190)	720	4,960 (5080)	744	4,800 (5,050)	720																				
22	大熊町 大野	1,040 (1070)	720	1,030 (1050)	744	1,010 (1,050)	720																				
23	大熊町 夫沢*2	4,960 (5130)	720	4,840 (4970)	744	4,590 (4,890)	720																				
24	双葉町 山田*2	4,550 (4800)	720	4,450 (4690)	744	4,250 (4,660)	720																				
25	双葉町 郡山	371 (381)	720	364 (376)	744	355 (369)	720																				
26	双葉町 新山	1,140 (1180)	720	1,120 (1170)	744	1,060 (1,140)	720																				
27	双葉町 上羽	499 (516)	720	488 (502)	744	471 (493)	720																				

No.	測定年月 測定項目 測定地点名	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
		線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率
28	浪江町 請 ^う 戸 ^こ *1	110 (126)	720	111 (136)	744	110 (137)	720																			
29	浪江町 柳 ^な 壺 ^し *1	76 (91)	720	76 (95)	744	76 (105)	720																			
30	浪江町 浪 ^な 江 ^み	141 (149)	720	140 (159)	744	138 (155)	720																			
31	浪江町 幾 ^よ 世 ^せ 橋	92 (102)	720	91 (108)	744	90 (112)	720																			
32	浪江町 大 ^お 柿 ^{かき} ダム	699 (720)	720	705 (725)	744	698 (720)	720																			
33	浪江町 南 ^な 津 ^つ 島	1,020 (1080)	720	1,050 (1100)	744	1,010 (1,070)	720																			
34	葛尾村 夏 ^{なつ} 湯	135 (145)	720	136 (154)	744	133 (162)	720																			
35	南相馬市 泉 ^{いずみ} 沢	113 (125)	720	113 (133)	744	110 (136)	720																			
36	南相馬市 横 ^{よこ} 川 ^{がわ} ダム	219 (227)	720	220 (239)	744	215 (229)	720																			
37	南相馬市 萱 ^{いば} 浜	45 (60)	720	45 (69)	744	45 (80)	720																			
38	飯館村 伊 ^い 丹 ^だ 沢	151 (164)	720	153 (175)	744	149 (175)	720																			
39	川俣町 山 ^{やま} 木 ^き 屋	131 (143)	720	132 (153)	744	128 (154)	720																			

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 *1 可搬型モニタリングポストによる測定

5-1-2 空間積算線量

(単位 mGy)

No.	測定地点名	測定期間		H31. 4. 4 ~R1. 7. 4						
		測定項目	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
1	いわき市 石 森		0.20 (0.20)	91						
2	いわき市 西 倉		0.25 (0.24)	91						
3	いわき市 大 野		0.21 (0.21)	91						
4	いわき市 稲 岡		0.23 (0.23)	91						
5	いわき市 大 久		0.22 (0.22)	91						
6	いわき市 末 続		0.27 (0.27)	91						
7	いわき市 上小川		0.32 (0.32)	91						
8	いわき市 志田名		0.35 (0.35)	91						
9	いわき市 小白井		0.20 (0.20)	91						
10	田村市 場 々		0.33 (0.32)	91						
11	田村市 古 道		0.24 (0.24)	91						
12	田村市 岩井沢		0.20 (0.20)	91						
13	広野町 下浅見川		0.21 (0.20)	91						
14	広野町 篝 平		0.25 (0.25)	91						
15	檜葉町 山田岡		0.21 (0.21)	91						
16	檜葉町 乙次郎		0.25 (0.25)	91						
17	檜葉町 井 出		0.27 (0.27)	91						
18	檜葉町 上繁岡		0.38 (0.37)	91						
19	富岡町 太 田		0.50 (0.49)	91						
20	富岡町 赤 木		0.41 (0.41)	91						
21	富岡町 小良ヶ浜		3.2 (3.2)	91						
22	富岡町 夜の森北		0.63 (0.62)	91						
23	富岡町 上手岡		0.59 (0.59)	91						
24	川内村 三ツ右		0.57 (0.56)	91						
25	川内村 貝ノ坂		0.85 (0.84)	91						

(単位 mGy)

No.	測定地点名	H31. 4. 4 ~R1. 7. 4					
		積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数
52	南相馬市 関きば場	0.50 (0.50)	91				
53	南相馬市 高なか	0.23 (0.23)	91				
54	南相馬市 大おきと戸	0.18 (0.18)	91				
55	南相馬市 萱いほ浜	0.16 (0.16)	91				
56	南相馬市 犬おほら原	0.36 (0.36)	91				
57	南相馬市 川かわ子	0.25 (0.25)	91				
58	飯館村 蔵おらびだら平	0.81 (0.80)	91				
59	飯館村 長ながどろ泥	2.4* (2.4*)	91				
60	飯館村 飯いとい櫛	0.57 (0.56)	91				
61	飯館村 白うすいし右	1.0 (1.0)	91				
62	飯館村 草さの野	0.88 (0.88)	91				
63	川俣町 山やまきやまかした坂下	0.87 (0.86)	91				
64	川俣町 山やまきやま屋	0.32 (0.32)	91				

注) 1 () 内は90日換算値

2 No. の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

* 周辺の除染作業による低下

5-2 環境放射線

5-2-1 大気浮遊じん中の全アルファ放射能及び全ベータ放射能

単位:放射能濃度:Bq/m³ 測定時間:h
上段:平均値(下段):最大値

No.	測定地名	測定項目	R1.4		R1.5		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3	
			測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間
1	いわき市 <small>いわき市</small>	全アルファ放射能	0.040 (0.25)	720	0.039 (0.19)	744	0.025 (0.12)	660																
		全ベータ放射能	0.065 (0.33)	720	0.063 (0.26)	744	0.044 (0.17)	660																
2	田村市 <small>田村市</small>	全アルファ放射能	0.013 (0.072)	720	0.016 (0.069)	744	0.010 (0.063)	648																
		全ベータ放射能	0.035 (0.12)	720	0.040 (0.12)	744	0.030 (0.11)	648																
3	広野町 <small>広野町</small>	全アルファ放射能	0.014 (0.064)	720	0.017 (0.078)	684	0.016 (0.092)	720																
		全ベータ放射能	0.038 (0.12)	720	0.042 (0.14)	684	0.039 (0.14)	720																
4	楢葉町 <small>楢葉町</small>	全アルファ放射能	0.022 (0.11)	720	0.026 (0.11)	744	0.016 (0.085)	660																
		全ベータ放射能	0.044 (0.16)	720	0.051 (0.16)	744	0.036 (0.13)	660																
5	楢葉町 <small>楢葉町</small>	全アルファ放射能	0.021 (0.23)	720	0.026 (0.16)	744	0.012 (0.10)	720																
		全ベータ放射能	0.083 (0.71)	720	0.098 (0.53)	744	0.052 (0.36)	720																
6	富岡町 <small>富岡町</small>	全アルファ放射能	0.021 (0.12)	720	0.024 (0.13)	744	0.014 (0.12)	720																
		全ベータ放射能	0.079 (0.38)	720	0.086 (0.40)	744	0.057 (0.35)	720																
7	川内村 <small>川内村</small>	全アルファ放射能	0.028 (0.16)	696	0.033 (0.18)	744	0.024 (0.13)	660																
		全ベータ放射能	0.052 (0.22)	696	0.058 (0.24)	744	0.046 (0.18)	660																
8	大熊町 <small>大熊町</small>	全アルファ放射能	0.017 (0.089)	720	0.019 (0.11)	744	0.012 (0.070)	720																
		全ベータ放射能	0.073 (0.31)	720	0.081 (0.36)	744	0.058 (0.23)	720																

No.	測定地名	測定項目	R1.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3			
			測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間
9	大瀬町 たつとぎ次	全アルファ 放射能	0.022 (0.15)	720	0.033 (0.20)	744	0.016 (0.16)	720																				
		全ベータ 放射能	0.094 (0.52)	720	0.12 (0.62)	744	0.070 (0.49)	720																				
10	双葉町 おりやま山	全アルファ 放射能	0.015 (0.13)	720	0.020 (0.12)	744	0.011 (0.078)	672																				
		全ベータ 放射能	0.035 (0.20)	720	0.042 (0.19)	744	0.028 (0.13)	672																				
11	浪江町 幾上世橋	全アルファ 放射能	0.024 (0.16)	720	0.032 (0.22)	744	0.020 (0.13)	660																				
		全ベータ 放射能	0.046 (0.23)	720	0.054 (0.27)	744	0.038 (0.18)	660																				
12	浪江町 大船ダム	全アルファ 放射能	0.034 (0.20)	720	0.039 (0.17)	732	0.027 (0.12)	648																				
		全ベータ 放射能	0.079 (0.35)	720	0.087 (0.30)	732	0.066 (0.20)	648																				
13	勸修村 夏っ湯	全アルファ 放射能	0.048 (0.31)	720	0.055 (0.28)	744	0.033 (0.20)	660																				
		全ベータ 放射能	0.082 (0.43)	720	0.091 (0.38)	744	0.060 (0.28)	660																				
14	藤相馬市 イサユス次	全アルファ 放射能	0.019 (0.11)	720	0.022 (0.14)	732	0.013 (0.087)	720																				
		全ベータ 放射能	0.042 (0.17)	720	0.045 (0.21)	732	0.032 (0.13)	720																				
15	藤相馬市 いば紙	全アルファ 放射能	0.019 (0.12)	720	0.022 (0.14)	744	0.012 (0.089)	720																				
		全ベータ 放射能	0.079 (0.40)	720	0.088 (0.47)	744	0.055 (0.31)	720																				
16	飯沼村 イト丹次	全アルファ 放射能	0.011 (0.10)	720	0.017 (0.12)	744	0.009 (0.074)	720																				
		全ベータ 放射能	0.060 (0.32)	720	0.076 (0.35)	744	0.053 (0.25)	720																				
17	川俣町 山本屋	全アルファ 放射能	0.014 (0.15)	720	0.022 (0.16)	744	0.011 (0.10)	720																				
		全ベータ 放射能	0.071 (0.44)	720	0.095 (0.48)	744	0.062 (0.31)	720																				

注) 1 No.の欄付け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から排出される放射性物質の濃度

5-2-2 大気浮遊じん核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																							
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce												
1	いわき市 おがわ小川 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND										
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND									
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND									
2	田村市 みやこほろまふらいど都路馬洗戸 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND									
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.006	ND	ND									
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND								
3	広野町 こまきらいら小滝平 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND								
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.006	ND	ND							
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.005	ND	ND						
4	檜葉町 きど木戸ダム (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND						
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND					
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
5	檜葉町 しげおか繁岡 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
6	富岡町 よみおか富岡 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
7	川内村 しものわうち下川内 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
8	大熊町 おおの大野 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
9	大熊町 おつとぎつ夫次 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
10	双葉町 こおりのやま郡山 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
11	浪江町 きよはし橋幾世橋 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
12	浪江町 おほがき大楠ダム (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																	
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce						
37	田村市 (^{スルボク} 船引 簡易型ダスト サンプリング)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 015	ND	ND		
38	田村市 (^{カキウツ} 上移 簡易型ダスト サンプリング)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 010	ND	ND	
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 018	ND	ND	
39	川内村 (^{カキウツ} 上川内 簡易型ダスト サンプリング)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 018	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 032	ND	ND
40	南相馬市 (^{ウマ} 馬場 簡易型ダスト サンプリング)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 077	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 097	ND	ND
41	南相馬市 (^{ウマ} 馬場 簡易型ダスト サンプリング)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 048	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 088	ND	ND
42	南相馬市 (^{ウマ} 馬場 簡易型ダスト サンプリング)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 028	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 045	ND	ND

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 「ND」：検出限界未満

3 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

4 ¹³⁴Cs及び¹³⁷Csの検出限界値：連続ダストモニタはおおむね0.01 mBq/m³以下、リアルタイムダストモニタはおおむね0.06 mBq/m³以下、

ダストサンプリングはおおむね0.1 mBq/m³以下、簡易型ダストサンプリングはおおむね0.03 mBq/m³以下、

簡易型ダストサンプリング（1日集じん）はおおむね0.05 mBq/m³以下である。

5-2-3 大気中水分のトリチウム濃度

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m ³)	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
1	檜葉町 しげ おか 岡	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	5.2	0.73	7.1
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	4.3	0.42	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	10	0.73	14
2	富岡町 とみ おか 岡	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	3.6	0.52	6.9
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	6.5	0.63	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	10	0.71	14
3	大熊町 おお の 野	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	5.3	0.75	7.1
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	10	1.0	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	12	0.80	15
4	大熊町 おと と 夫 さ 沢	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	42	6.0	6.9
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	29	2.8	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	59	5.7	10
5	双葉町 ふた や ま 山	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	26	3.5	7.5
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	47	4.3	11
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	46	2.7	17

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 「ND」：検出限界未満

3 検出限界値はおおむね5mBq/m³以下

5-2-4 降下物の核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (Bq/m ² (MBq/km ²))												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁰ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	
1	いわき市 ひまのはま 久之浜	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	1.3	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.058	0.89	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	3.9	ND
2	田村市 みやこじ 都路	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.45	5.6	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.49	6.7	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	2.9	ND
3	富岡町 とみおか 富岡	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.89	11	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.57	7.2	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.41	5.0	ND
4	大熊町 おおくま 大野	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	34	420	ND	
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14	180	ND	
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.3	41	ND	
5	双葉町 ふたば 郡山	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14	170	ND	
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17	220	ND	
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	700	ND	
6	南相馬市 みなま 菅浜	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.50	5.8	ND	
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	5.5	ND	
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	2.6	ND	
7	浪江町 なみえ 浪江	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.9	25	ND	
		R1. 5. 8 ~ R1. 6. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.5	18	ND	
		R1. 6. 4 ~ R1. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6.7	ND	
8	浪江町 つしま 津島	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6.0	73	ND	
		R1. 5. 8 ~ R1. 6. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.0	42	ND	
		R1. 6. 4 ~ R1. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.9	40	ND	
9	葛尾村 かつらお 落合	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.9	ND	
		R1. 5. 8 ~ R1. 6. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.64	6.3	ND	
		R1. 6. 4 ~ R1. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.9	ND	
10	川俣町 がまき 山本屋	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.6	48	ND	
		R1. 5. 8 ~ R1. 6. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.7	47	ND	
		R1. 6. 4 ~ R1. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.1	14	ND	

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域
2 「ND」：検出限界未満

5-3 比較対照地点

5-3-1 空間線量率(比較対照地点)

No.	測定地点名	測定年月		H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
		測定項目	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	福島市 もみじやま 紅葉山	70 (81)	720	70 (92)	744	69 (100)	720																					
2	郡山市 日和田	123 (136)	720	124 (137)	744	123 (151)	720																					
3	いわき市 翠	61 (74)	720	61 (71)	744	61 (84)	720																					

単位:線量率:μGy/h、測定時間:h
上段:平均値(下段):最大値

5-3-2 大気浮遊じん中の核種濃度（比較対照地点）

No	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)														
			⁵¹ Cr	⁵⁵ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁶ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce		
1	福島市 方木田 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.11 ~ H31.4.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND	ND
		R1.5.7 ~ R1.5.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.040	ND	ND
		R1.6.4 ~ R1.6.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.035	ND	ND
2	会津若松市 追手町 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.4 ~ H31.4.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.13 ~ R1.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.4 ~ R1.6.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	郡山市 麓山 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.8 ~ H31.4.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.029	ND	ND
		R1.5.15 ~ R1.5.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.6 ~ R1.6.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
4	白河市 昭和町 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.4 ~ H31.4.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.13 ~ R1.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.4 ~ R1.6.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
5	相馬市 玉野 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.8 ~ H31.4.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.041	ND	ND
		R1.5.15 ~ R1.5.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.050	ND	ND
		R1.6.6 ~ R1.6.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
6	伊達市 富成 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.8 ~ H31.4.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.15 ~ R1.5.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.6 ~ R1.6.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
7	南会津町 吉田島 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.4 ~ H31.4.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.13 ~ R1.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.4 ~ R1.6.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

(注) 1 「ND」：検出限界未満 「-」：欠測

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 ろ紙の灰化処理はせずろ紙を直接18容器で測定した。

4 ¹³⁴Cs及び¹³⁷Csの検出限界値：簡易型ダストサンプラー（1週間集じん）はおおむね0.04 mBq/m³以下である。

5-3-3 大気中水分のトリチウム濃度 (比較対照地点)

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m ³)	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
1	福島市 方木田 <small>ほろきだ</small>	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	5. 0	0. 81	大気中水分量 (g/m ³) 6. 2
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	5. 0	0. 50	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	13

(注) 「ND」：検出限界未満

数値は有効数字2桁にて表記

5-3-4 降下物の核種濃度 (比較対照地点)

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (Bq/m ² (MBq/km ²))															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce				
1	福島市 方木田	H31.4.1 ~ R1.5.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.7 ~ R1.6.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.66	7.6	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.3 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	3.1	ND	ND	ND	ND	ND
2	三春町 深作	H31.4.1 ~ R1.5.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	1.3	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.7 ~ R1.6.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.60	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.3 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	ND	ND	ND	ND	ND

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 「/」: 対象外核種
 2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

5-3-5 環境試料中の核種濃度 (比較対照地点)

試料名	種類 又は 部位	採取地点番号 及び採取地点名	採取 年月日	単位	全 ^{α,β} 放射能 濃度	核種濃度														天然 核種 ⁴⁰ K								
						⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁶⁵ Zn	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	³ H	¹³¹ I		⁹⁰ Sr	⁹⁰ Sr	²³⁸ Pu	^{239/240} Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm		
土壌	土壌	1 福島市 荒井	RI. 5. 9	Bq/kg乾	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	220			
		2 郡山市 蓬瀬町	RI. 5. 24		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	410	
		3 いわき市 川部町	RI. 5. 23		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	310
		4 白河市 天信原	RI. 5. 24		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	530
		5 相馬市 中村	RI. 5. 23		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	360
		6 会津若松市 一葉町	RI. 5. 20		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	780
		7 南会津町 栄沢	RI. 5. 20		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	260
上水	蛇口水	1 会津若松市 追手町	H31. 4. 4	Bq/l	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.057			
		2 福島市 杉葉町	RI. 5. 8		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	57		
松葉	二年葉	1 郡山市 藤山	RI. 5. 20	Bq/kg生	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	82		
		3 白河市 筒笠町	RI. 5. 13		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	88		
		4 会津若松市 城東町	RI. 5. 20		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	91	
		5 南会津町 米田	RI. 5. 14		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	72			

(注) 1 [ND]: 検出限界未満 「/」: 対象外核種

5-4 試料採取時の付帯データ集
(原子力発電所周辺等環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH
1	いわき市	H31. 4. 11	10.1	10.0	7.5
2	田村市	H31. 4. 16	13.6	12.5	7.8
3	広野町	H31. 4. 11	11.2	10.5	7.6
4	檜葉町	H31. 4. 11	9.2	10.2	7.1
5	富岡町	H31. 4. 15	15.2	14.5	7.3
6	川内村	H31. 4. 16	15.1	13.5	7.4
7	大熊町	R1. 5. 14	20.1	19.0	7.2
8	双葉町	—	—	—	—
9	浪江町	H31. 4. 15	19.1	18.9	7.6
10	葛尾村	H31. 4. 16	10.9	10.5	7.3
11	南相馬市	H31. 4. 15	16.1	13.0	7.2
12	飯館村	H31. 4. 17	20.2	12.5	7.5
13	川俣町	H31. 4. 17	20.6	11.1	7.3

2 海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH	Cl ⁻ (‰)
1	第一(発)南放水口付近	H31. 4. 17	12.0	9.6	7.9	19
		R1. 5. 10	21.0	11.3	8.1	19
		R1. 6. 4	16.0	10.8	7.9	18
2	第一(発)北放水口付近	H31. 4. 17	11.5	9.9	7.9	18
		R1. 5. 10	22.0	11.4	8.1	18
		R1. 6. 4	16.0	10.9	7.9	18
3	第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側)	H31. 4. 17	12.5	10.0	7.9	18
		R1. 5. 10	22.0	11.6	8.1	18
		R1. 6. 4	16.0	11.1	8.0	18
4	第一(発)沖合 2 km	H31. 4. 17	11.0	10.0	7.9	18
		R1. 5. 10	22.0	12.0	8.1	18
		R1. 6. 4	17.0	11.0	7.9	18
5	夫沢・熊川沖 2 km	H31. 4. 17	11.0	9.7	7.9	19
		R1. 5. 10	20.0	12.5	8.1	18
		R1. 6. 4	17.0	11.2	7.9	18
6	双葉・前田川沖 2 km	H31. 4. 17	11.5	9.9	7.9	18
		R1. 5. 10	21.0	11.9	8.1	18
		R1. 6. 4	17.0	10.8	8.0	18
7	第二(発)南放水口	R1. 5. 16	18.0	11.2	8.1	19
8	第二(発)北放水口	R1. 5. 16	14.7	12.7	8.1	19

(比較対照地点環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH
1	会津若松市	H31. 4. 4	12.0	5.5	7.0

第6 参考資料

6-1 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う海水モニタリング結果（公表資料）

【地下水バイパス水関係】

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、南放水口付近（T-2）の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和元年8月6日公表資料

【サブドレン・地下水ドレン処理水関係】

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理水の海域への排出に際し、5・6号機放水口北側（T-1）の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和元年8月6日公表資料

令和元年 8 月 6 日
福島県放射線監視室

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の
海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について（6月調査分）

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、環境への影響を確認するため、海水モニタリングを定期的実施しております。

【調査結果の概要】

今回は福島第一原子力発電所南放水口付近（T-2）の海域1地点における、地下水バイパス水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。

採取した海水中の放射能濃度（単位：Bq/L）は、全ベータ放射能が 0.02、放射性セシウムが 0.059、トリチウムが 1.9 でした。

なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値及び告示濃度限度^{※1}及びWHO飲料水水質ガイドラインを大幅に下回っています。

○6月調査分における海水の放射能濃度（単位：Bq/L）

排出時刻 10時05分～16時05分、排出量 1,664 m³

採取日時	全ベータ 放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計 ^{※2}	
6月20日 10:30	0.02 (不検出 ～0.22)	不検出 (不検出 ～0.54)	0.059 (不検出 ～1.6)	0.059 (不検出 ～2.14)	1.9 (不検出 ～8.8)

()内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

(参考)	全ベータ 放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計	
東京電力の運用目標値	5	1	1	—	1,500
告示濃度限度 ^{※1}	30 ^{※3}	60	90	—	60,000
WHO飲料水水質ガイドライン	10 ^{※3}	10	10	—	10,000

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則（周辺監視区域外等の濃度限度）

※2 不検出は0として計算

※3 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の排出に伴う海水モニタリングの結果

○今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和元年8月6日 福島県放射線監視室

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
海水	南放水口付近 (T-2) (地下水排出中)	R1. 6. 20	0.02	ND (0.055)	0.059	1.9
		平成30年度	0.02~0.03	ND	ND	ND~7.9
		平成29年度	ND~0.04	ND	ND~0.13	ND~8.8
		平成28年度	0.03~0.15	ND	0.061~0.19	ND~3.0
		平成27年度	0.03~0.13	ND~0.11	0.080~0.40	ND~0.86
		平成26年度	0.04~0.22	ND~0.54	0.12~1.6	ND~3.5

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 () 内: 検出下限値

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

○平成30年3月採水分から、防波堤の本設化工事完了に伴い、採水地点が排出地点の北約10m地点から排出地点の南約30m地点へと変更となりました。

平成26年5月21日(初回排出日)以前のモニタリング結果

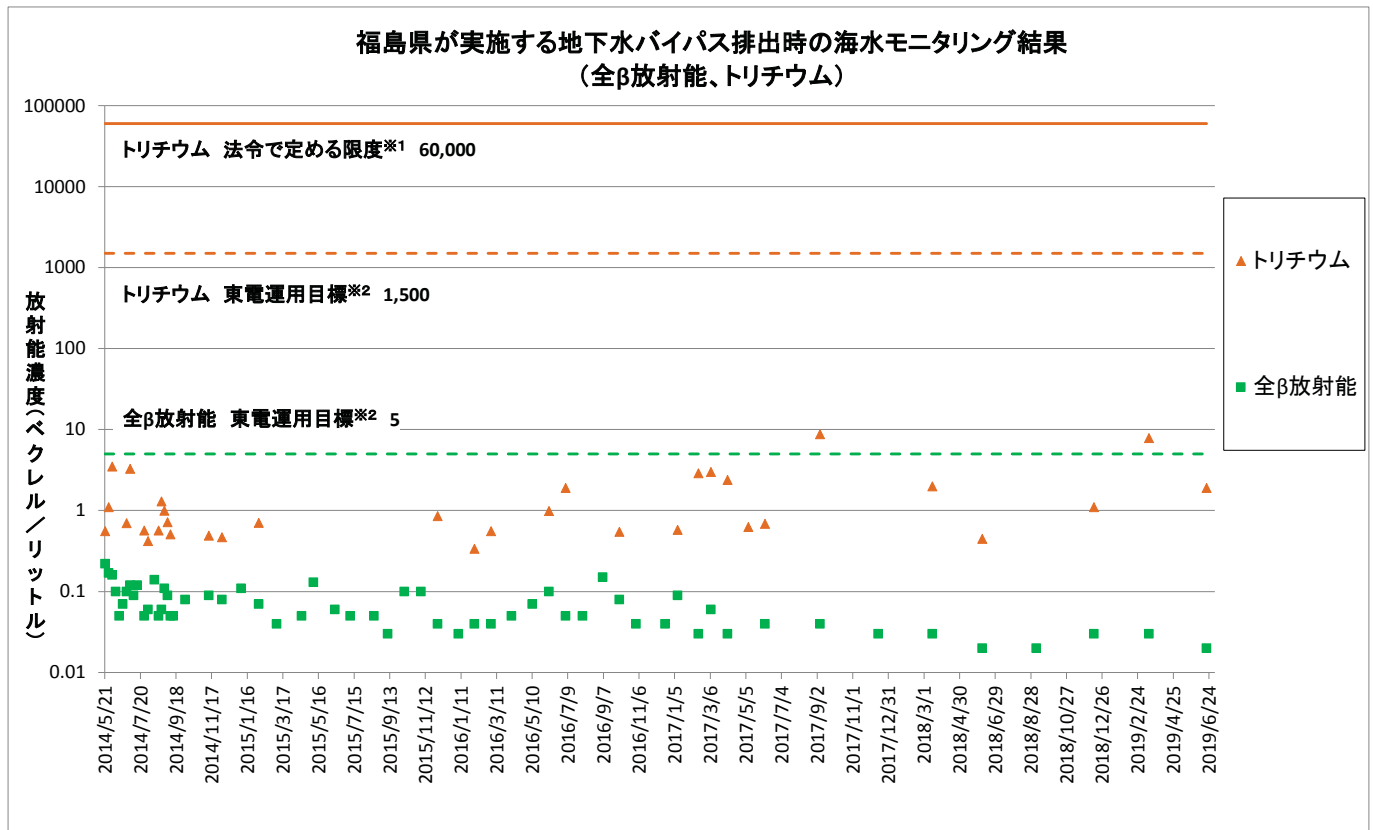
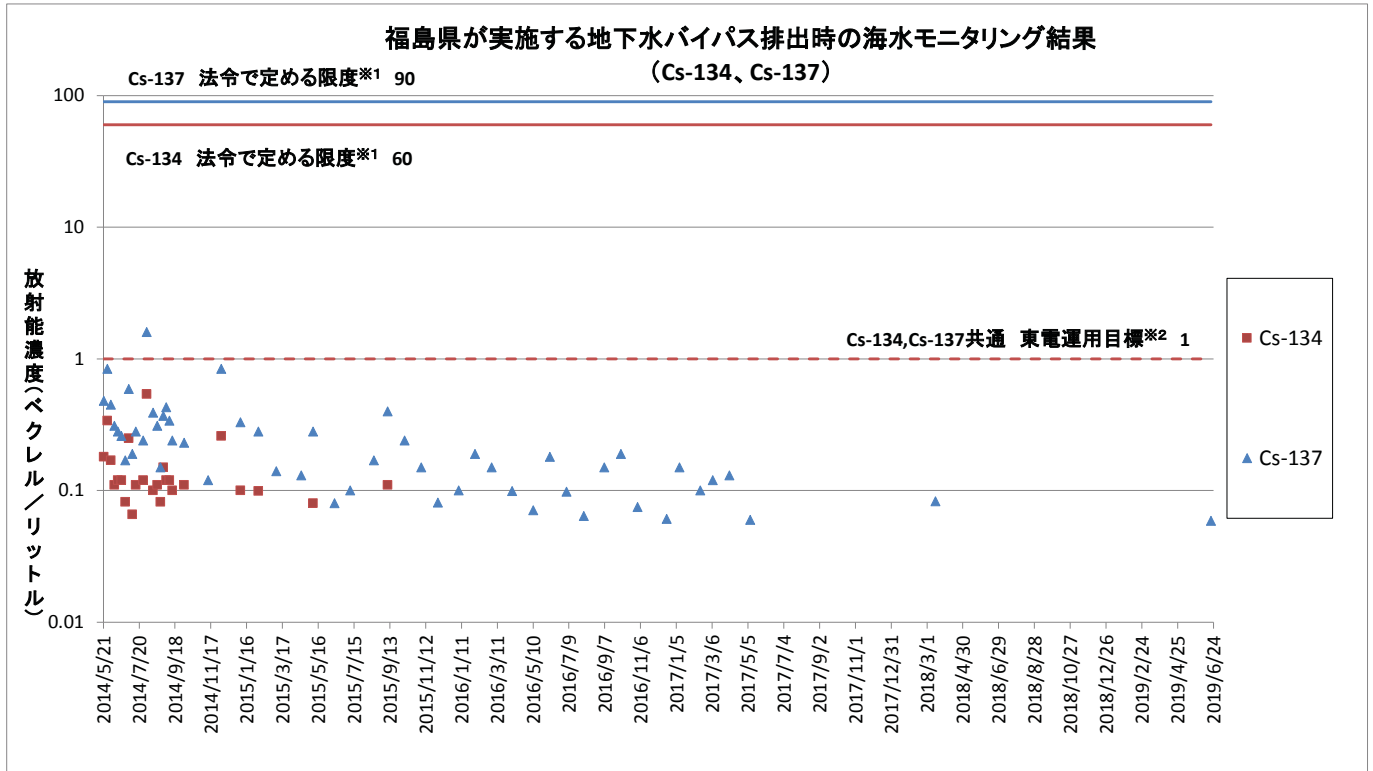
試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
(参考) 県が平成25年度以降に実施した海域モニタリングにおける測定値の範囲	南放水口付近 (T-2) (陸側から採取)	H25. 10. 3、H25. 10. 17 H25. 10. 21、H27. 2. 25	0.16~0.48	0.082~0.80	0.33~1.8	ND~0.69
	南放水口付近 (T-2-1) (陸側から採取)	H25. 6. 27 H27. 2. 25	0.07	0.31~0.36	0.59~1.2	0.32~0.91
	南放水口付近 (F-P01) (船舶から採取)	H25. 7. 31~H28. 12. 12	0.02~0.64	ND~0.35	ND~0.71	ND~2.4
(参考) 県が測定した原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	ND~0.05	ND	ND~0.003	ND~2.9

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

※全β放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

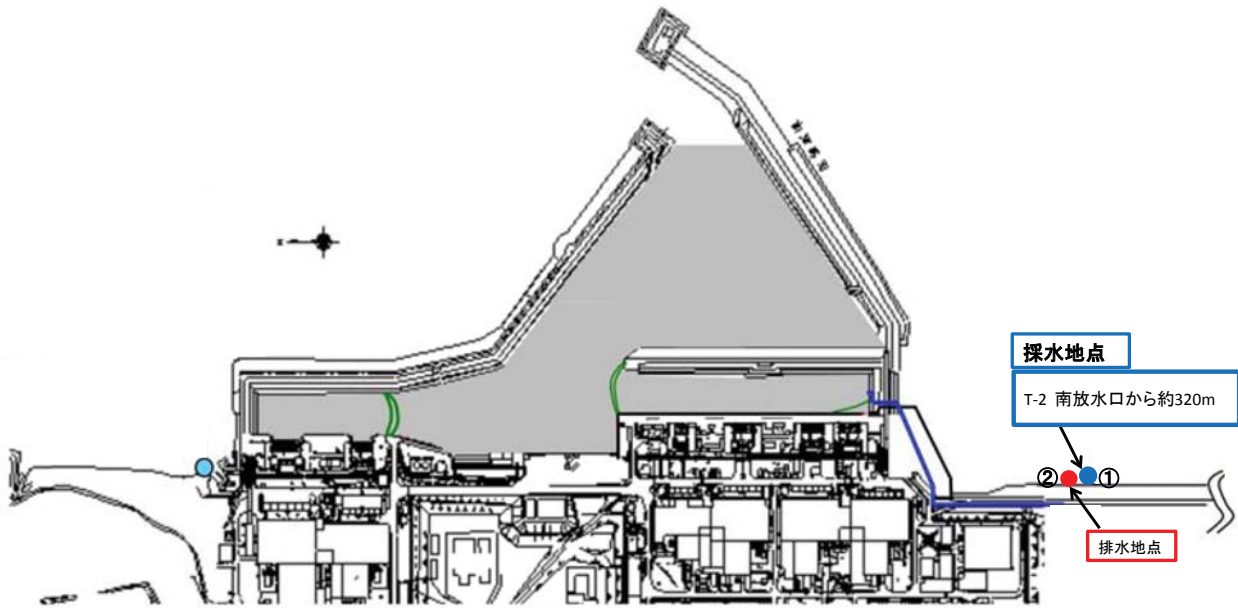
測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

注: 不検出の場合はプロットされません。



※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度
 ※2 福島第一原子力発電所 地下水バイパス水一時貯留タンクの運用目標値
 ※3 平成26年9月13日排水時まで排出毎に調査実施。但し、平成26年7月21日及び8月5日の排出時の海水試料は採取できず。
 平成26年9月13日以降は毎月1回、平成29年6月6日以降は四半期1回のモニタリングに変更しています。

採水地点及び排水地点（東京電力資料より）



- ① 旧採水地点:平成29年1月採水分までの採水地点(南放水口から約330m南側)
- ② 旧採水地点:平成29年2月採水分から同年12月採水分までの採水地点(南放水口から約280m南側)

福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の
海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について（6月調査分）

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の海域への排出に際し、環境への影響を継続的に監視するため、海水モニタリングを毎月の初回排出時に実施しております。

【調査結果の概要】

今回は福島第一原子力発電所北放水口付近（T-1）の海域1地点における、サブドレン・地下水ドレン処理済み水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。

採取した海水中の放射能濃度（単位：Bq/L）は、全ベータ放射能が 0.03、放射性セシウムが 0.23、トリチウムが 0.34 でした。

なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値及び告示濃度限度^{※1}及び WHO 飲料水水質ガイドラインを大幅に下回っています。

〇6月調査分における海水の放射能濃度（単位：Bq/L）

排出時刻 11時15分～17時57分、排出量 1002 m³

採取日時	全ベータ 放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計 ^{※2}	
6月20日 11:40	0.03 (0.02 ～0.10)	不検出 (不検出 ～0.10)	0.23 (不検出 ～0.44)	0.23 (不検出 ～0.51)	0.34 (不検出 ～2.3)

()内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

(参考)	全ベータ 放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計	
東京電力の運用目標値	3	1	1	—	1,500
告示濃度限度 ^{※1}	30 ^{※3}	60	90	—	60,000
WHO 飲料水水質ガイドライン	10 ^{※3}	10	10	—	10,000

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則（周辺監視区域外等の濃度限度）

※2 不検出は0として計算

※3 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン 処理済み水の排出に伴う海水モニタリングの結果

○今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和元年8月6日 福島県放射線監視室

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全ベータ放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
海水	北放水口付近 (T-1) (処理済み水排出中)	R1. 6. 20	0.03	ND (0.055)	0.23	0.34
		平成30年度	0.02~0.04	ND	ND~0.22	ND~0.55
		平成29年度	0.02~0.04	ND~0.068	ND~0.36	ND~1.5
		平成28年度	0.04~0.10	ND~0.068	0.064~0.44	ND~2.3
		H27. 9. 14~H28. 3. 2	0.03~0.09	ND~0.10	0.14~0.41	ND~1.7

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 () 内: 検出下限値

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

平成27年9月14日(初回排出日)以前のモニタリング結果

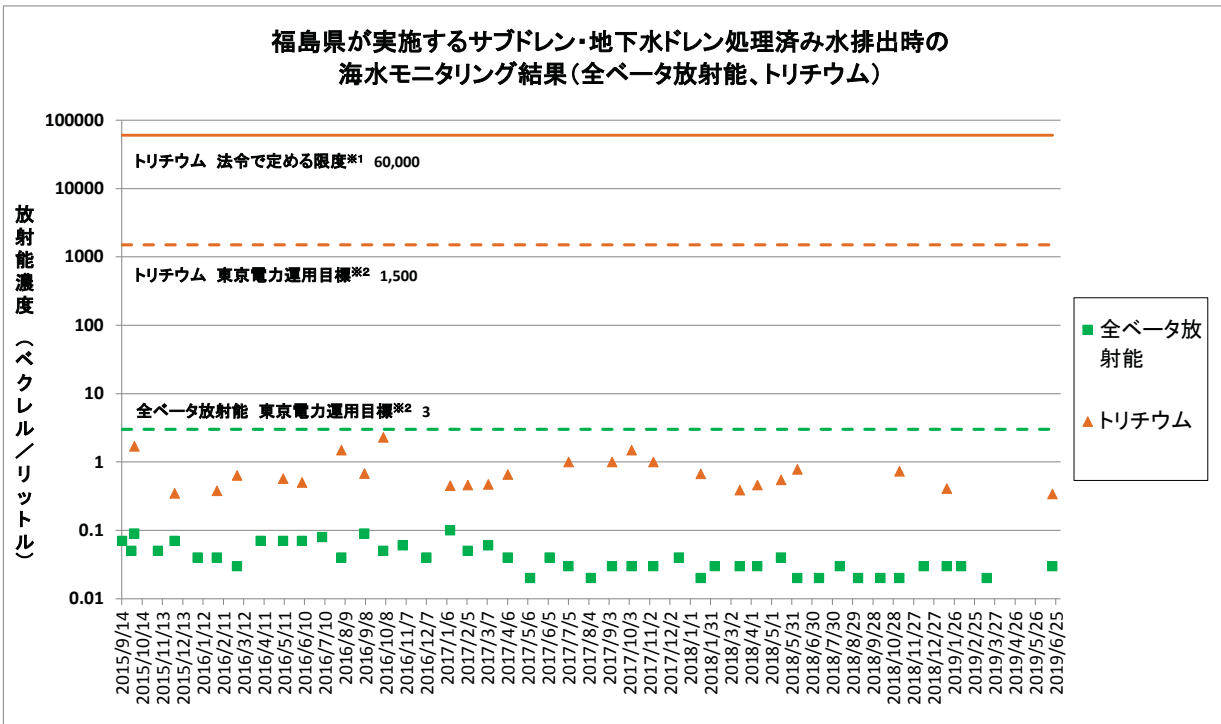
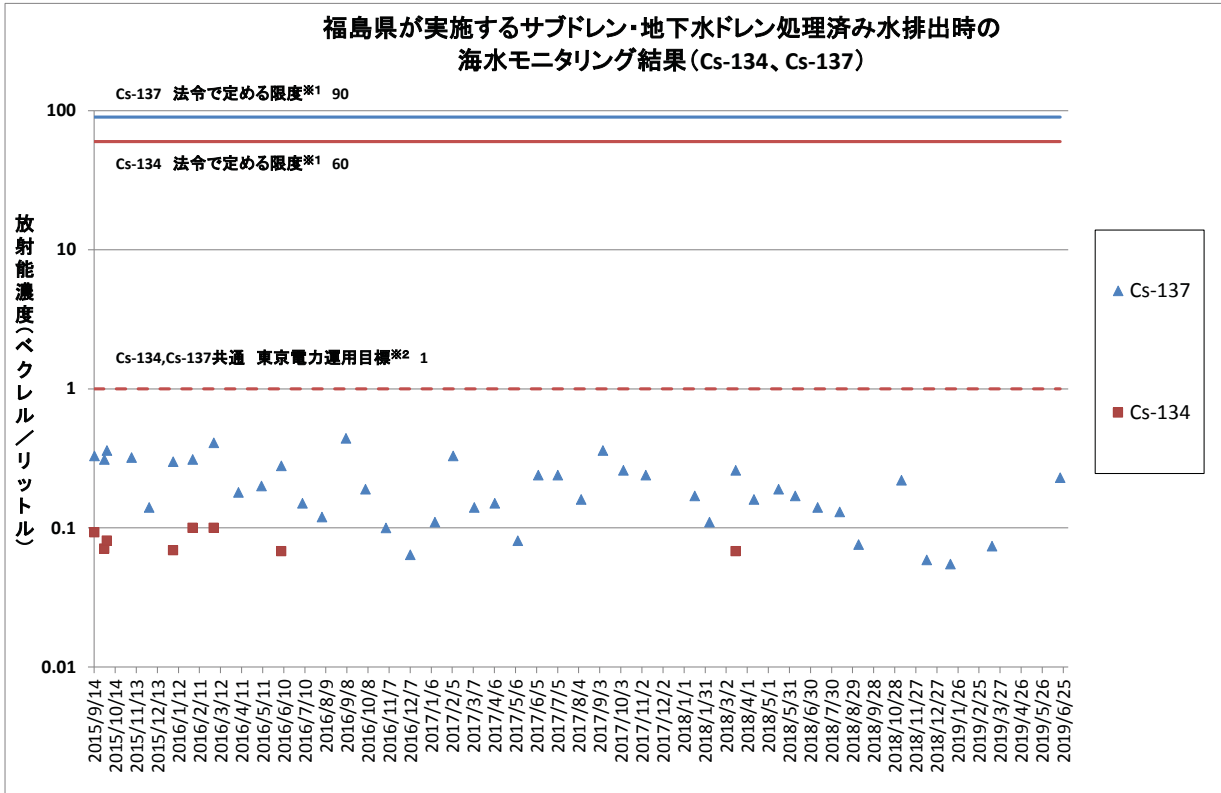
試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全ベータ放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
(参考) 県が平成25~26年 度に実施した海域 モニタリングにお ける測定値の範囲	北放水口付近 (T-1) (陸側から採取)	H25. 6. 27、H25. 9. 27 H26. 4. 4、H27. 2. 25	0.10~0.49	0.26~2.4	0.84~5.0	0.61~1.1
	北放水口付近 (F-P02) (船舶から採取)	H25. 7. 31~H27. 3. 3	0.03~0.51	ND~0.24	ND~0.56	ND~2.5
(参考) 県が測定し た原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	ND~0.05	ND	ND~0.003	ND~2.9

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

※全ベータ放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

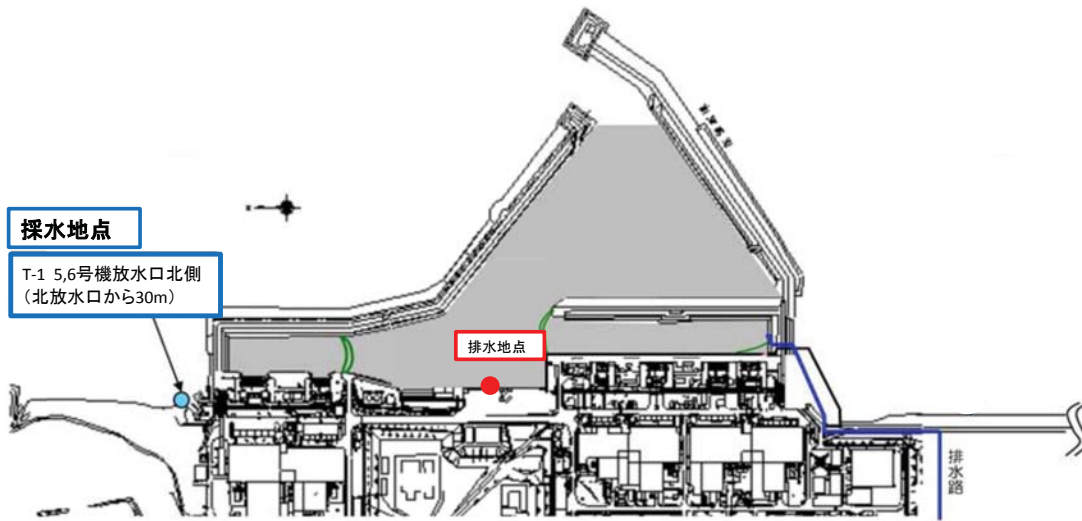
注: 不検出の場合はプロットされません。



※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度

※2 福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水一時貯留タンクの運用目標値

採水地点及び排水地点（東京電力資料より）



各地点の空間線量率等の変動グラフ

平成31年4月～令和元年6月

福島県

目次

空間線量率

1 いわき市小川	1
2 いわき市久之浜	2
3 いわき市下桶売	3
4 いわき市川前	4
5 田村市都路馬洗戸	5
6 広野町二ツ沼	6
7 広野町小滝平	7
8 檜葉町山田岡	8
9 檜葉町木戸ダム	9
10 檜葉町繁岡	10
11 檜葉町松館	11
12 檜葉町波倉	12
13 富岡町上郡山	13
14 富岡町下郡山	14
15 富岡町深谷	15
16 富岡町富岡	16
17 富岡町夜の森	17
18 川内村下川内	18
19 大熊町向畑	19
20 大熊町熊川	20
21 大熊町南台	21
22 大熊町大野	22
23 大熊町夫沢	23
24 双葉町山田	24
25 双葉町郡山	25
26 双葉町新山	26
27 双葉町上羽鳥	27
28 浪江町請戸	28
29 浪江町棚塩	29
30 浪江町浪江	30
31 浪江町幾世橋	31
32 浪江町大柿ダム	32
33 浪江町南津島	33
34 葛尾村夏湯	34
35 南相馬市泉沢	35
36 南相馬市横川ダム	36
37 南相馬市萱浜	37
38 飯舘村伊丹沢	38
39 川俣町山木屋	39

大気浮遊じん(推移)

1 いわき市小川	40
2 田村市都路馬洗戸	41
3 広野町小滝平	42
4 檜葉町木戸ダム	43
5 檜葉町繁岡	44
6 富岡町富岡	45
7 川内村下川内	46
8 大熊町大野	47
9 大熊町夫沢	48
10 双葉町郡山	49
11 浪江町幾世橋	50
12 浪江町大柿ダム	51
13 葛尾村夏湯	52
14 南相馬市泉沢	53
15 南相馬市萱浜	54
16 飯舘村伊丹沢	55
17 川俣町山木屋	56

大気浮遊じん(相関図)

1 いわき市小川	57
2 田村市都路馬洗戸	57
3 広野町小滝平	58
4 檜葉町木戸ダム	58
5 檜葉町繁岡	59
6 富岡町富岡	59
7 川内村下川内	60
8 大熊町大野	60
9 大熊町夫沢	61
10 双葉町郡山	61
11 浪江町幾世橋	62
12 浪江町大柿ダム	62
13 葛尾村夏湯	63
14 南相馬市泉沢	63
15 南相馬市萱浜	64
16 飯舘村伊丹沢	64
17 川俣町山木屋	65

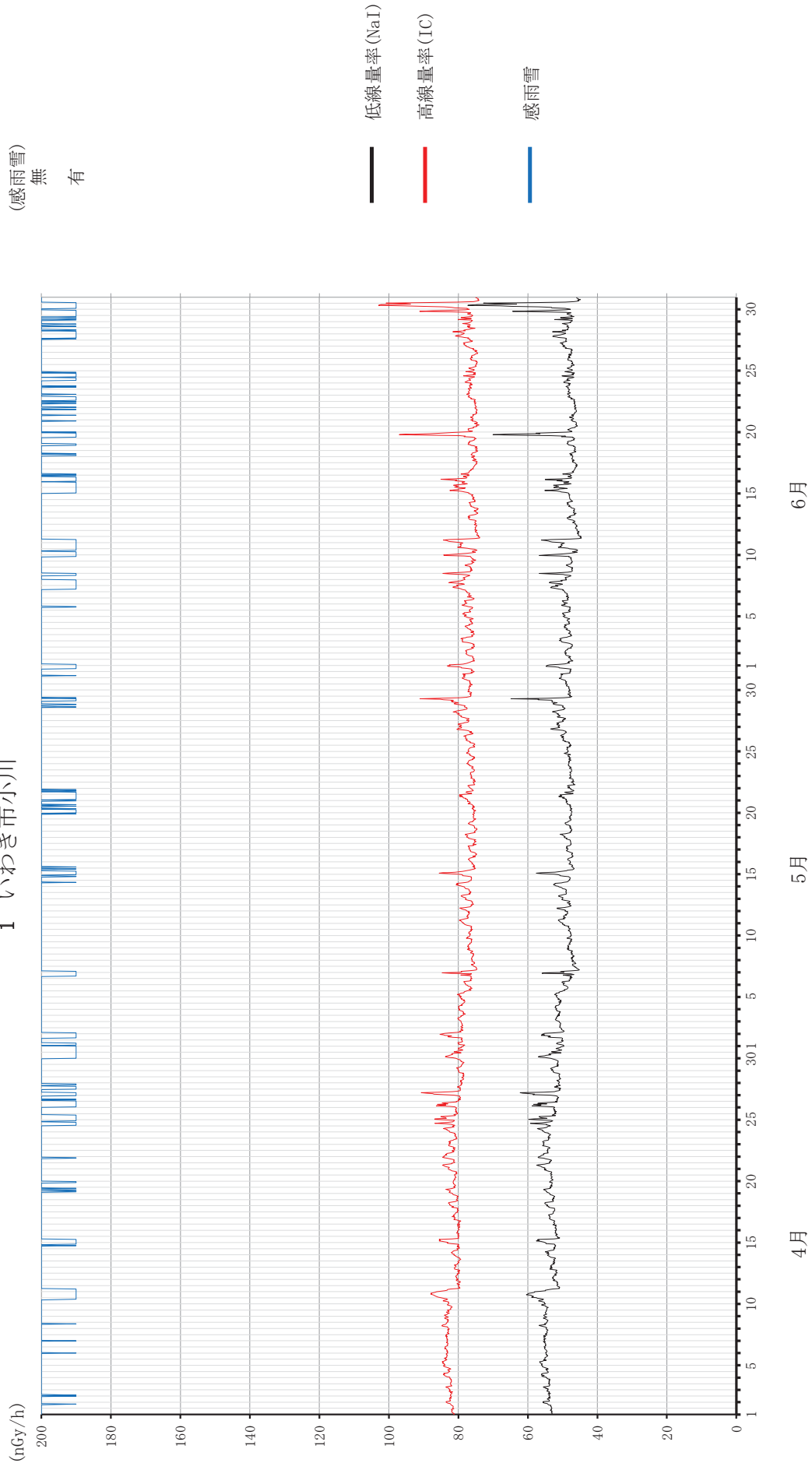
空間線量率(比較対照)

1 福島市紅葉山	66
2 郡山市日和田	67
3 いわき市平	68

※ 図中の「事故前の最大値」は、平成23年3月10日までに観測された最大値

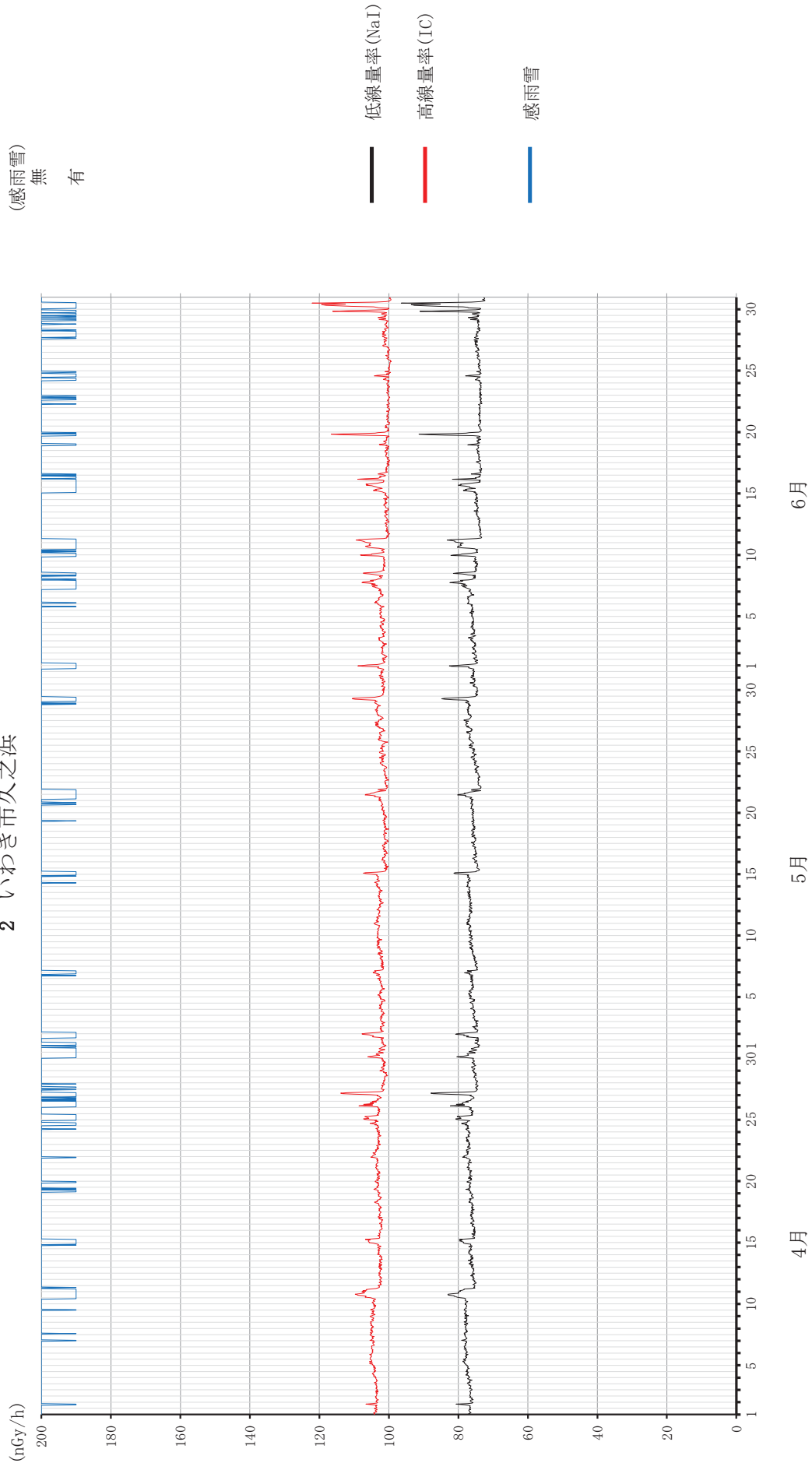
空間線量率の変動グラフ

1 いわき市小川



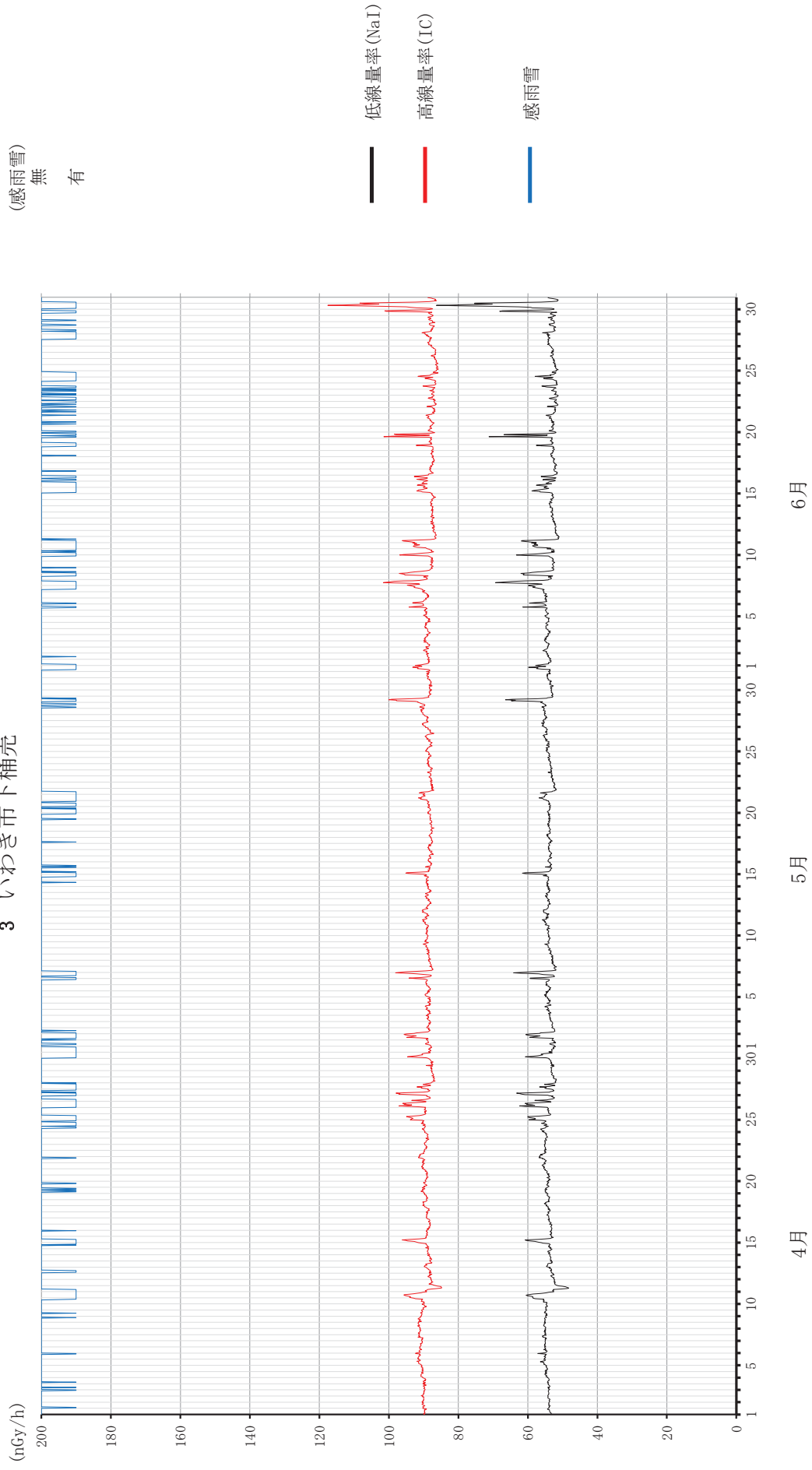
空間線量率の変動グラフ

2 いわき市久之浜



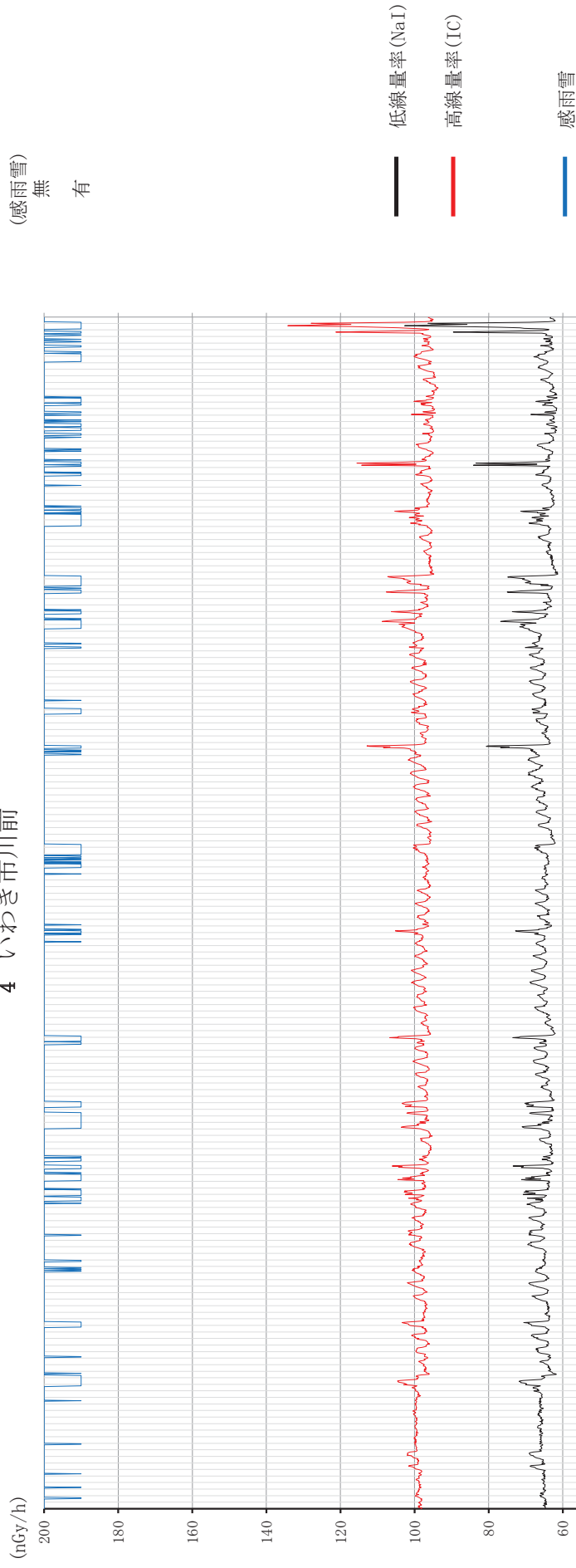
空間線量率の変動グラフ

3 いわき市下桶売

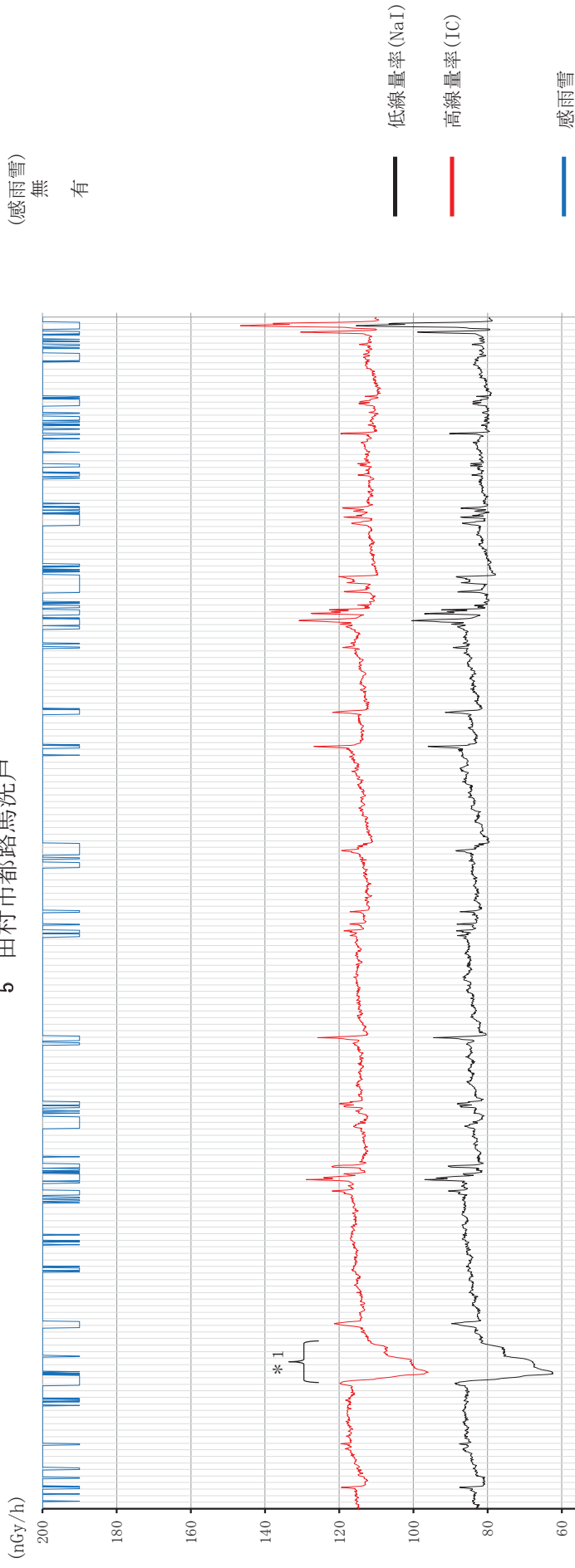


空間線量率の変動グラフ

4 いわき市川前

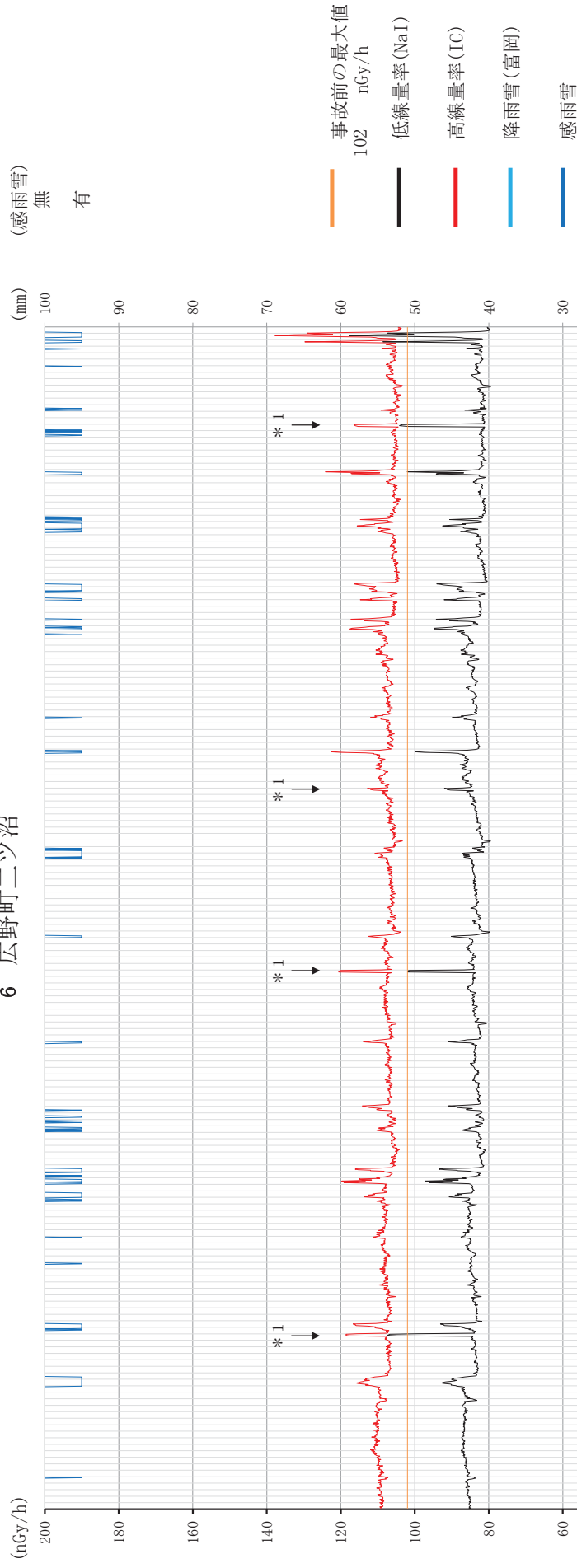


空間線量率の変動グラフ 5 田村市都路馬洗戸



空間線量率の変動グラフ

6 広野町二ツ沼



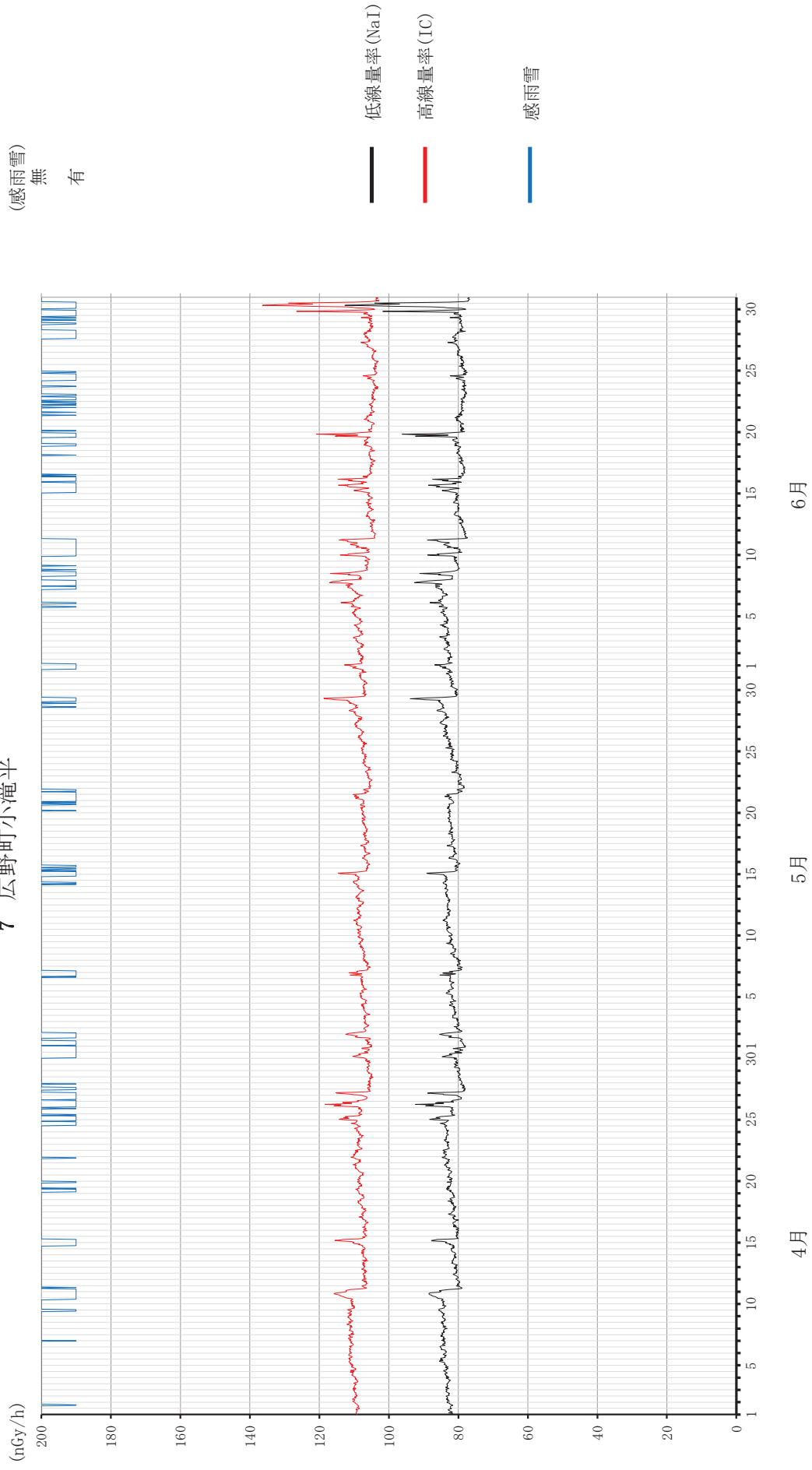
6月

5月

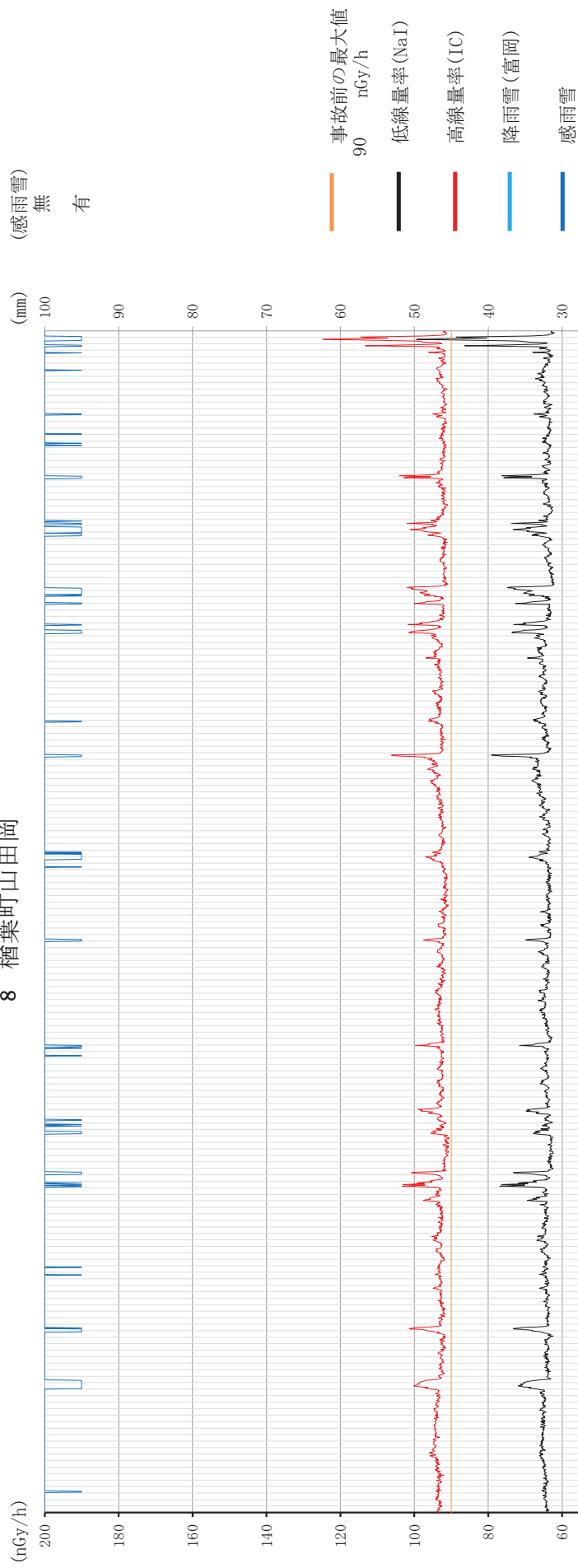
4月

* 1 局舎周辺への汚染車両駐車による線量率上昇

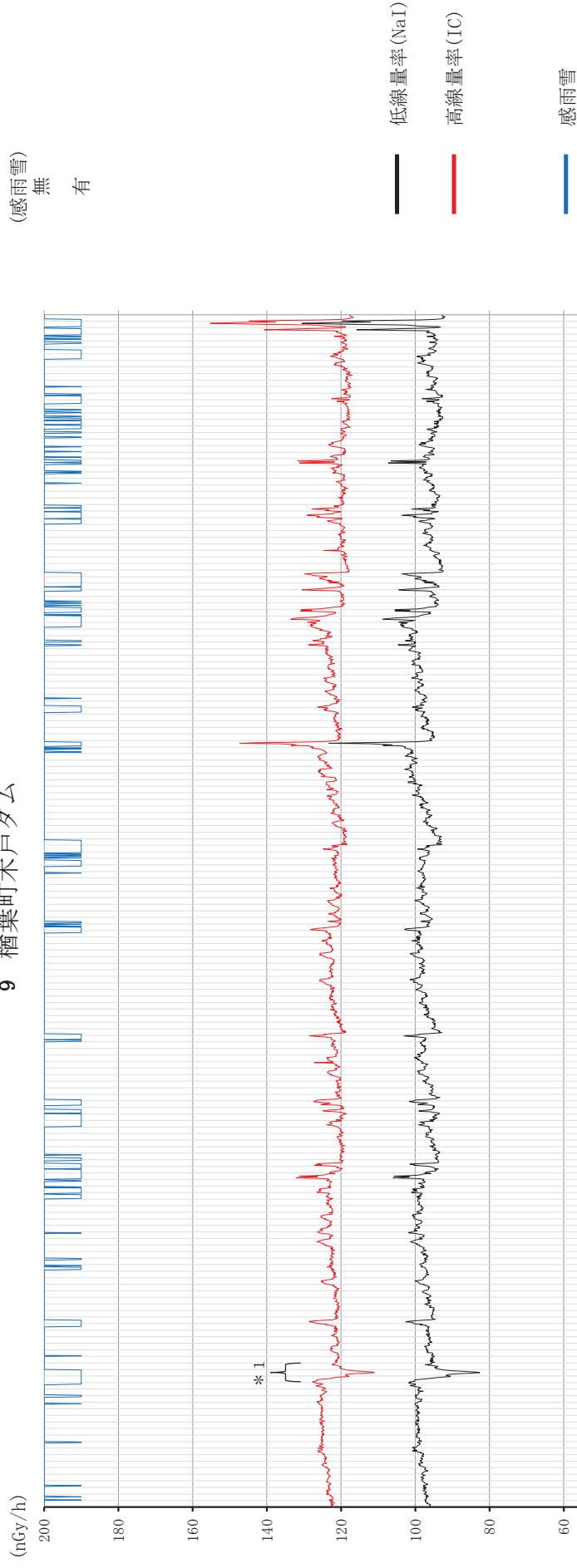
空間線量率の変動グラフ 7 広野町小滝平



空間線量率の変動グラフ 8 榎葉町山田岡



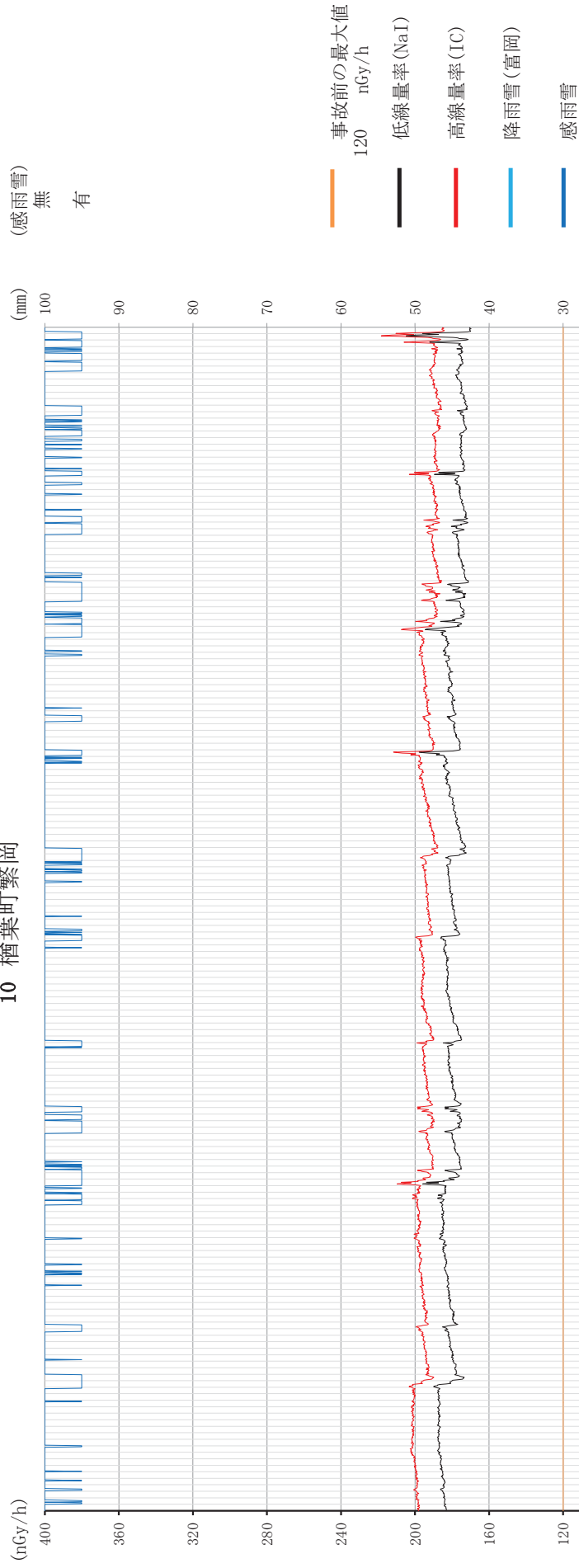
空間線量率の変動グラフ 9 榎葉町木戸ダム



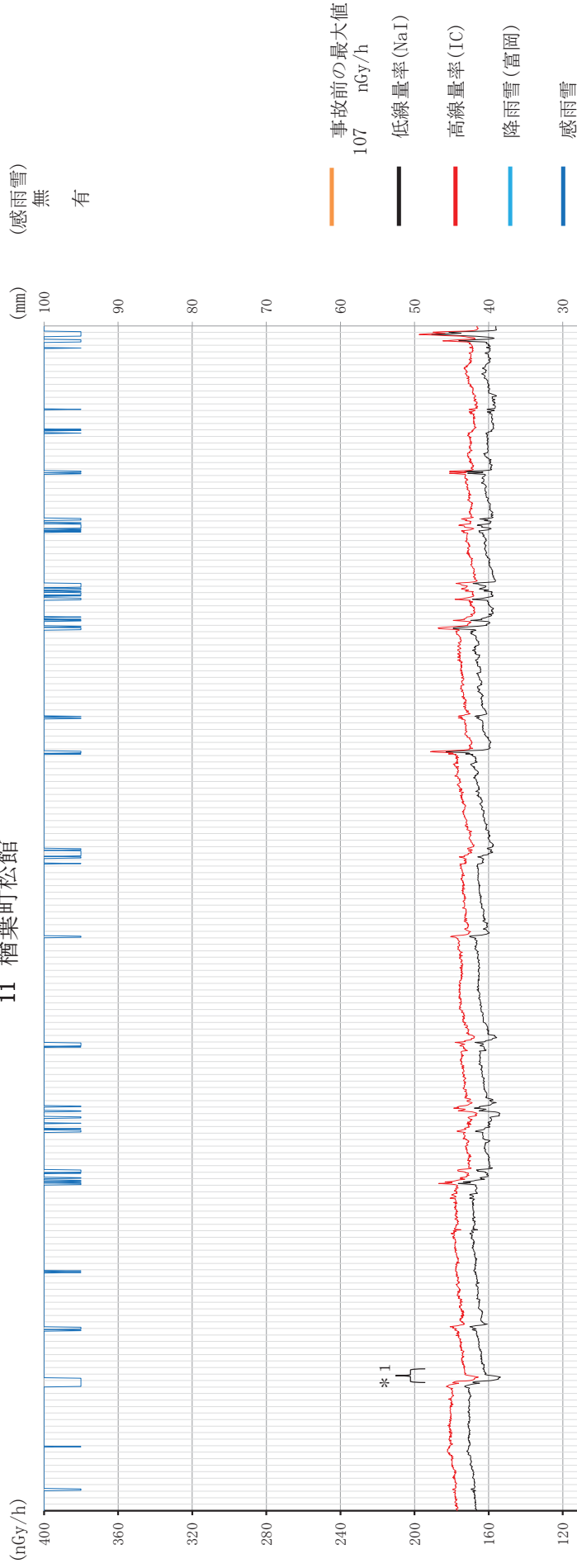
* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

10 榎葉町繁岡



空間線量率の変動グラフ
11 榎葉町松館



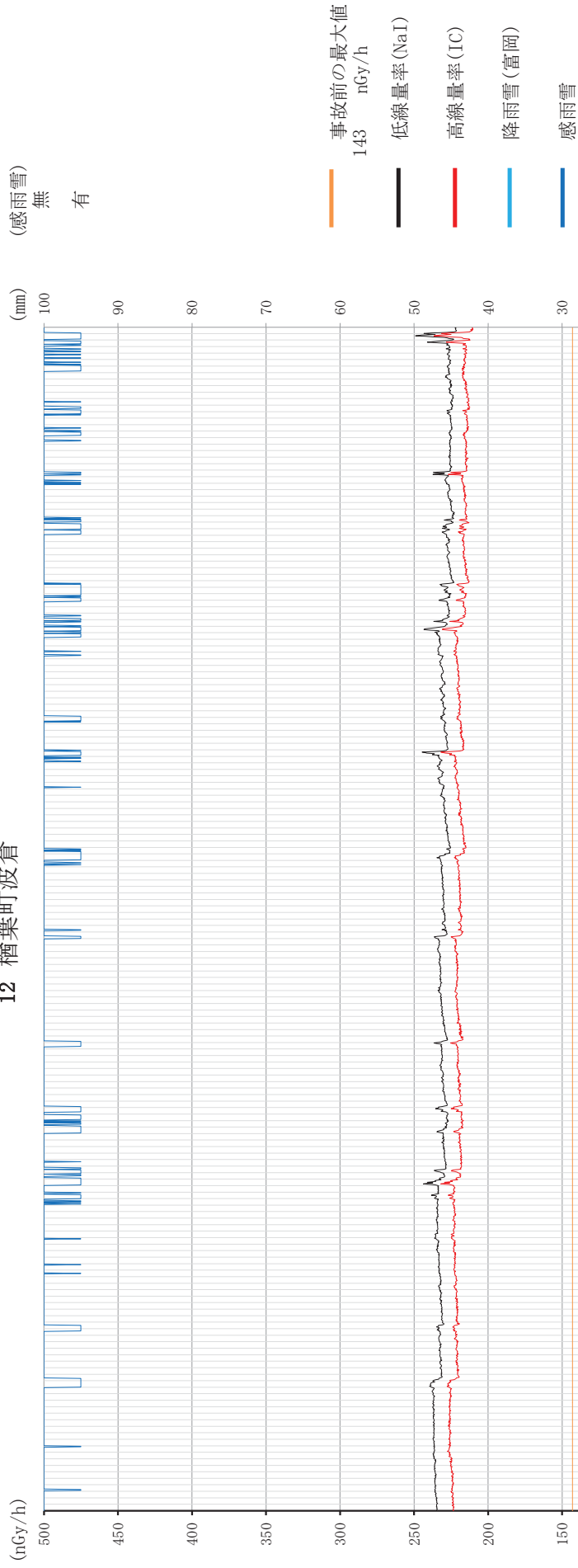
6月

5月

4月

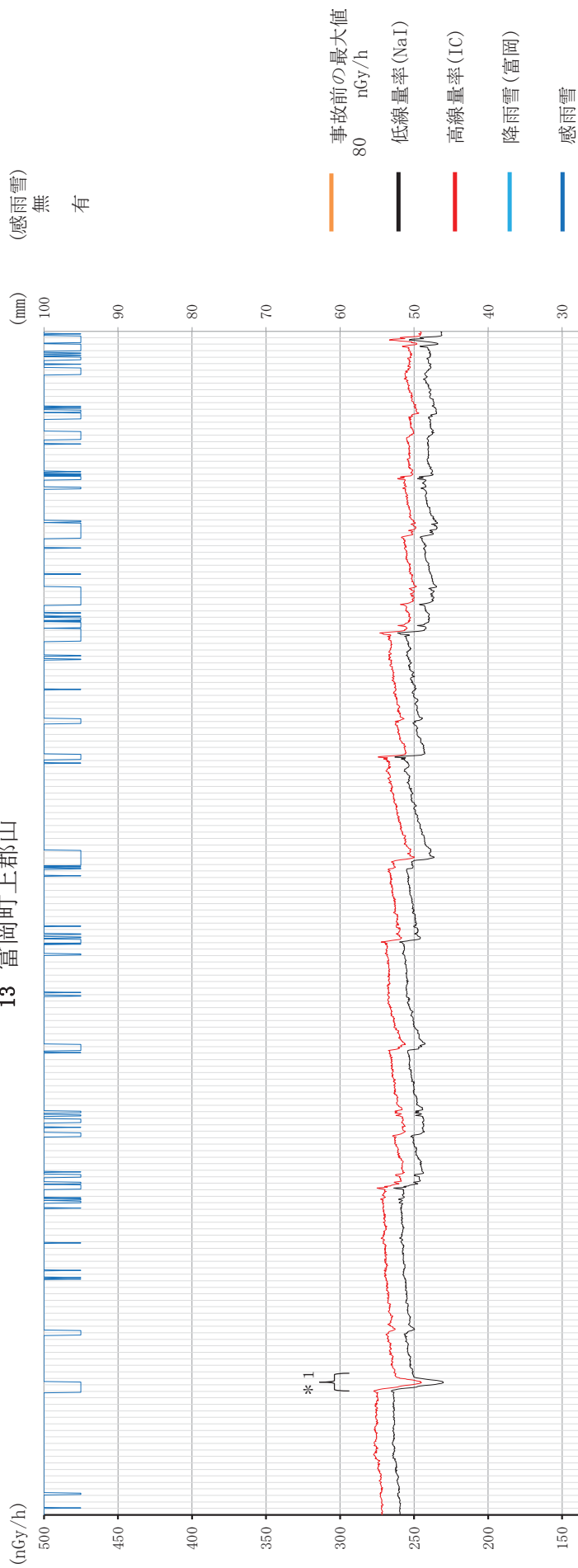
*1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
12 榎葉町波倉



空間線量率の変動グラフ

13 富岡町上郡山



6月

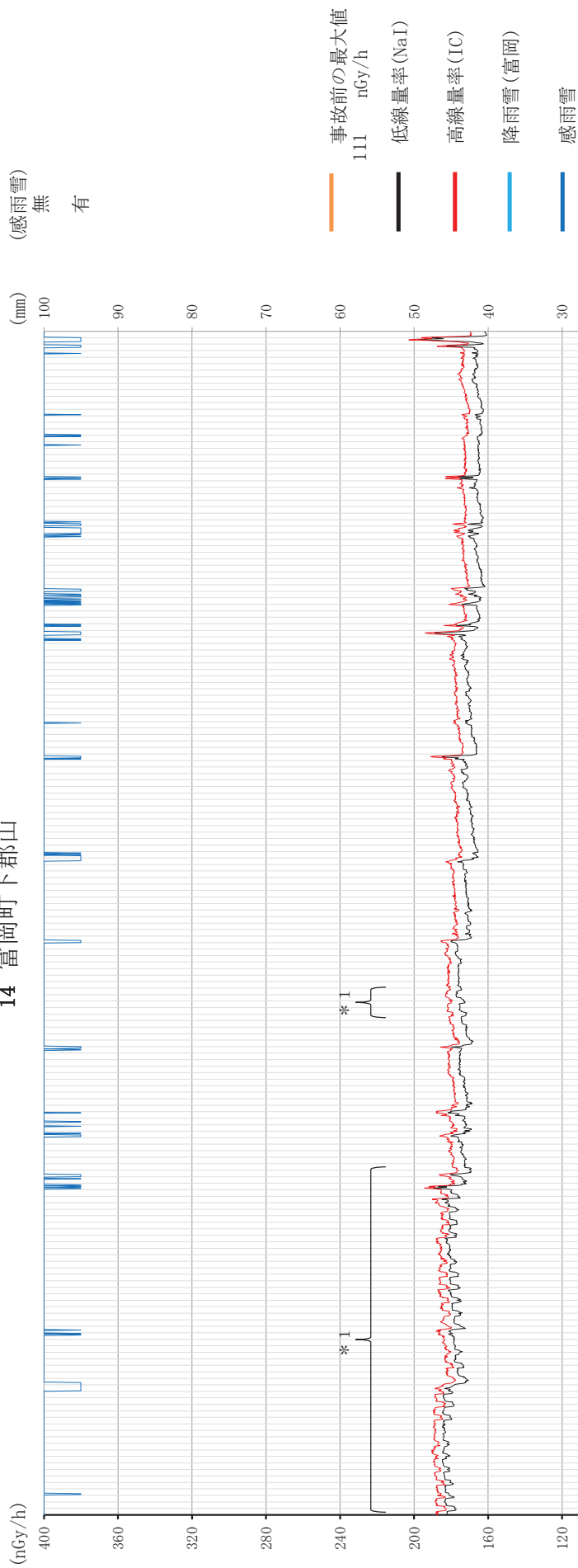
5月

4月

* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

14 富岡町下郡山



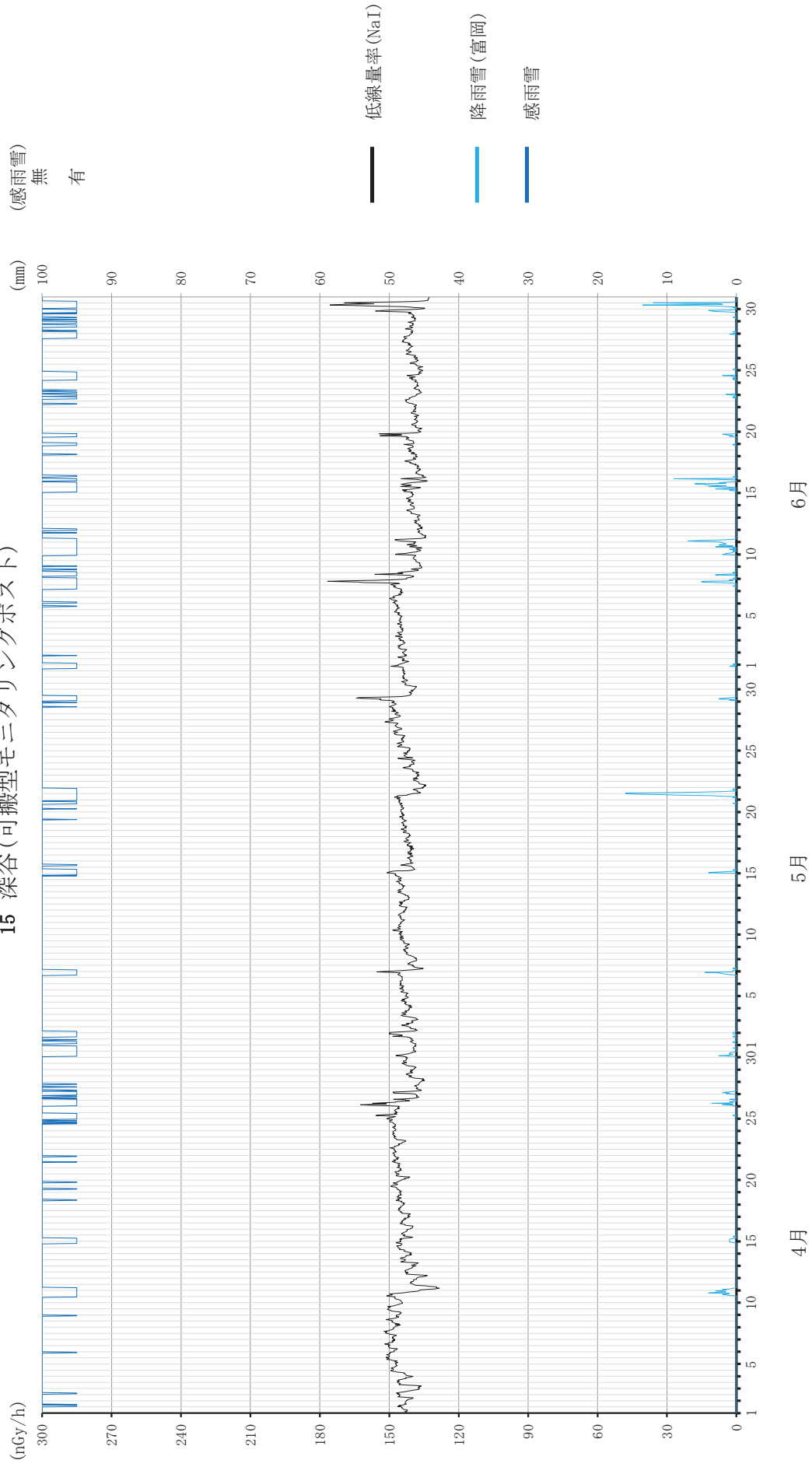
4月

5月

6月

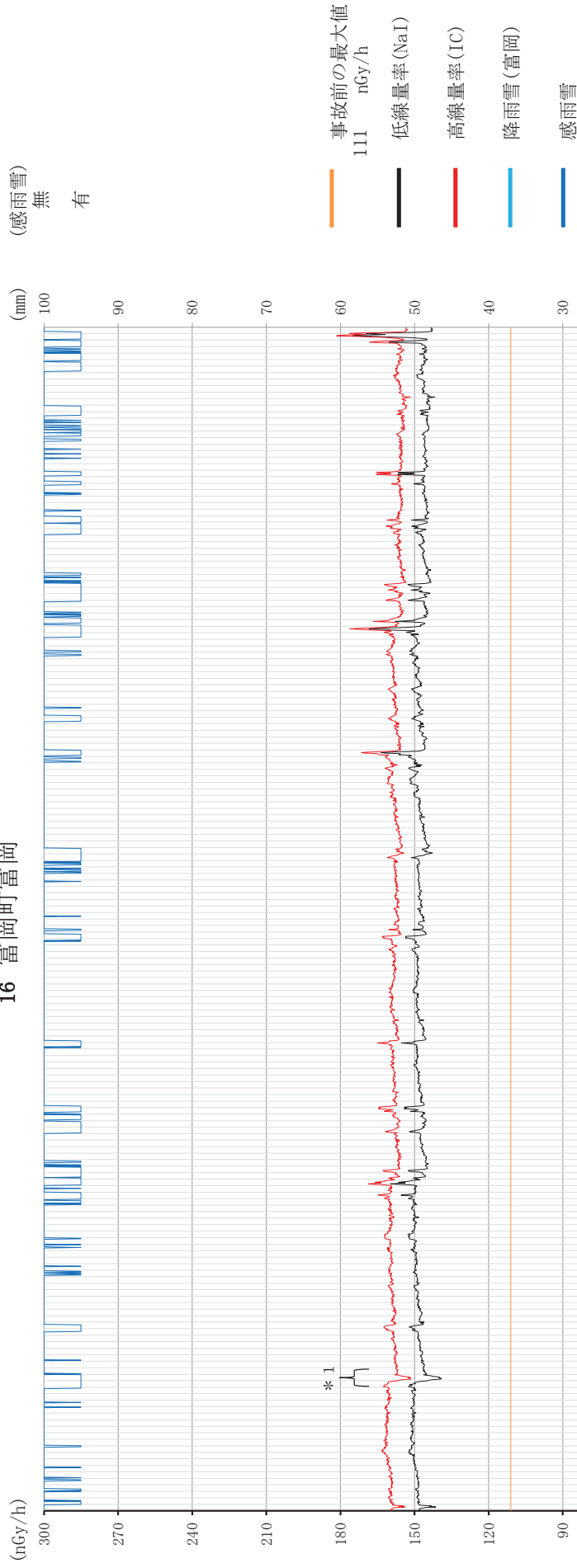
* 1 局舎周辺での建設工事に伴う停車車両の遮へい効果のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ 15 深谷(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ

16 富岡町富岡



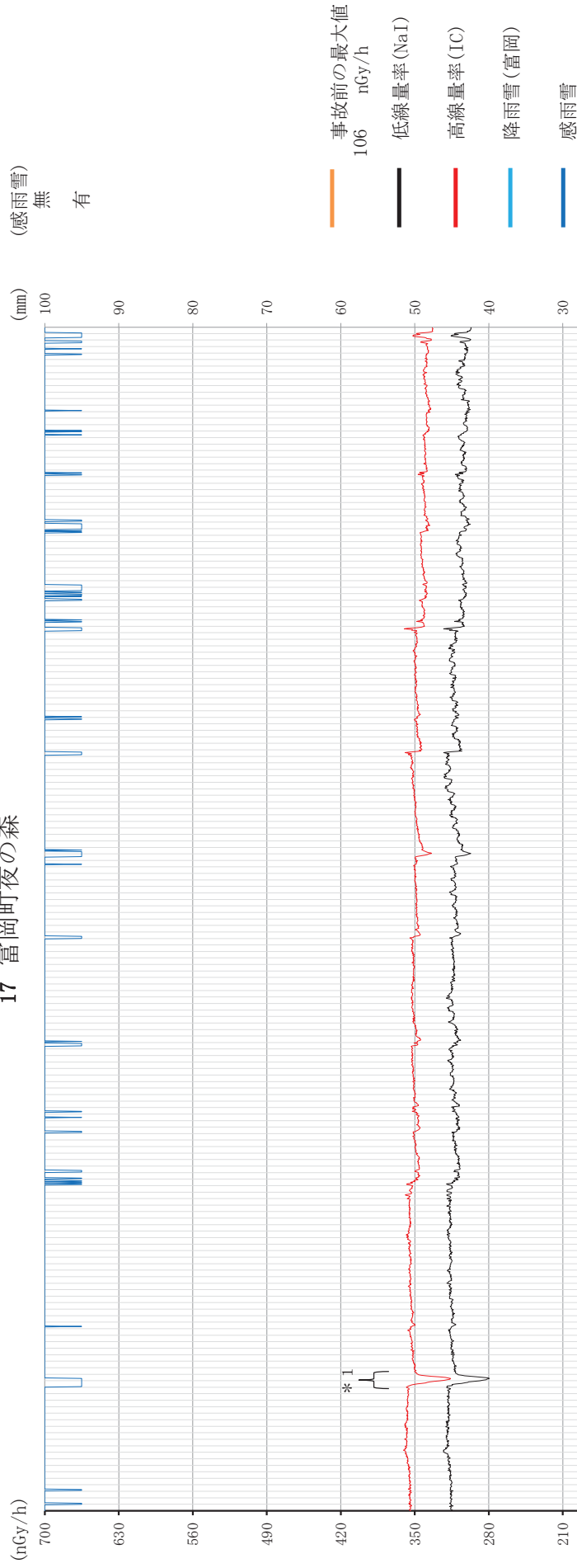
6月

5月

4月

*1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
17 富岡町夜の森



6月

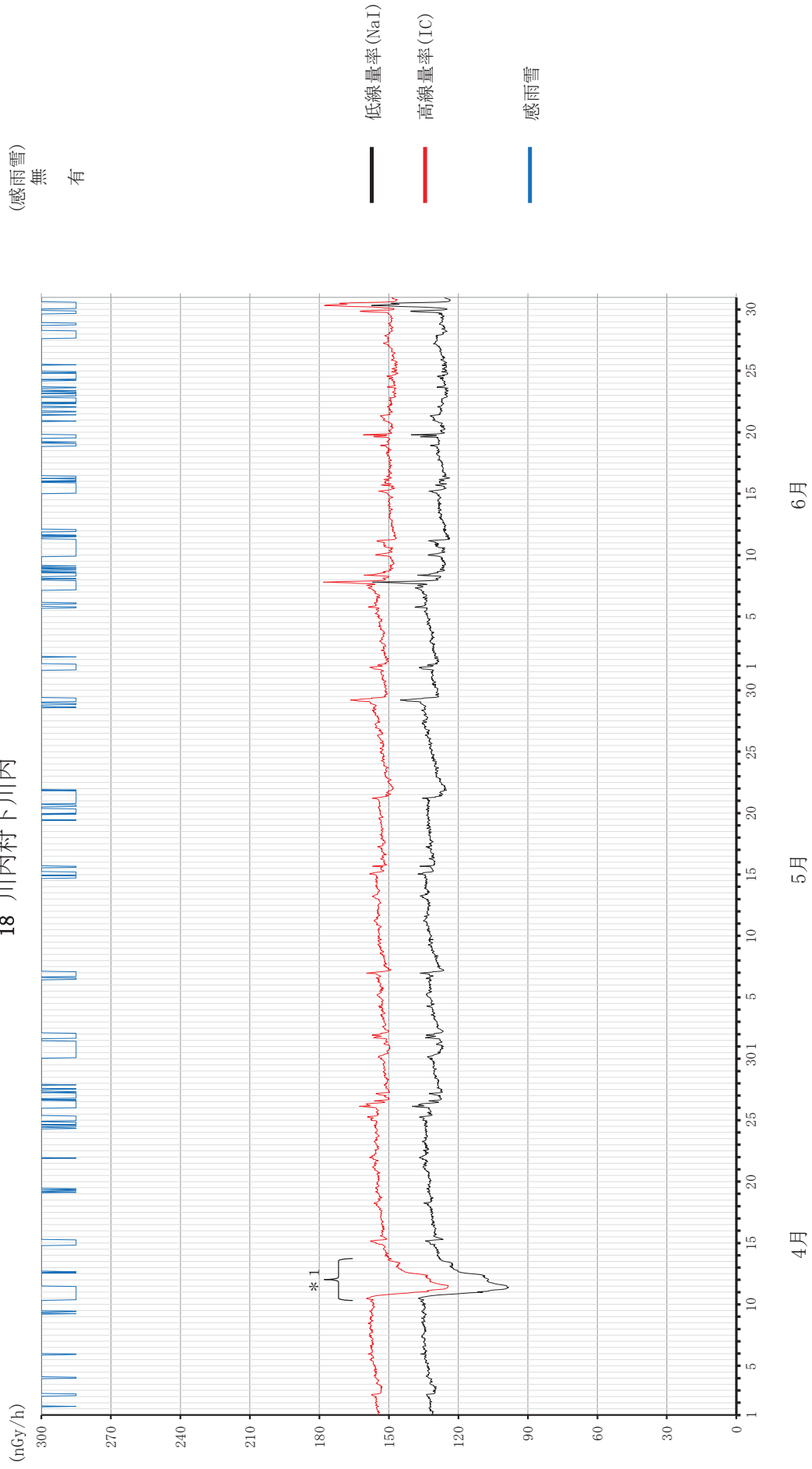
5月

4月

* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

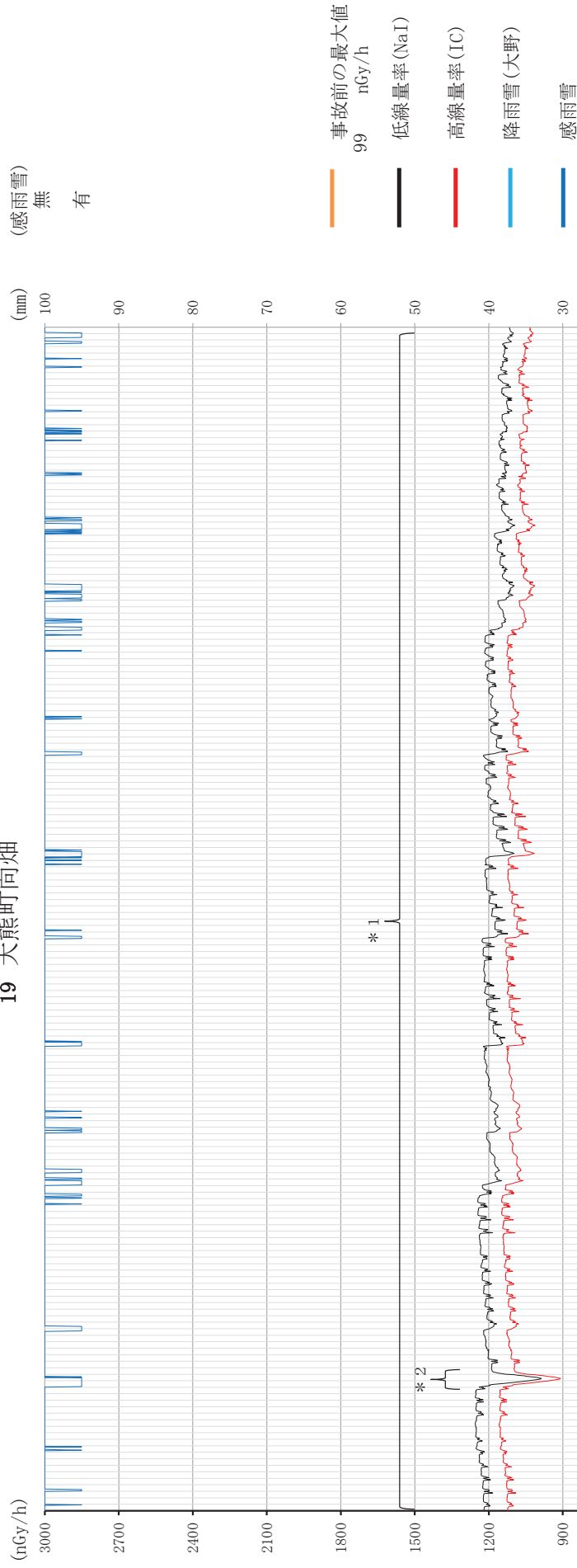
空間線量率の変動グラフ

18 川内村下川内



* 1 4月10~13日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
19 大熊町向畑



4月

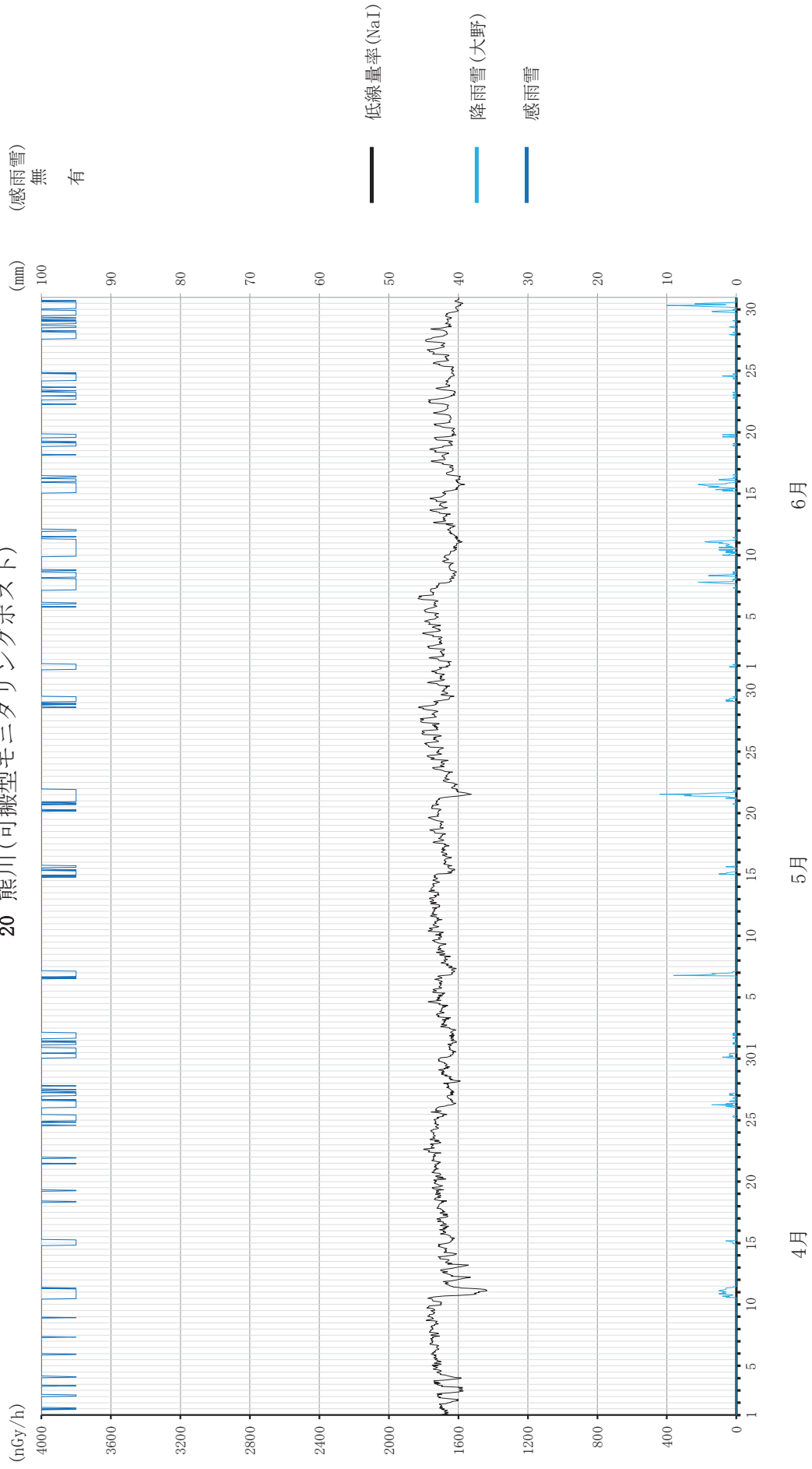
5月

6月

* 1 入城ゲート通過渋滞に伴う停車車両の遮へい効果のため線量率低下

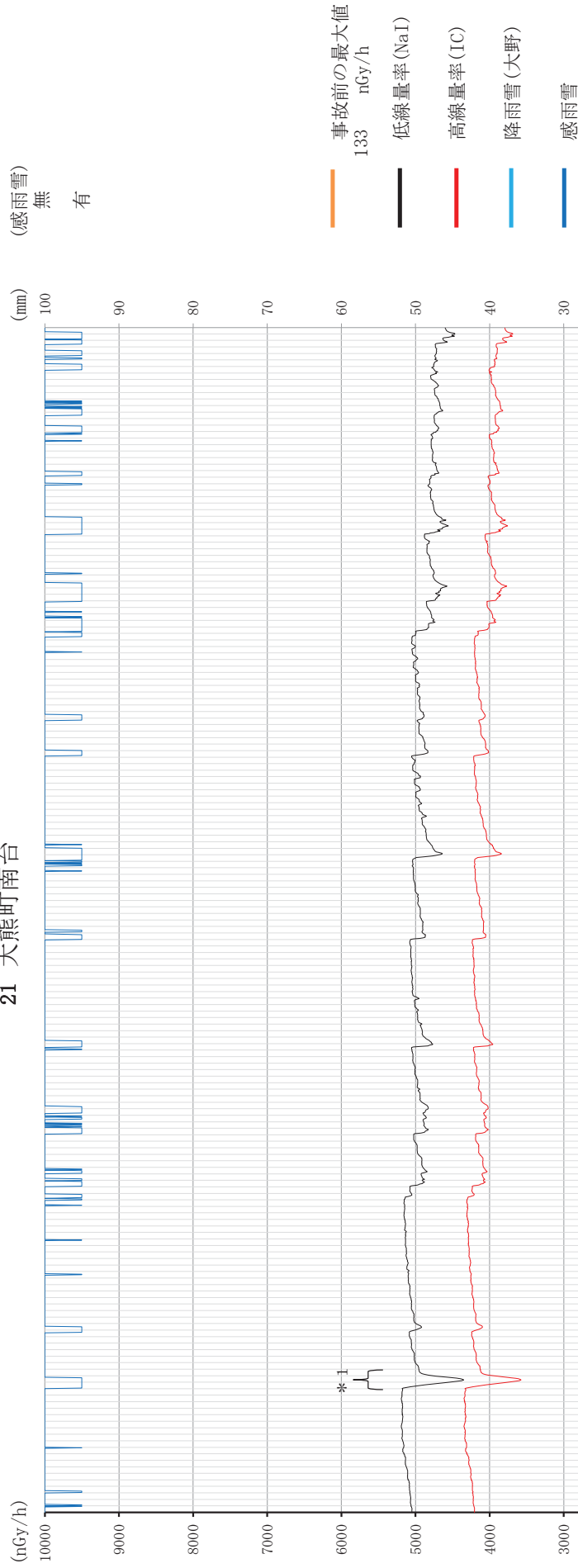
* 2 4月10～11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
20 熊川(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ

21 大熊町南台



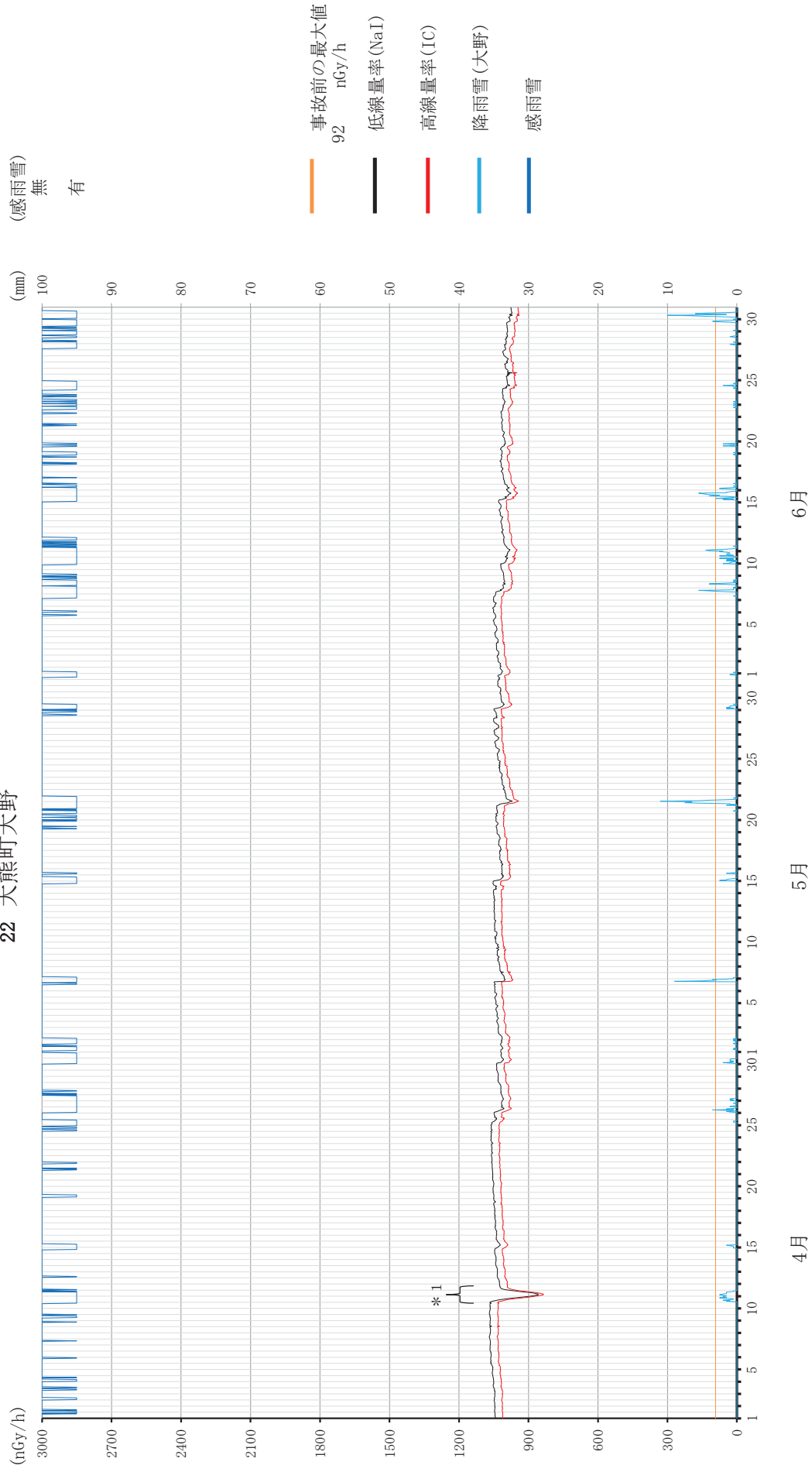
6月

5月

4月

*1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

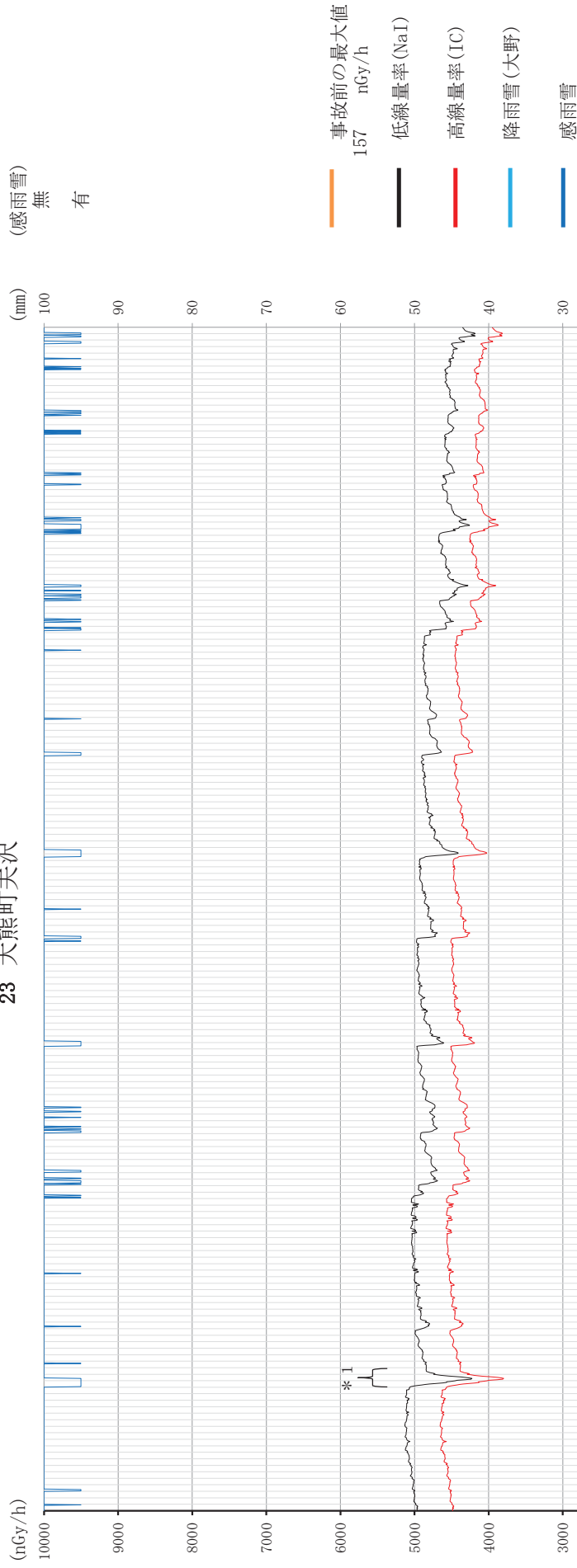
空間線量率の変動グラフ
22 大熊町大野



* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

23 大熊町夫沢



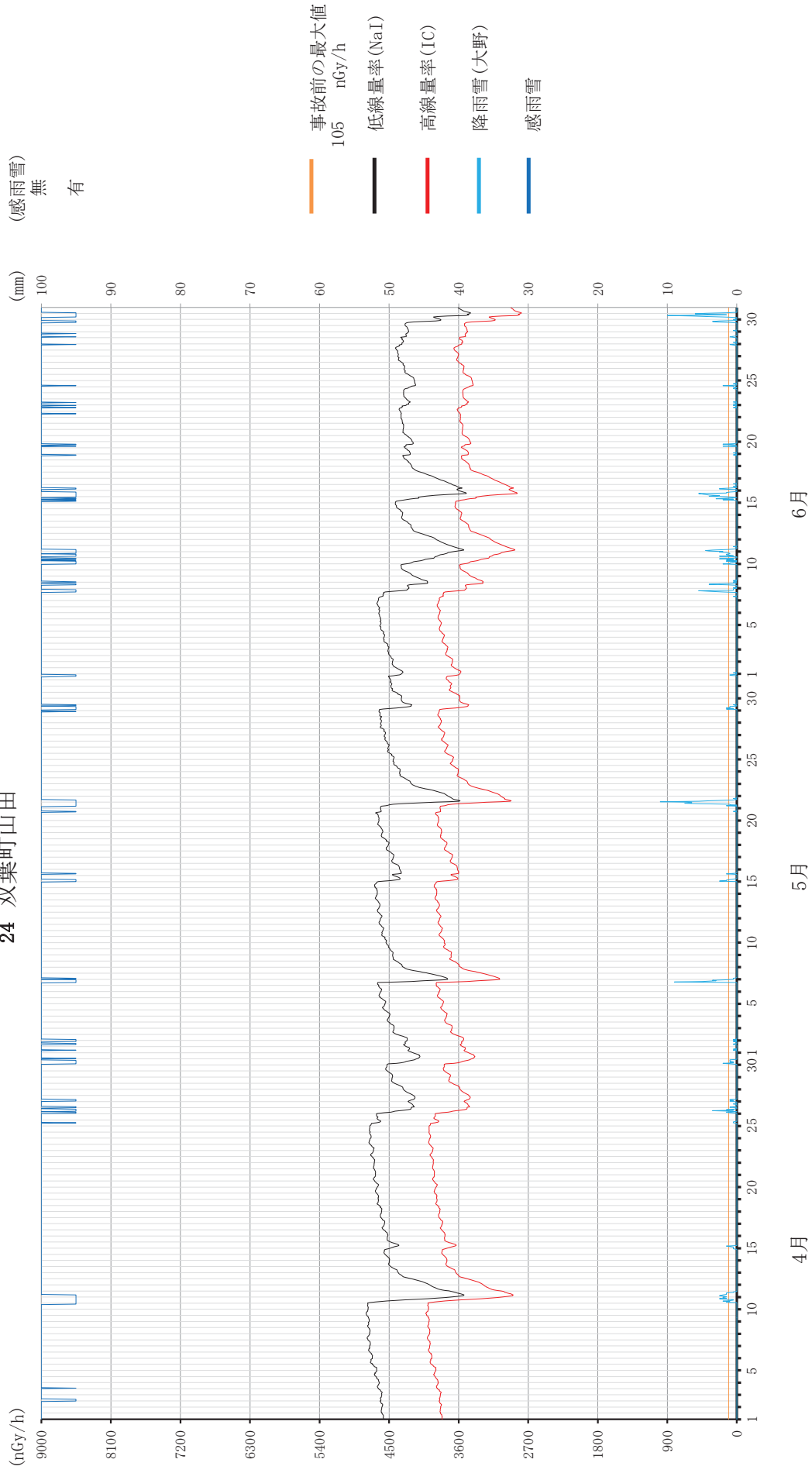
4月

5月

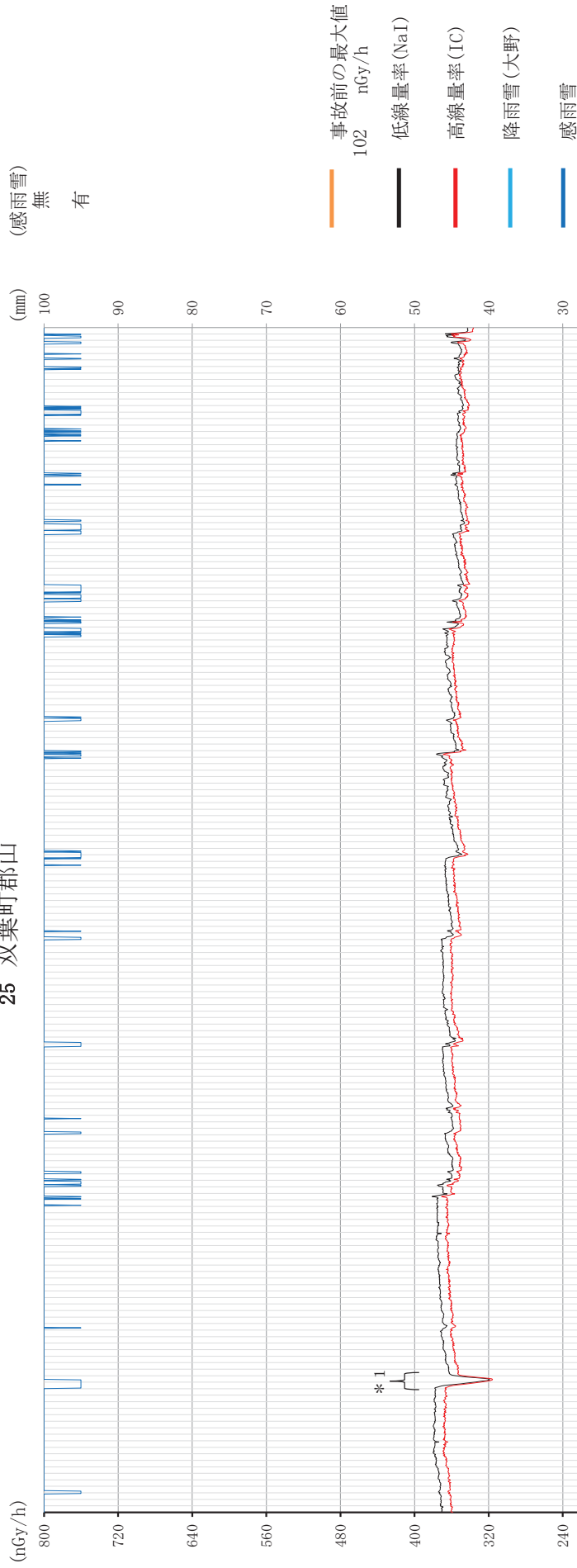
6月

*1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ 24 双葉町山田



空間線量率の変動グラフ
25 双葉町郡山



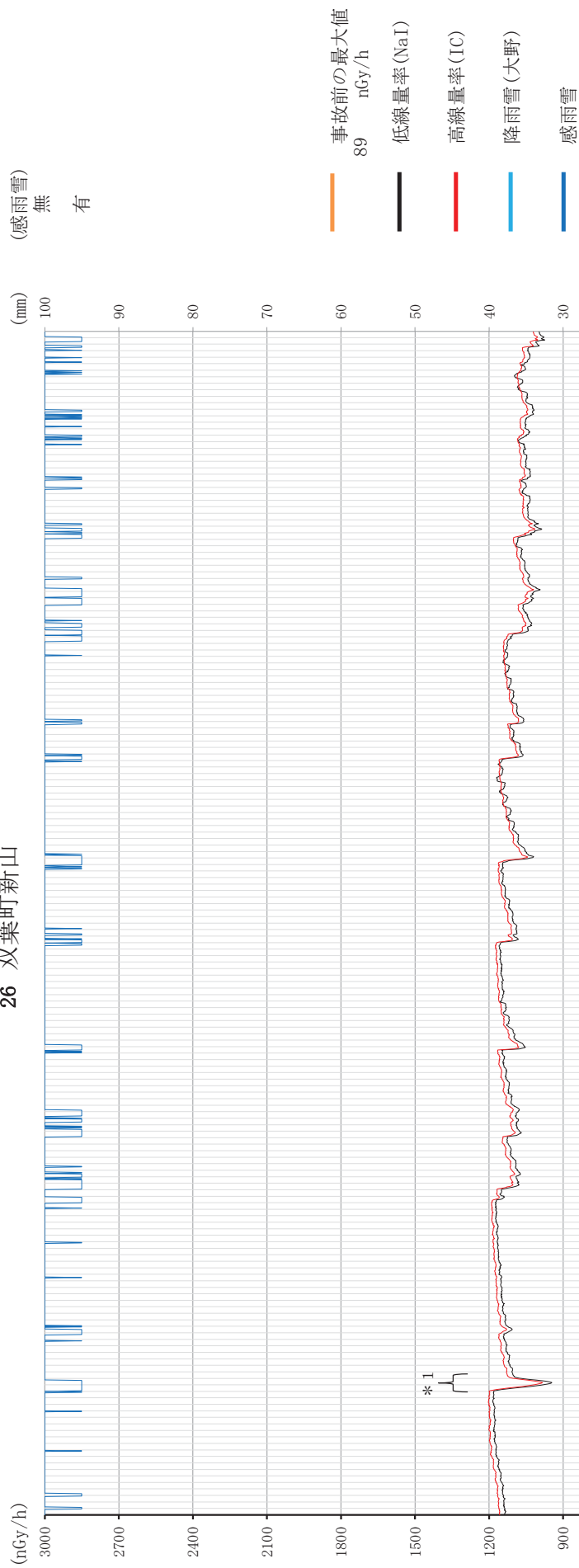
6月

5月

4月

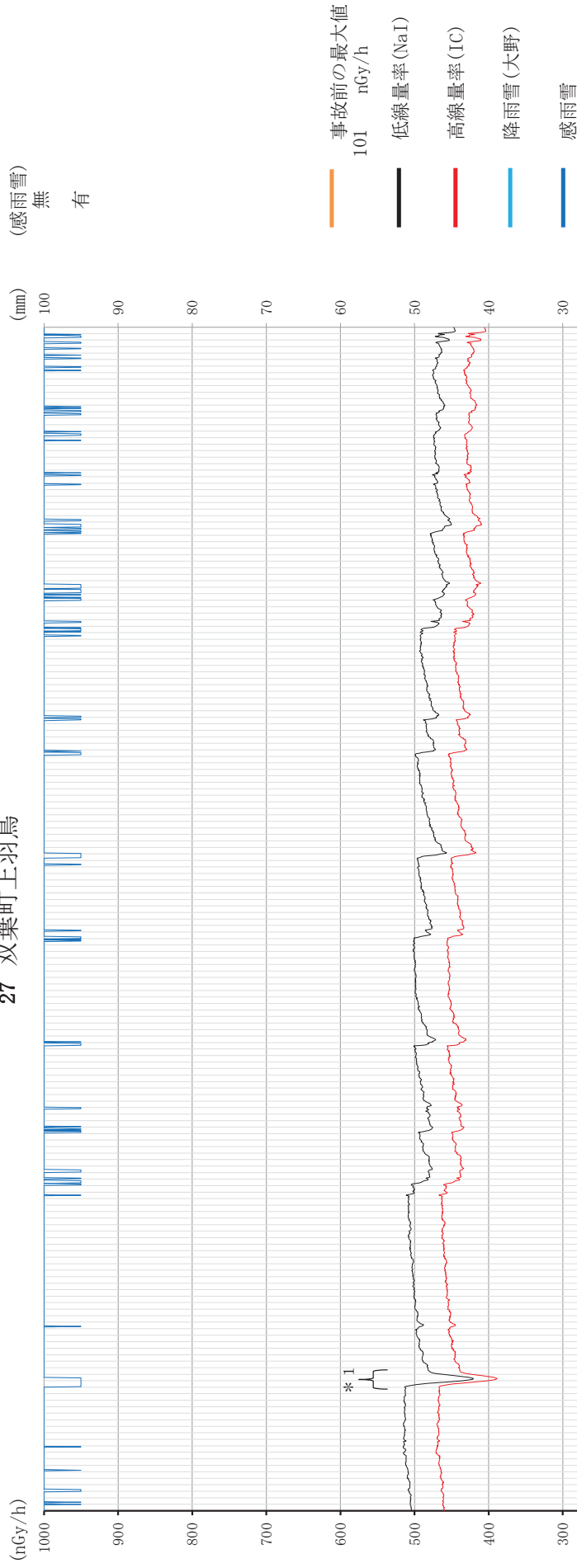
*1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
26 双葉町新山



* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
27 双葉町上羽鳥



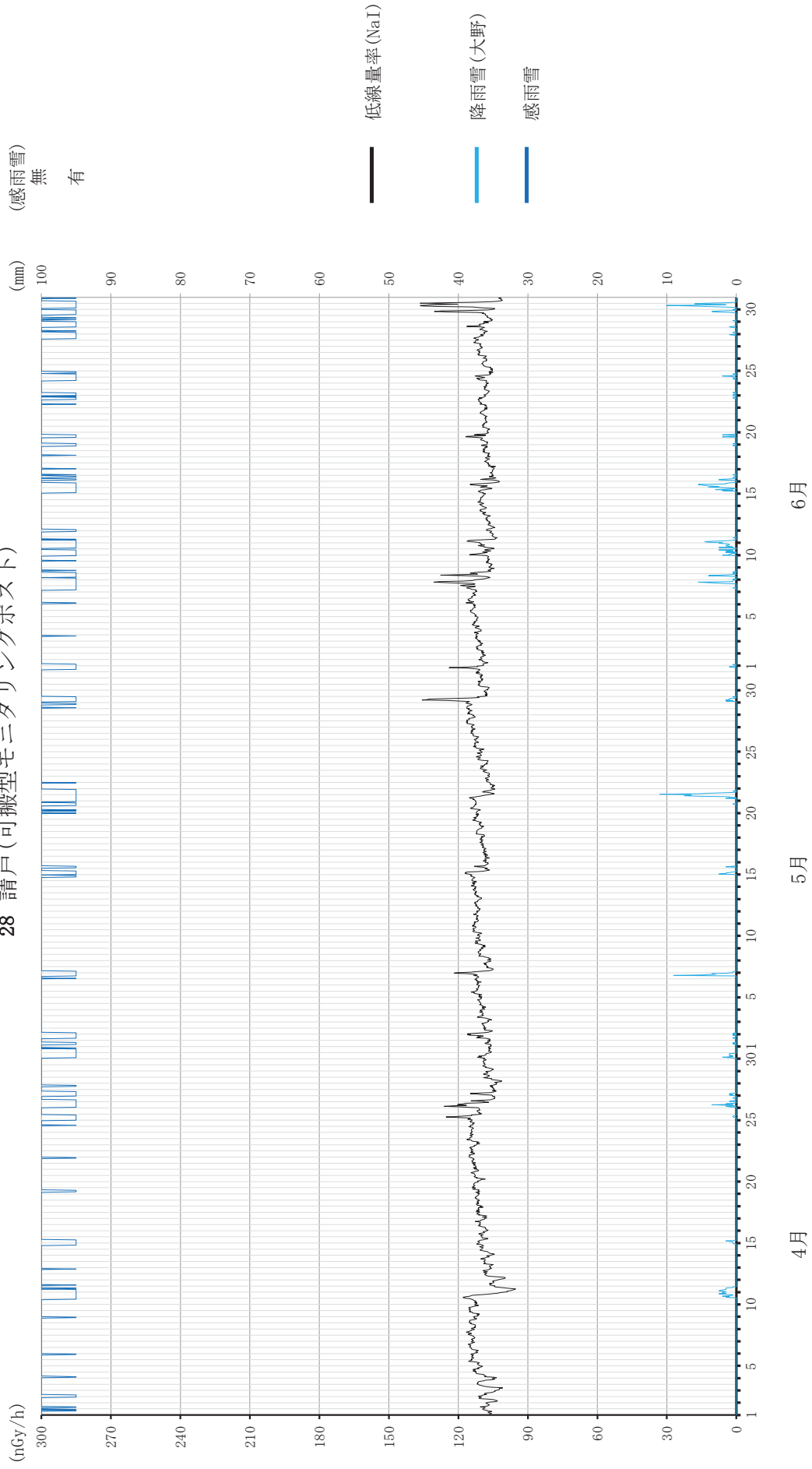
4月

5月

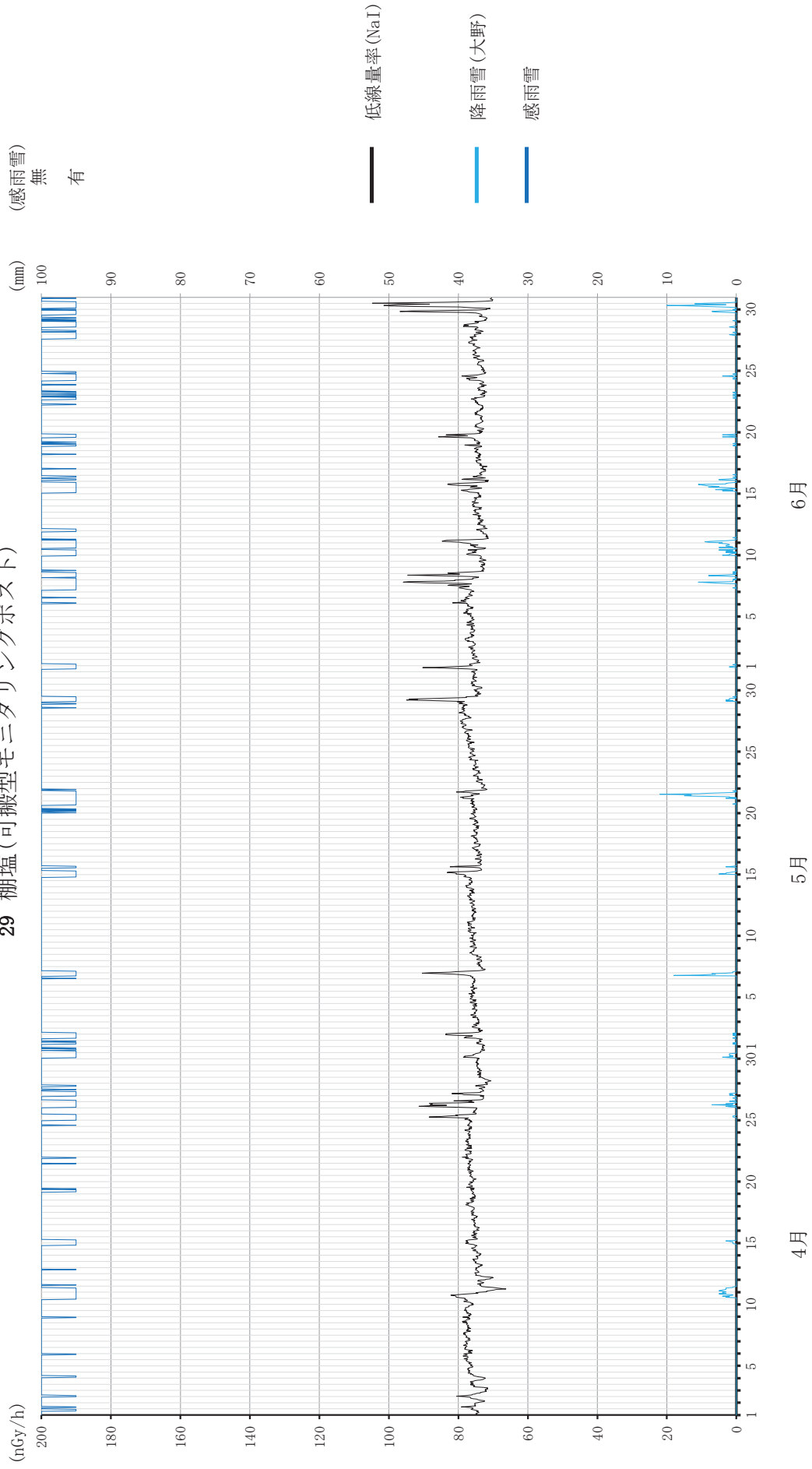
6月

* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

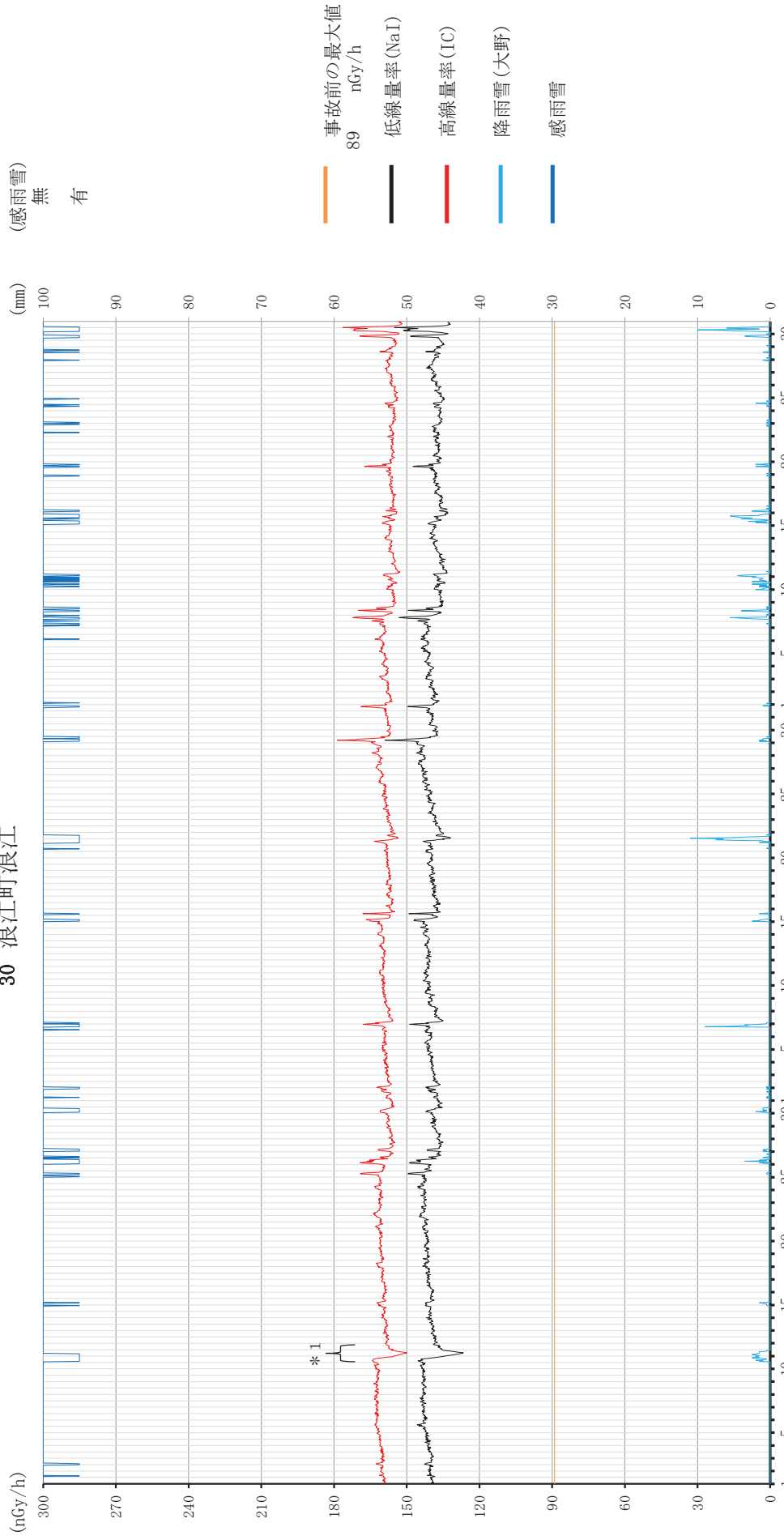
空間線量率の変動グラフ 28 請戸(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ 29 棚塩(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ
30 浪江町浪江



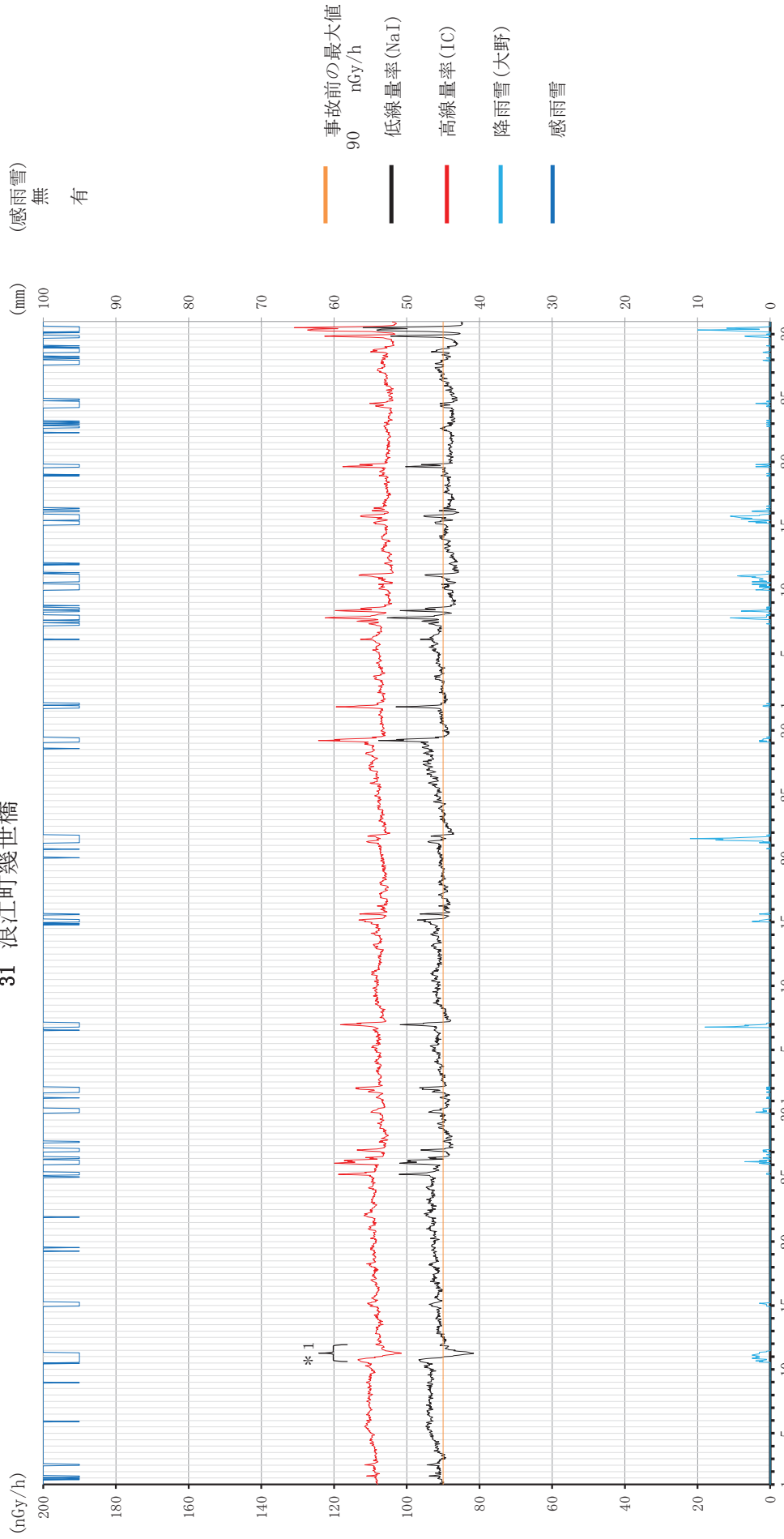
6月

5月

4月

* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
31 浪江町幾世橋



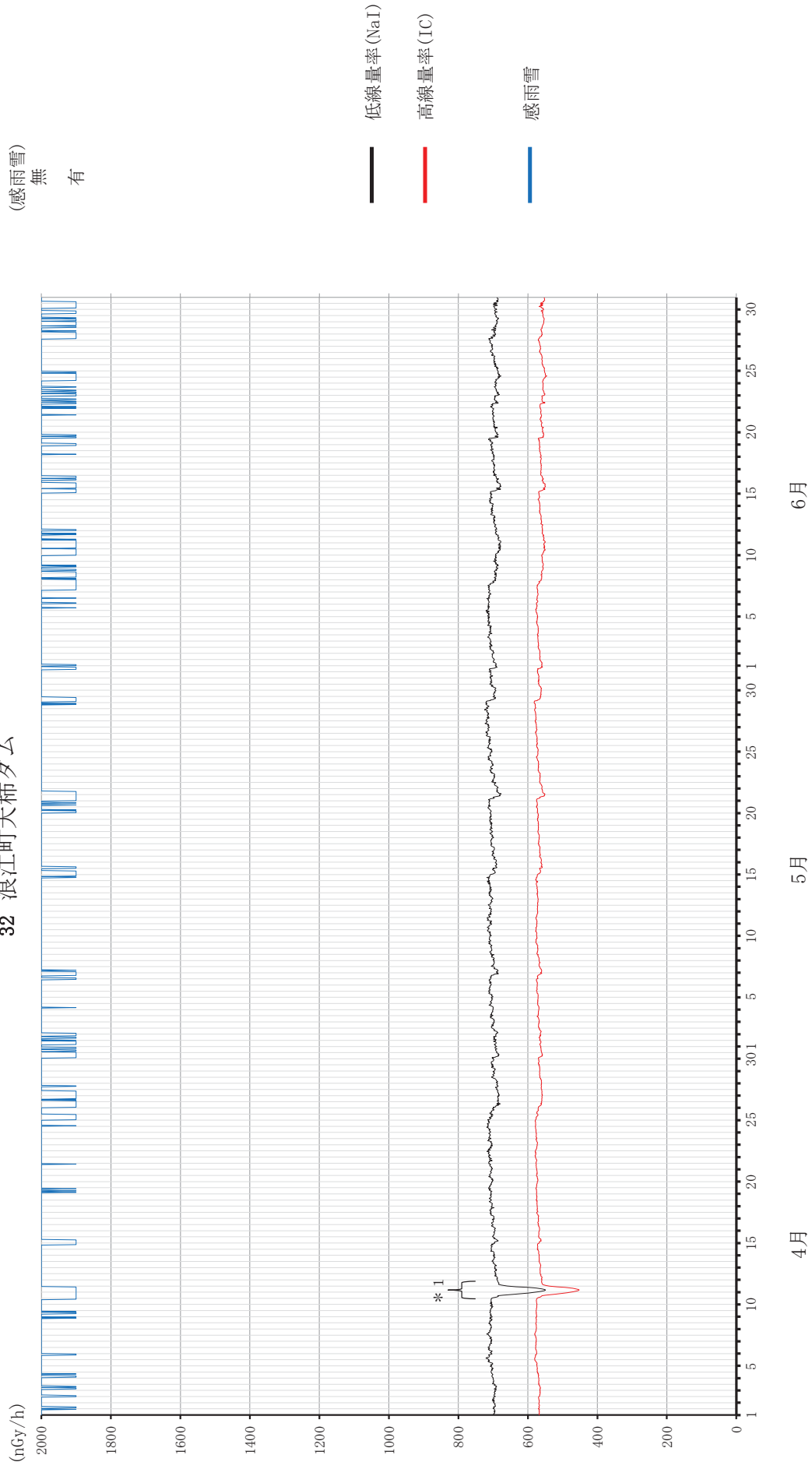
6月

5月

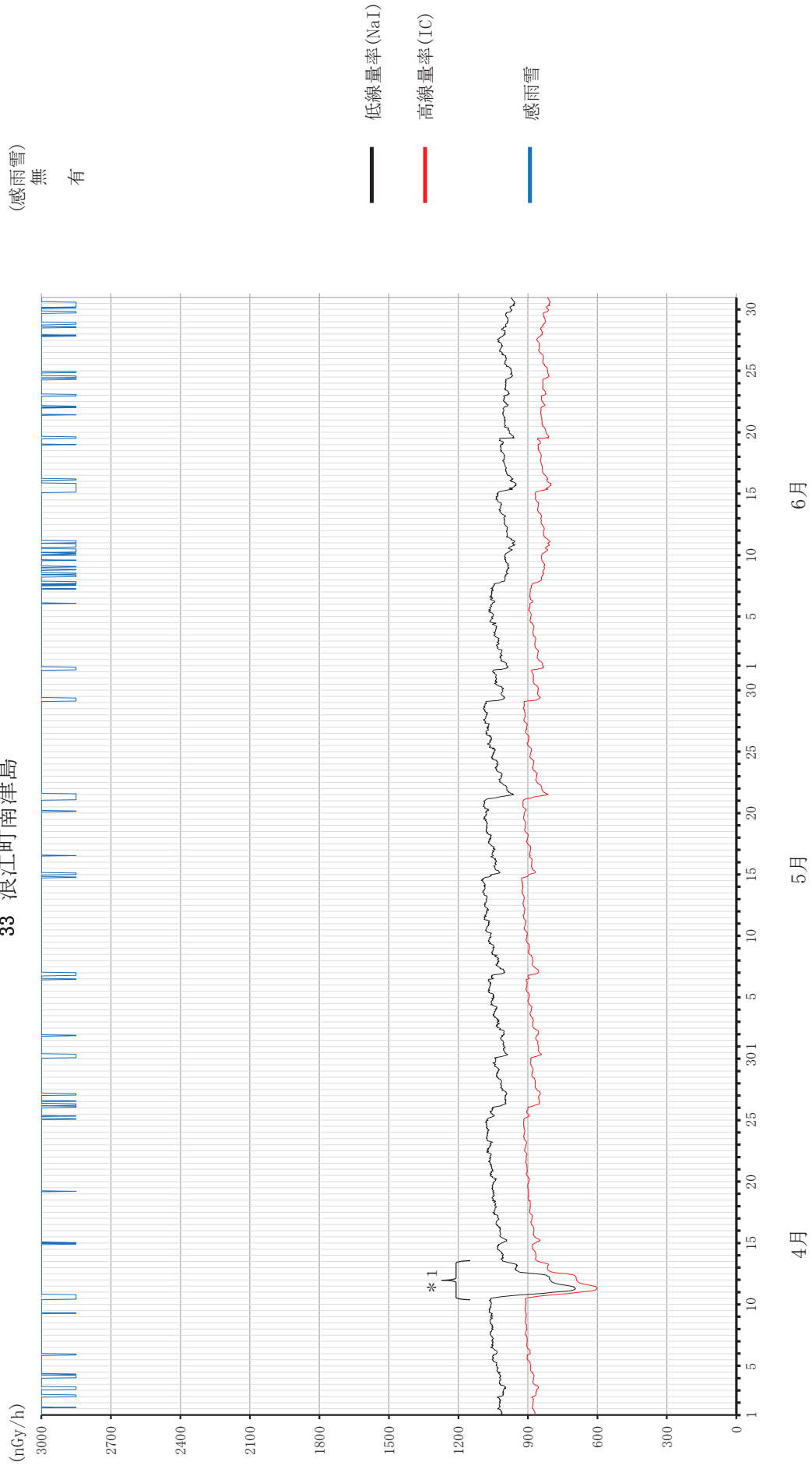
4月

* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ 32 浪江町大柿ダム

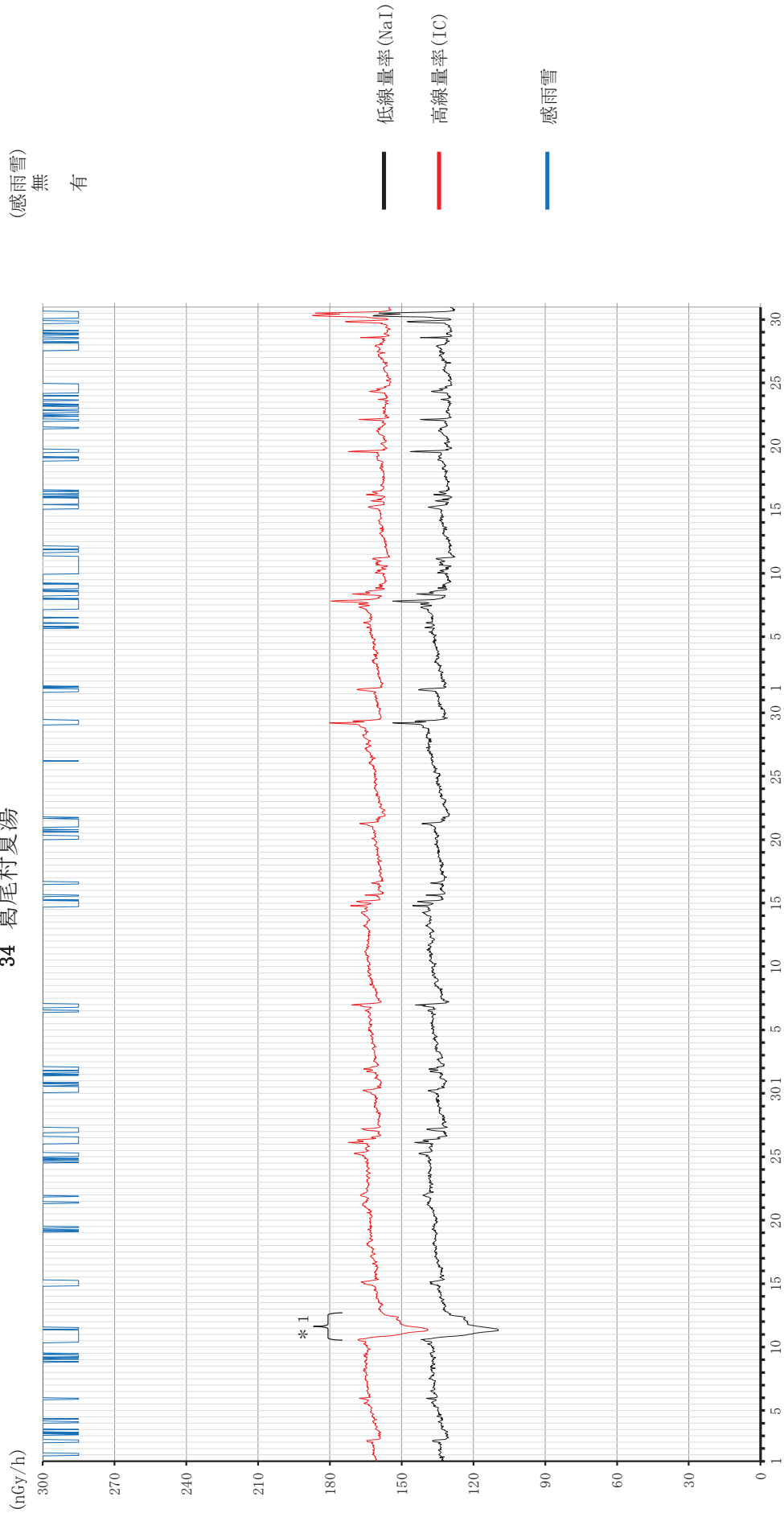


空間線量率の変動グラフ 33 浪江町南津島



空間線量率の変動グラフ

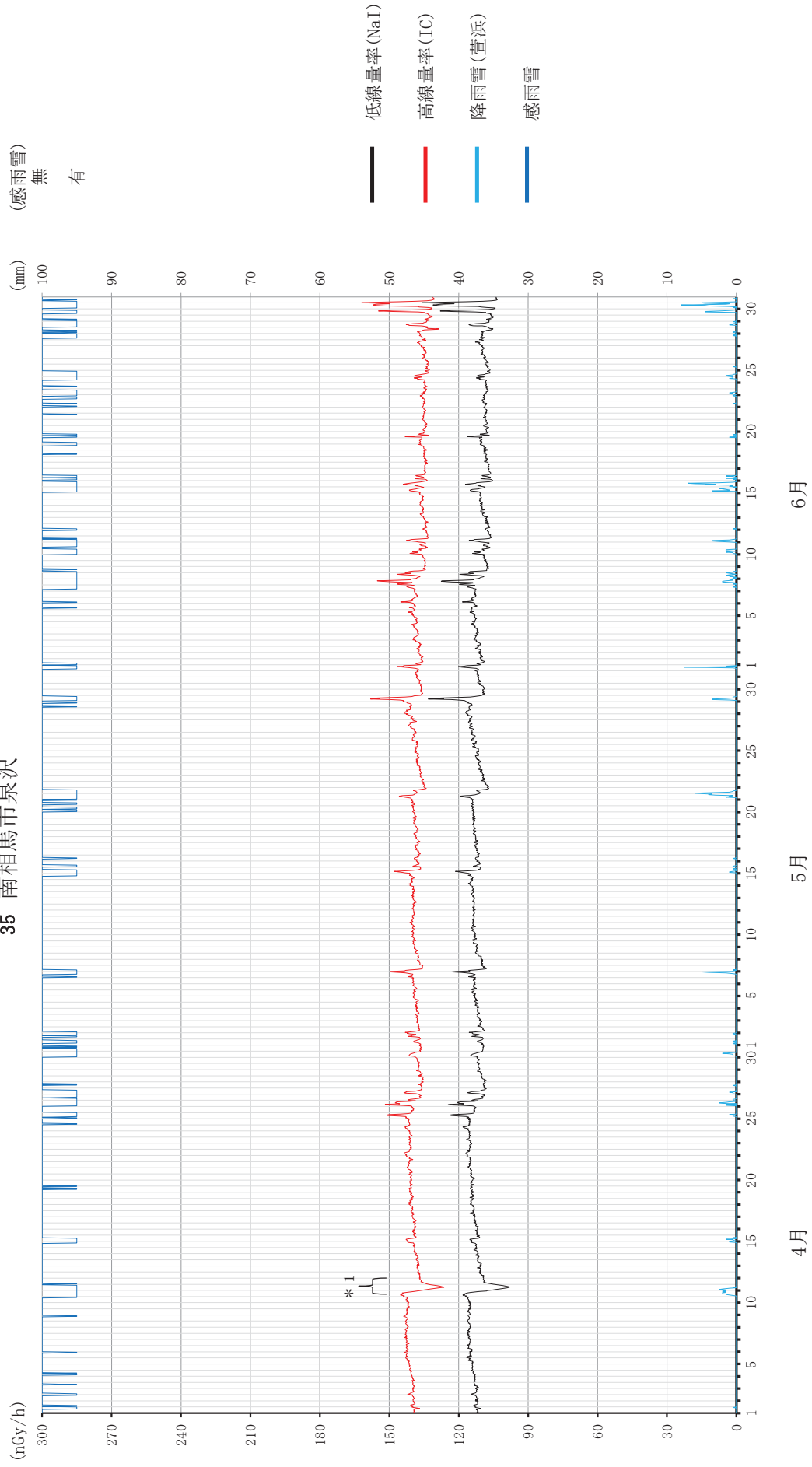
34 葛尾村夏湯



* 1 4月10~12日は積雪のため線量率低下

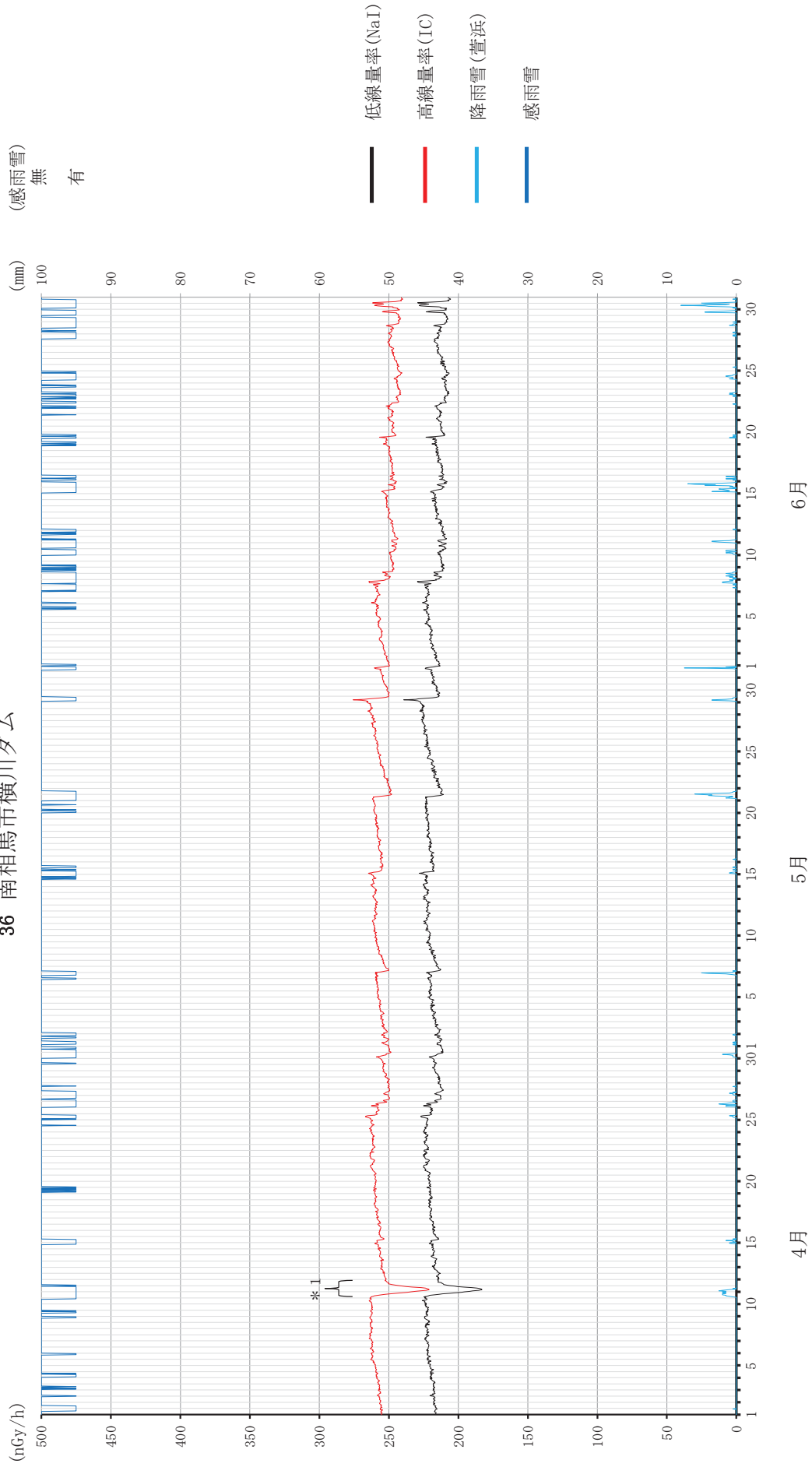
空間線量率の変動グラフ

35 南相馬市泉沢



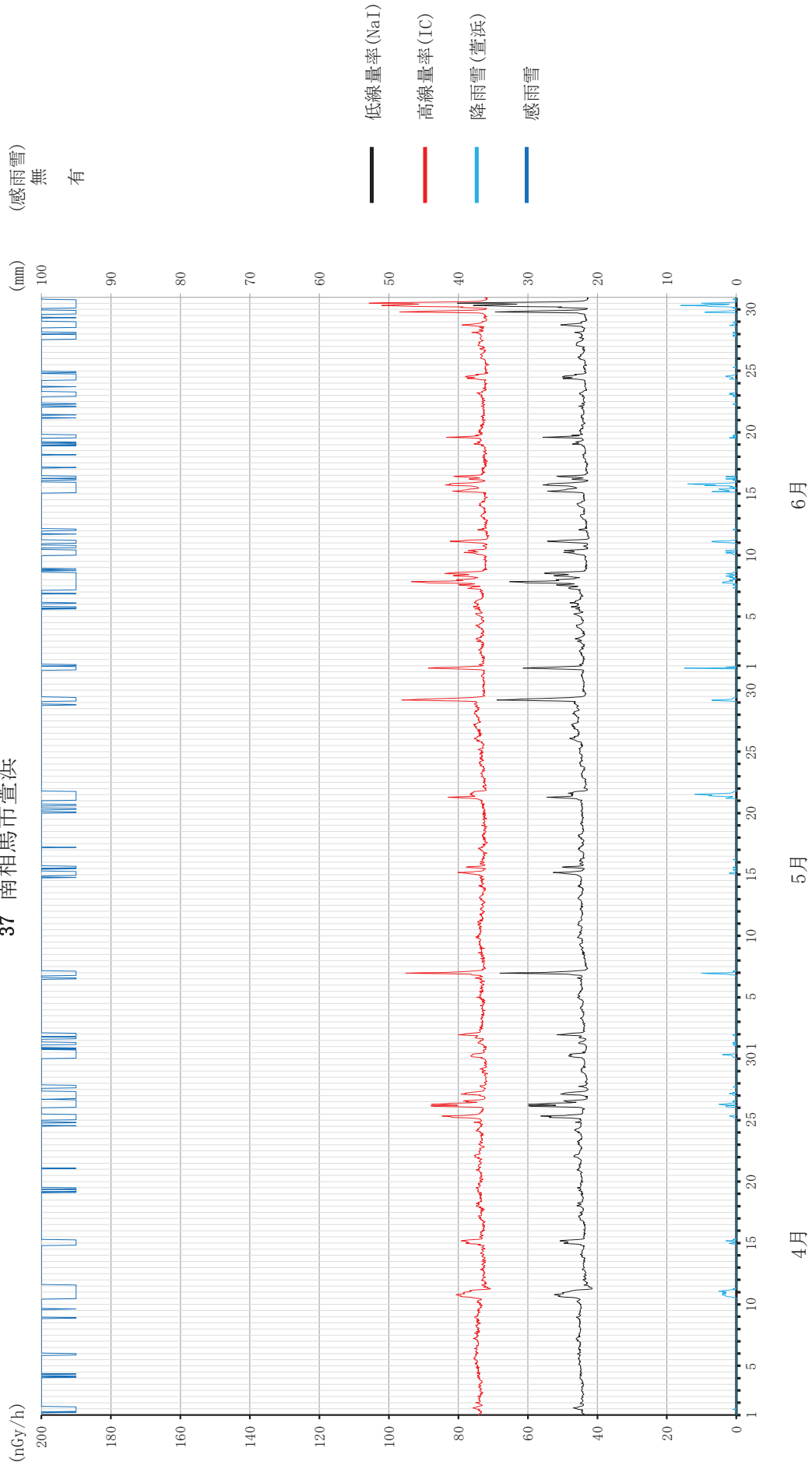
* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
36 南相馬市横川ダム



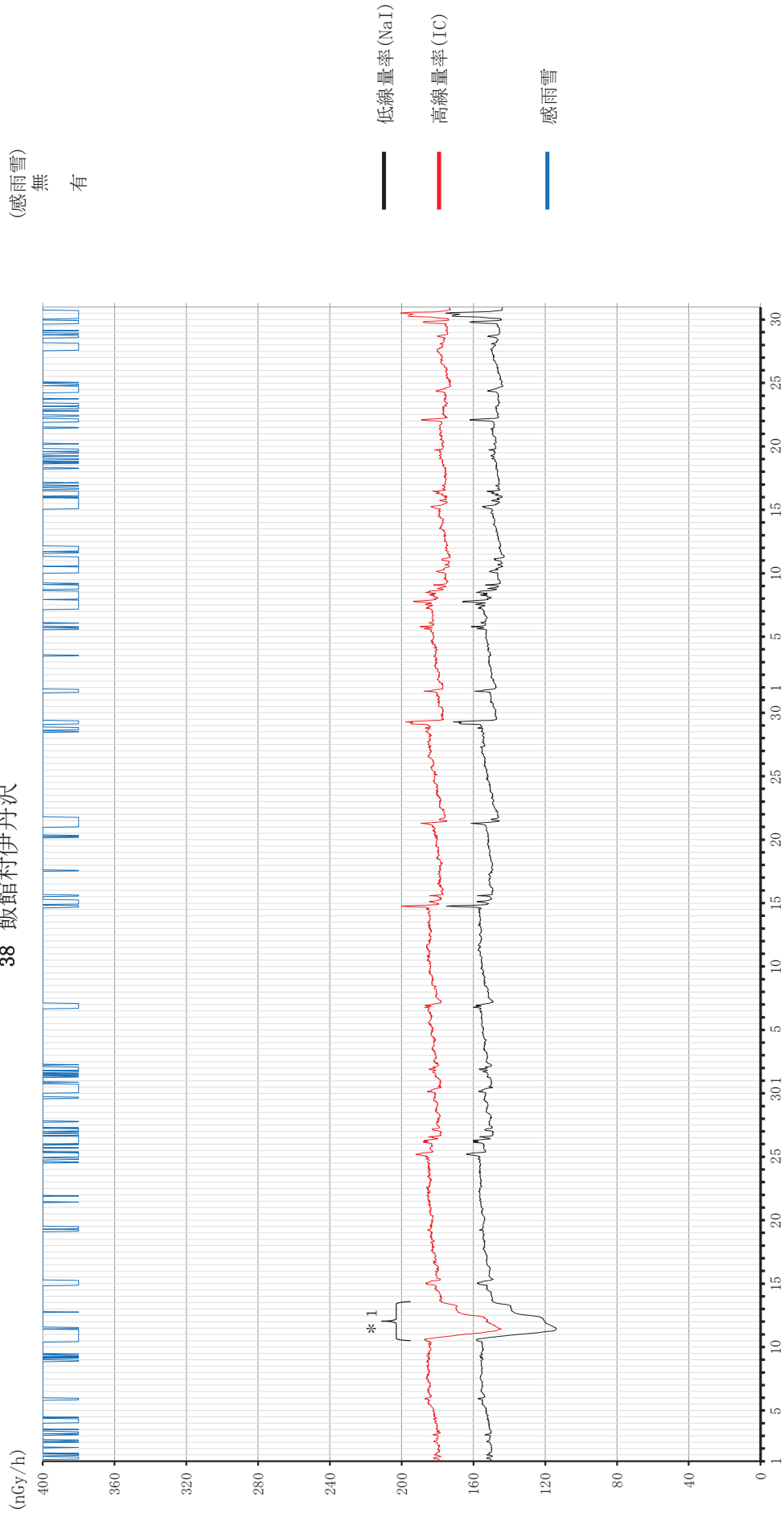
* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ 37 南相馬市萱浜



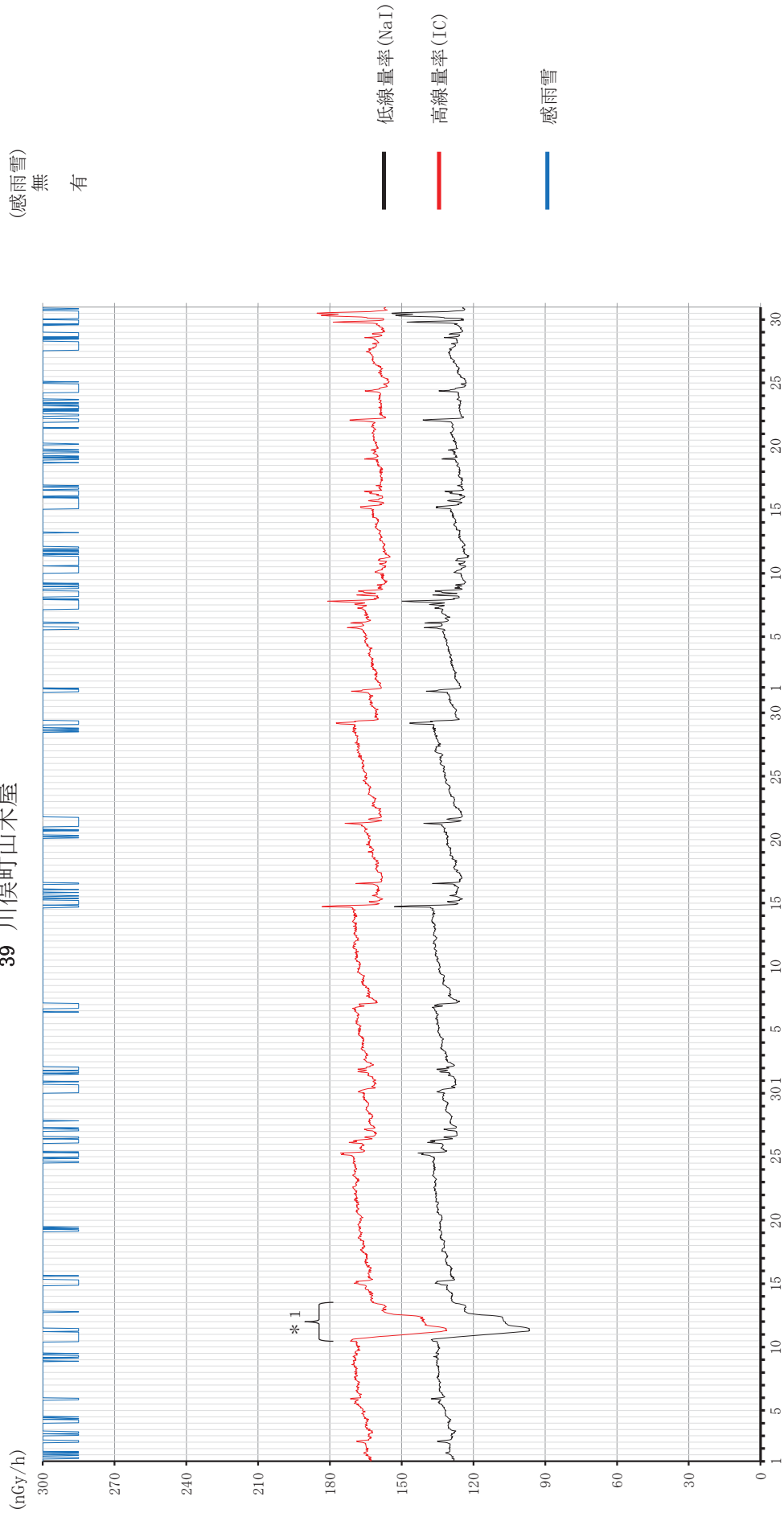
空間線量率の変動グラフ

38 飯館村伊丹沢



空間線量率の変動グラフ

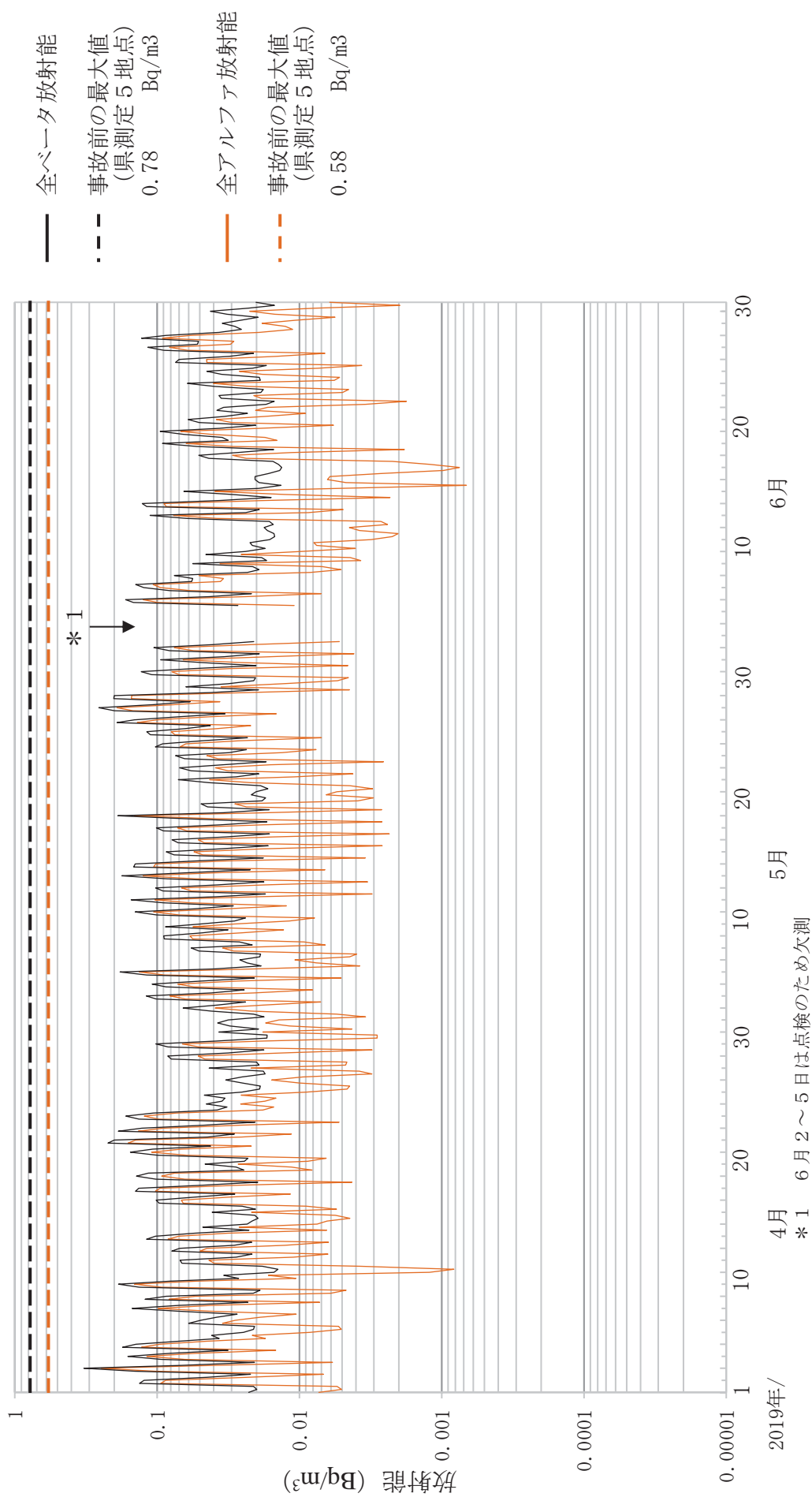
39 川俣町山木屋



* 1 4月10~13日は積雪のため線量率低下

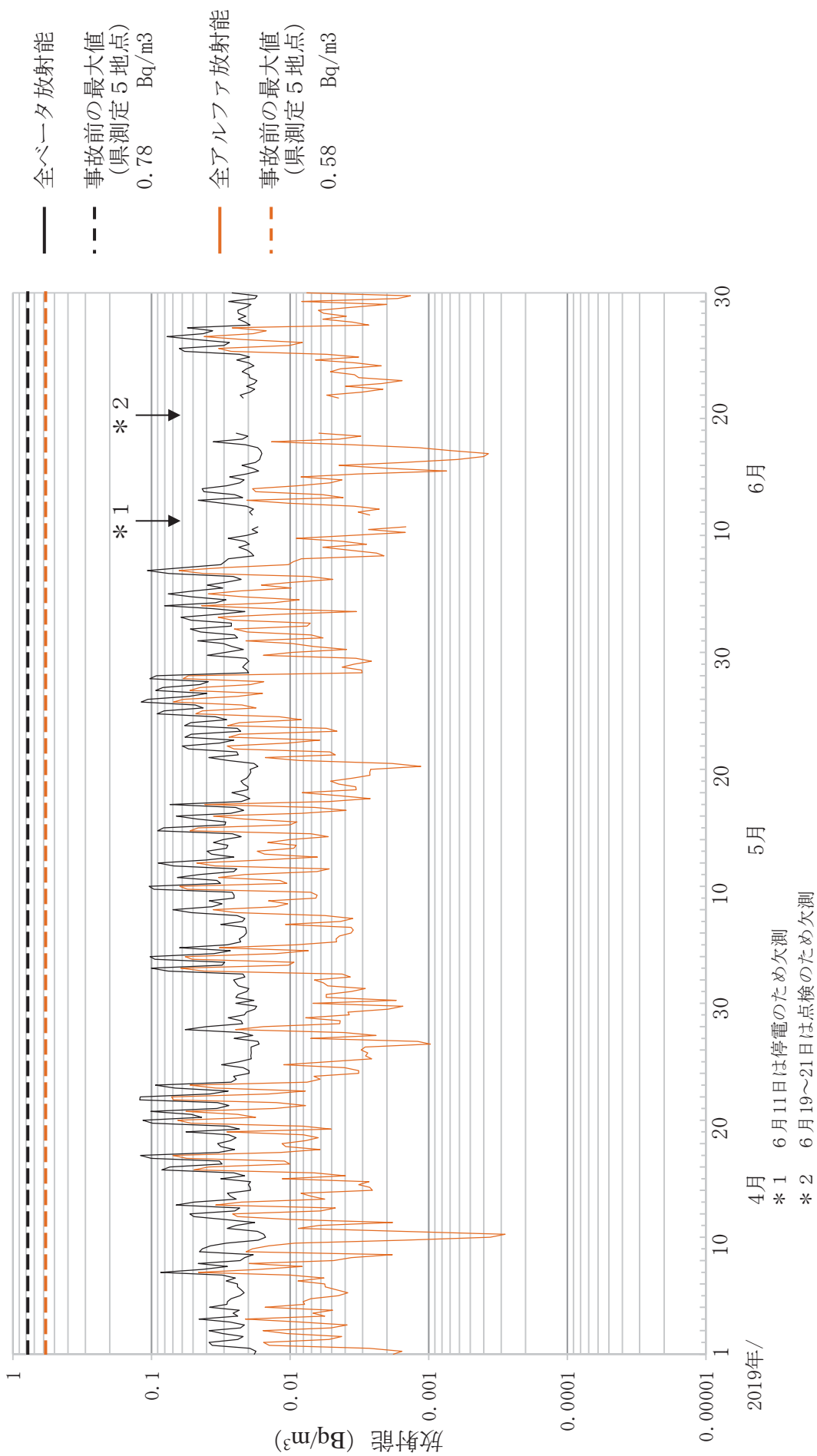
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

1 いわき市小川
(平成31年4月1日～6月30日)



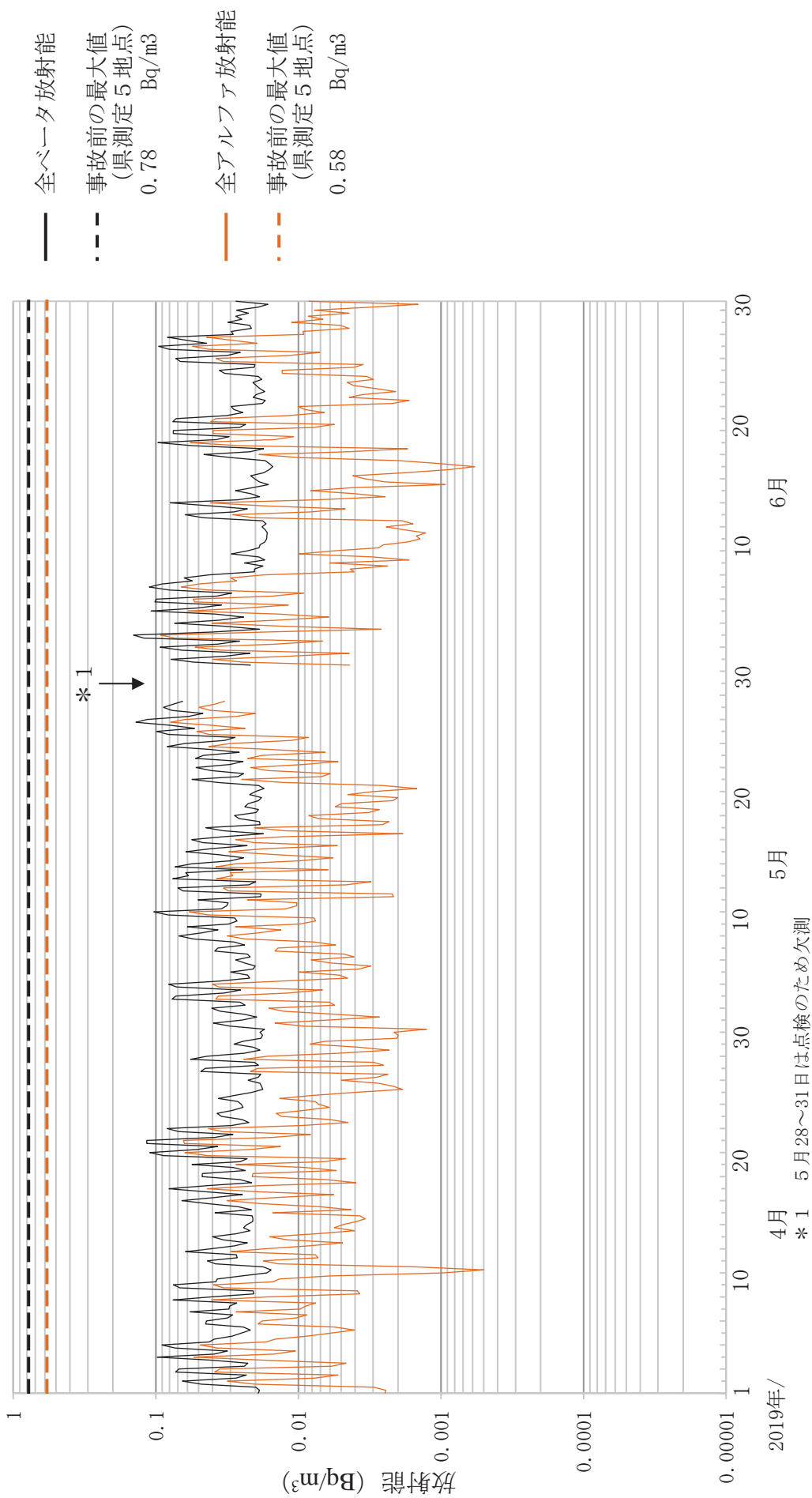
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

2 田村市都路馬洗戸
(平成31年4月1日～6月30日)



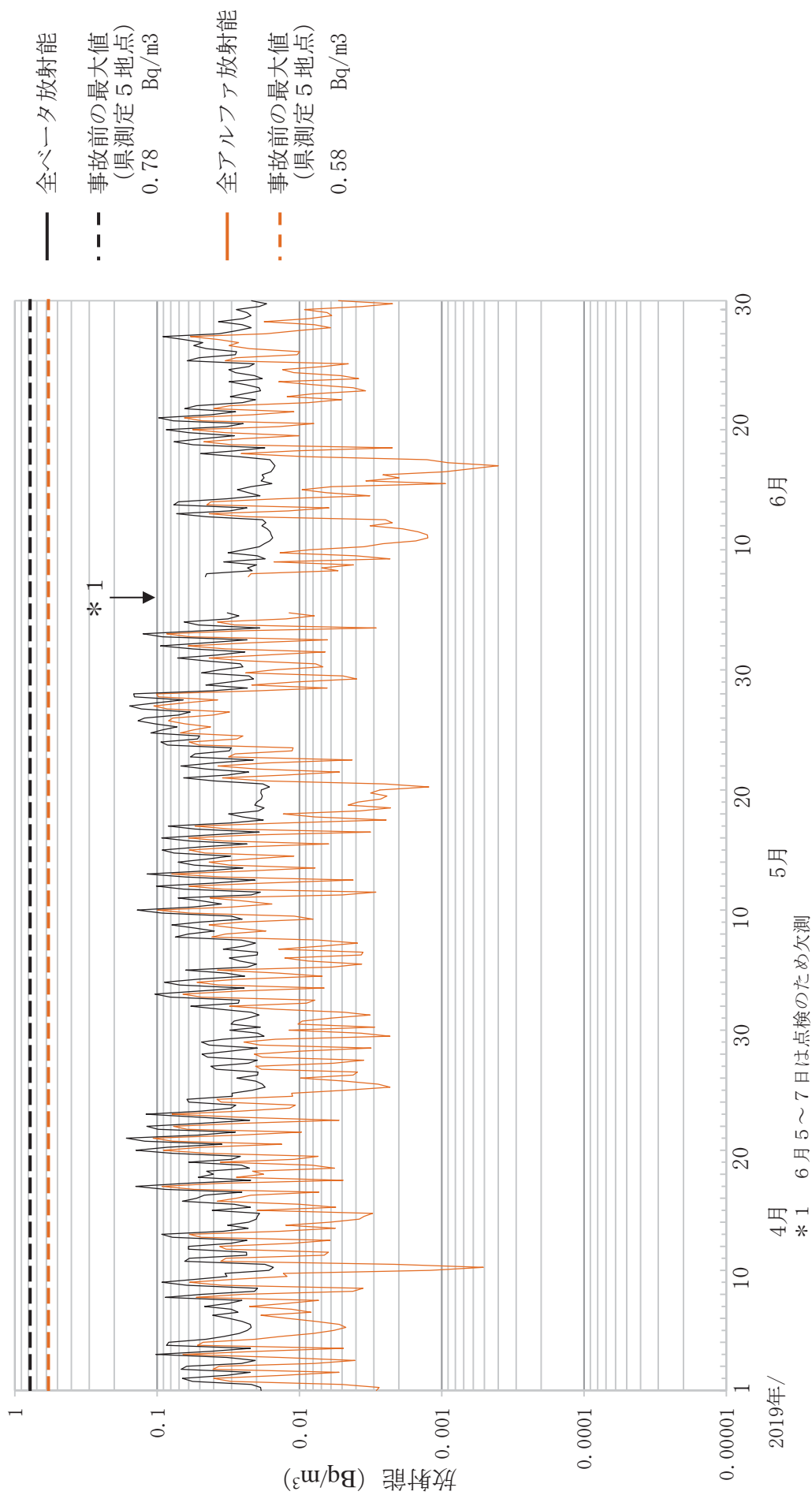
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

3 広野町小滝平
(平成31年4月1日～6月30日)



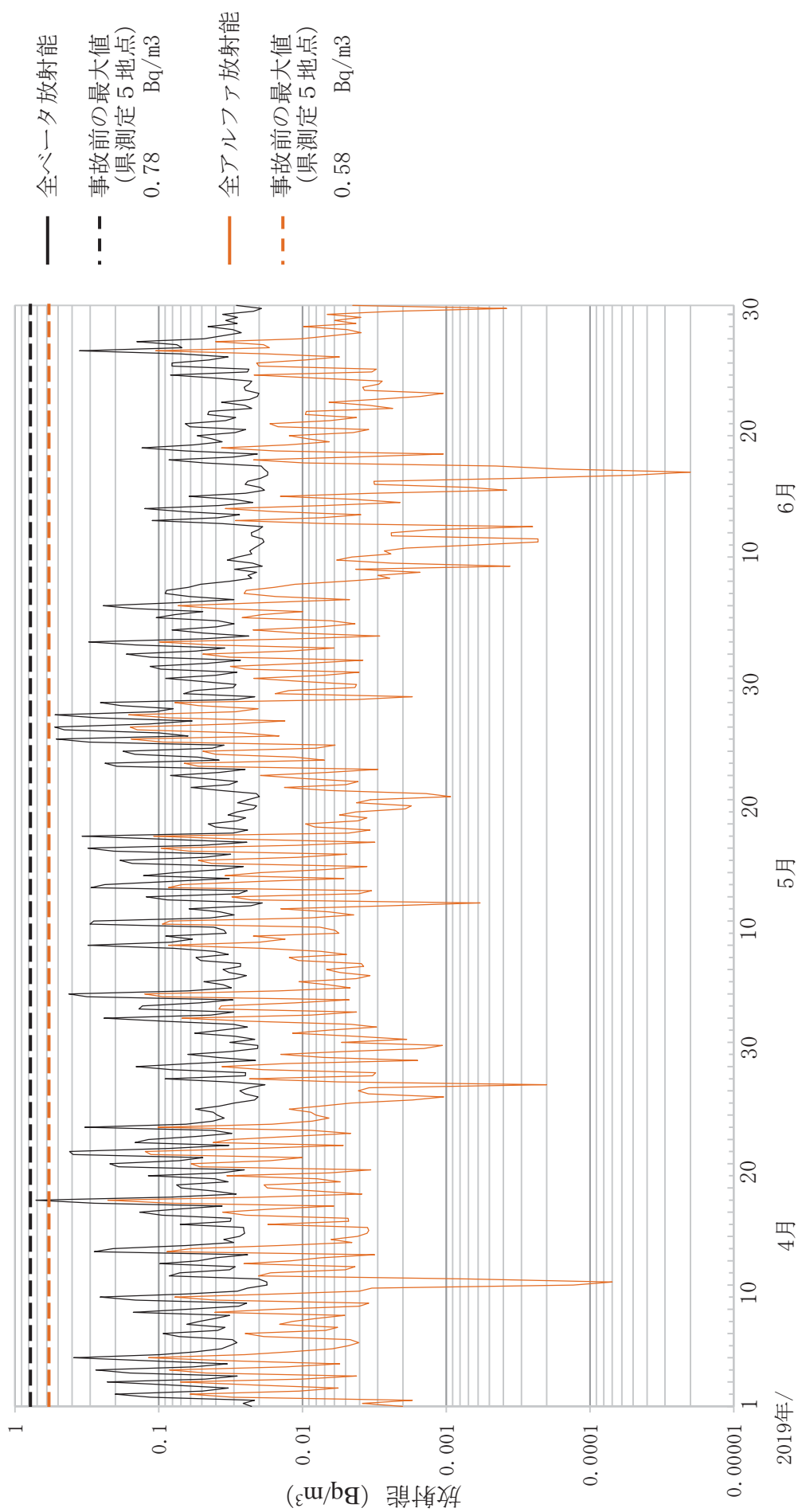
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

4 檜葉町木戸ダム
(平成31年4月1日～6月30日)



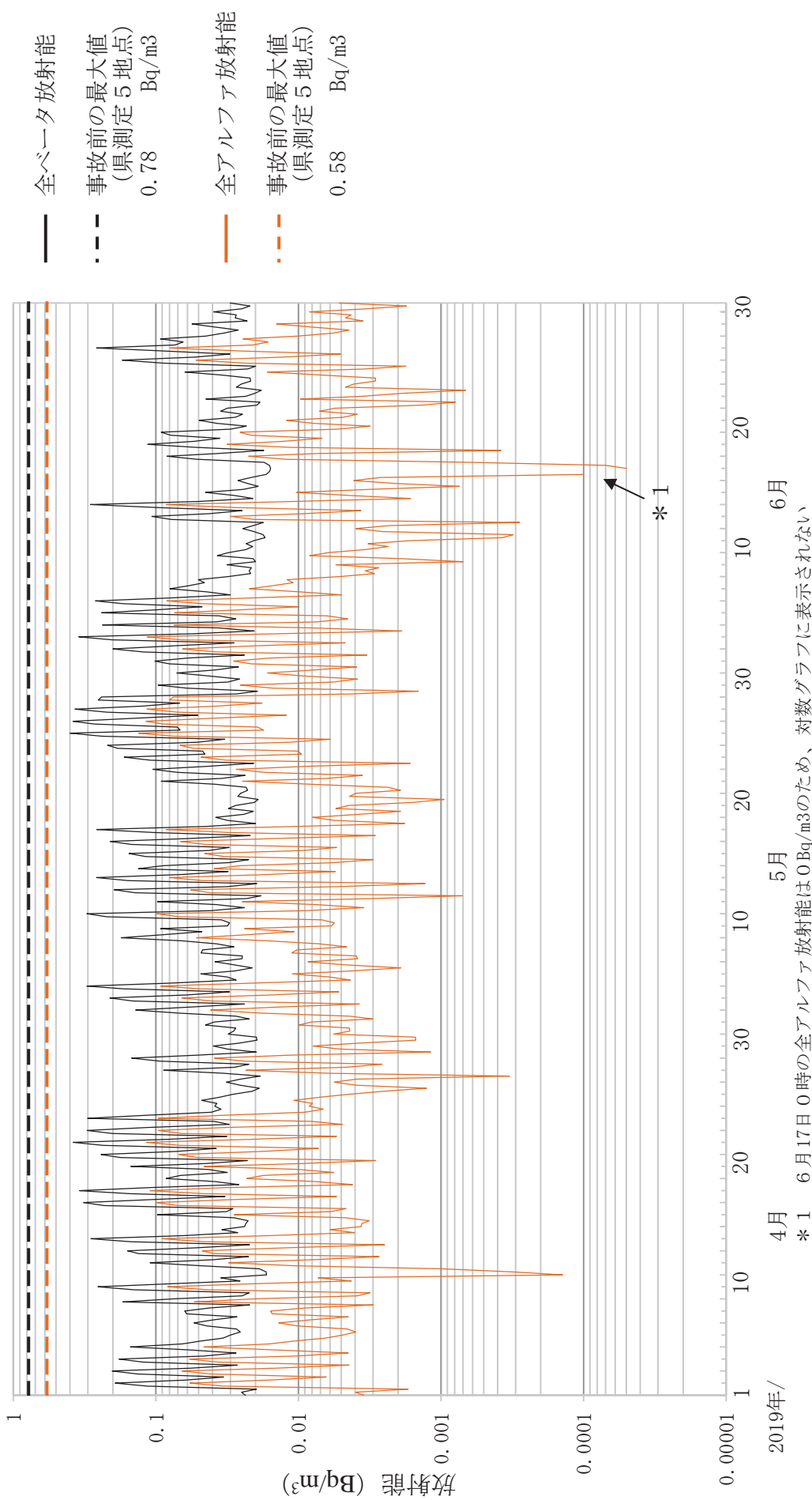
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

5 檜葉町繁岡
(平成31年4月1日～6月30日)



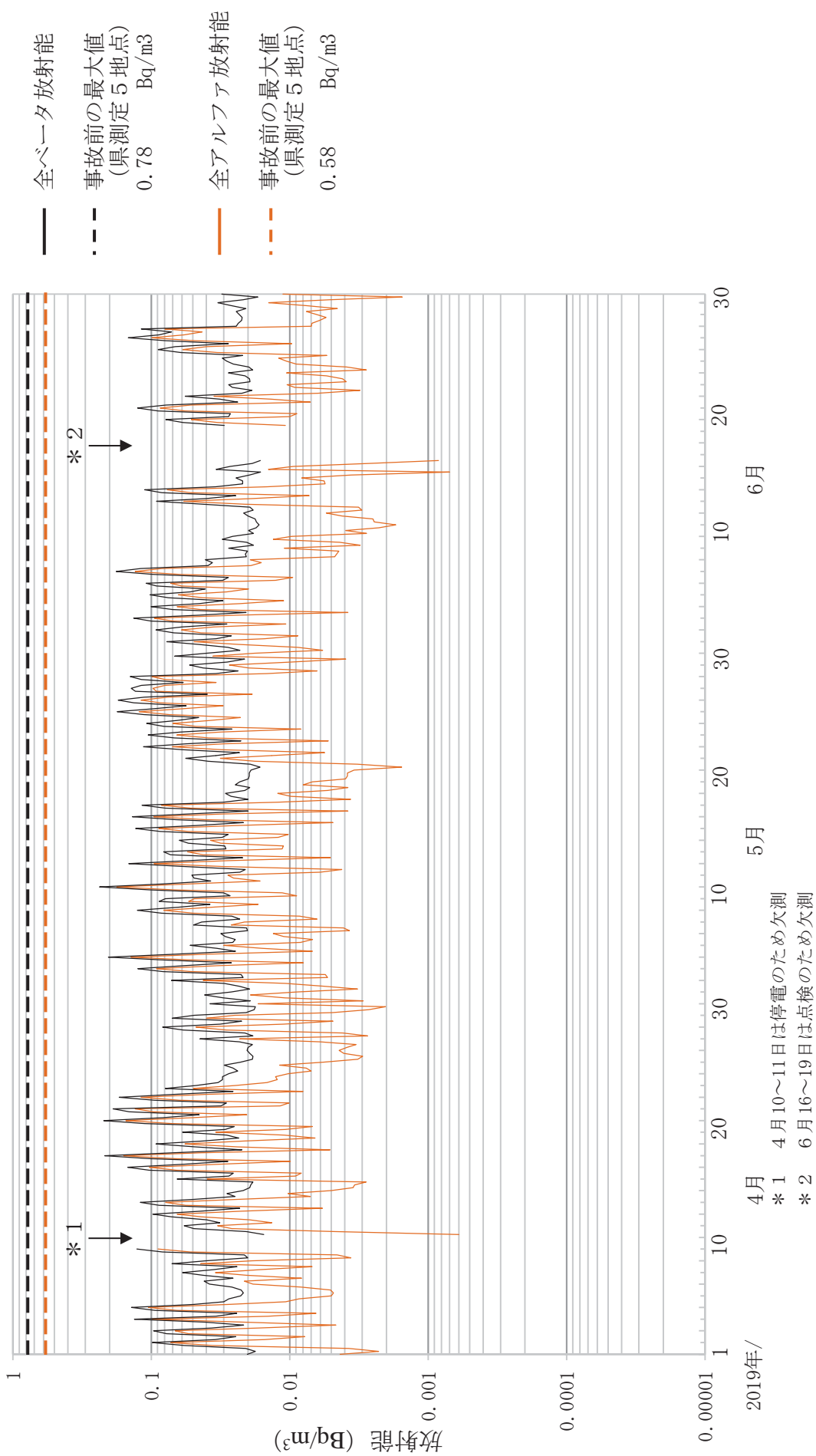
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

6 富岡町富岡
(平成31年4月1日～6月30日)



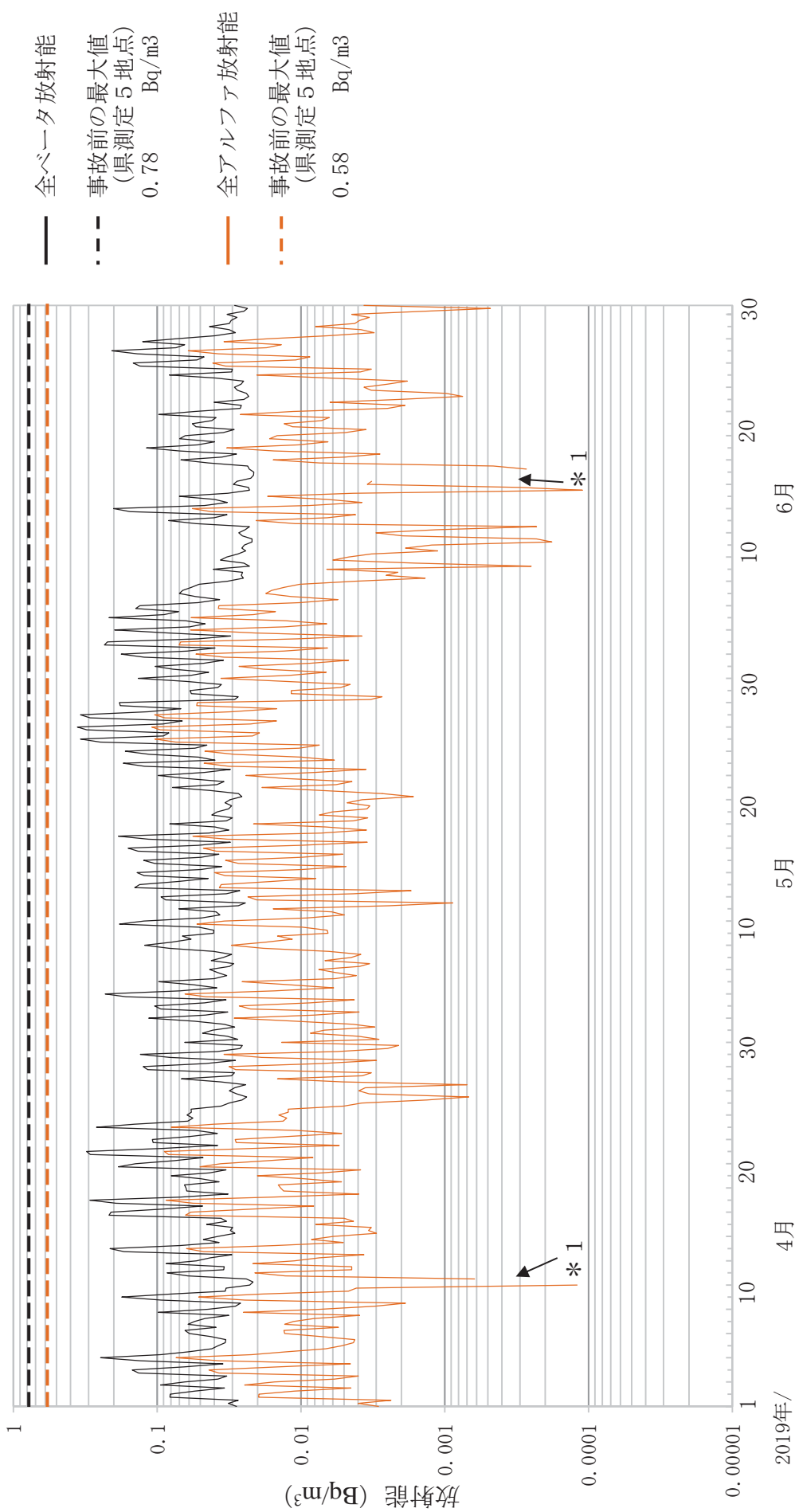
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

7 川内村下川内
(平成31年4月1日～6月30日)



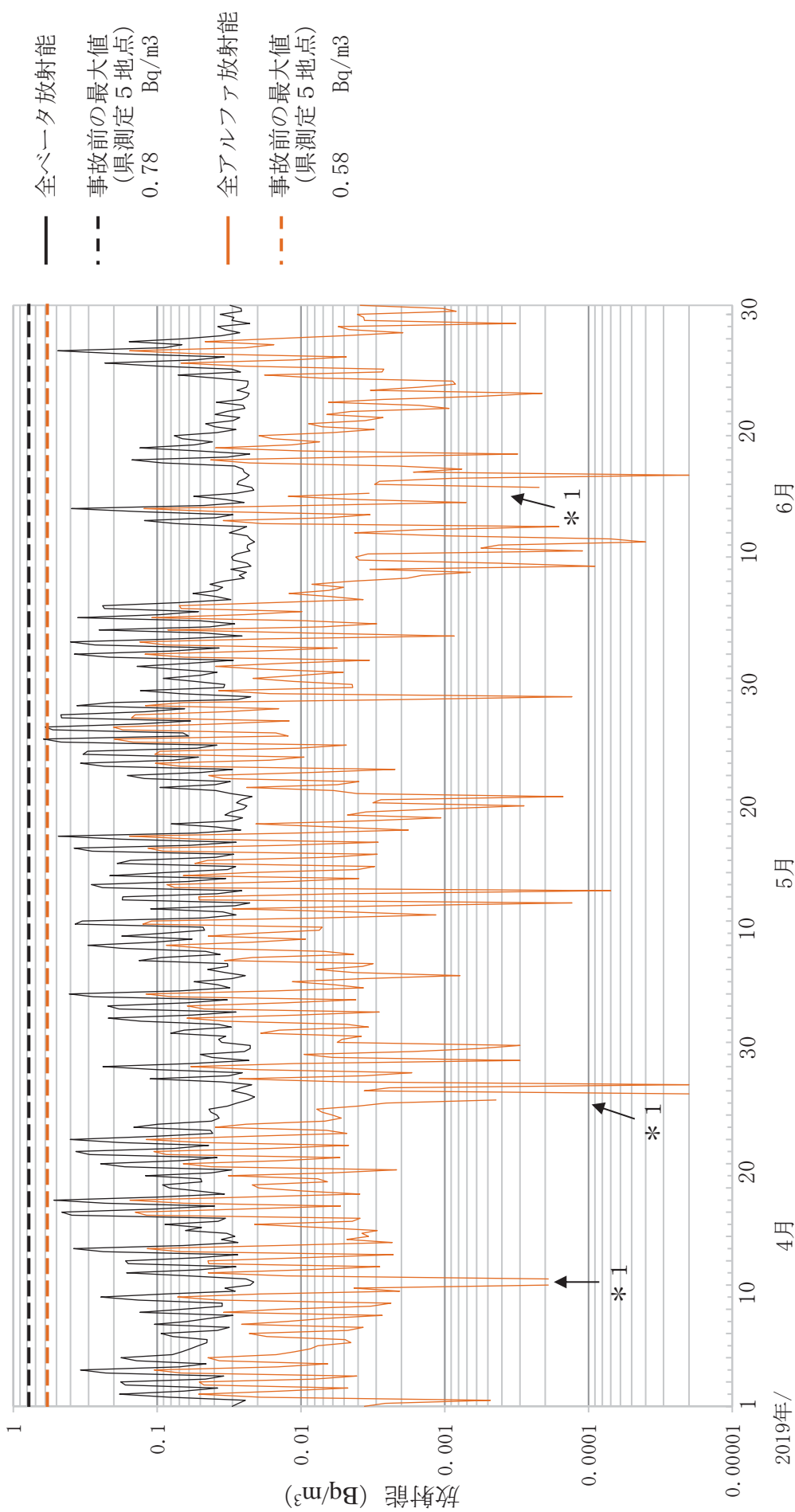
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

8 大熊町大野
(平成31年4月1日～6月30日)



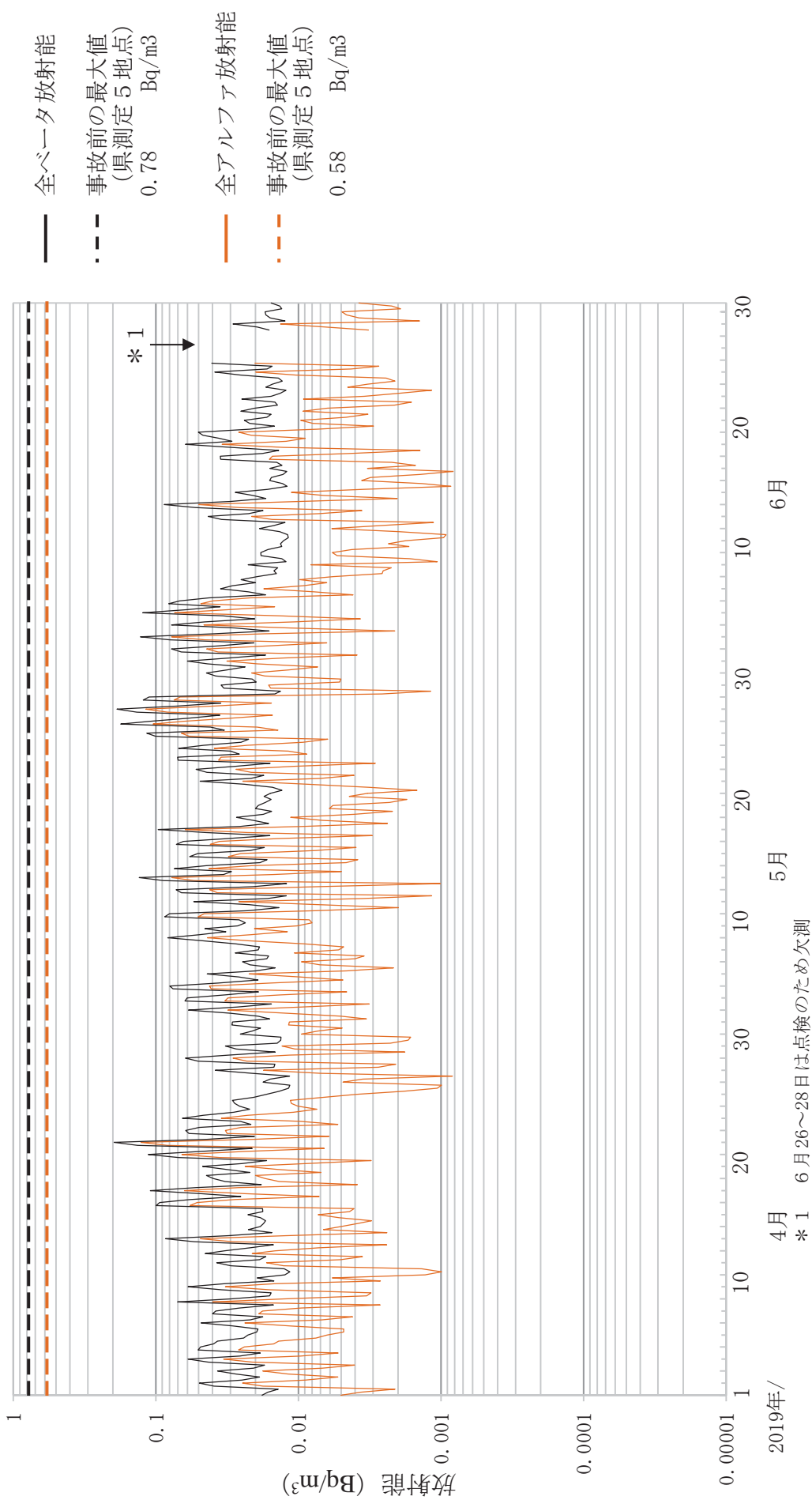
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

9 大熊町夫沢
(平成31年4月1日～6月30日)



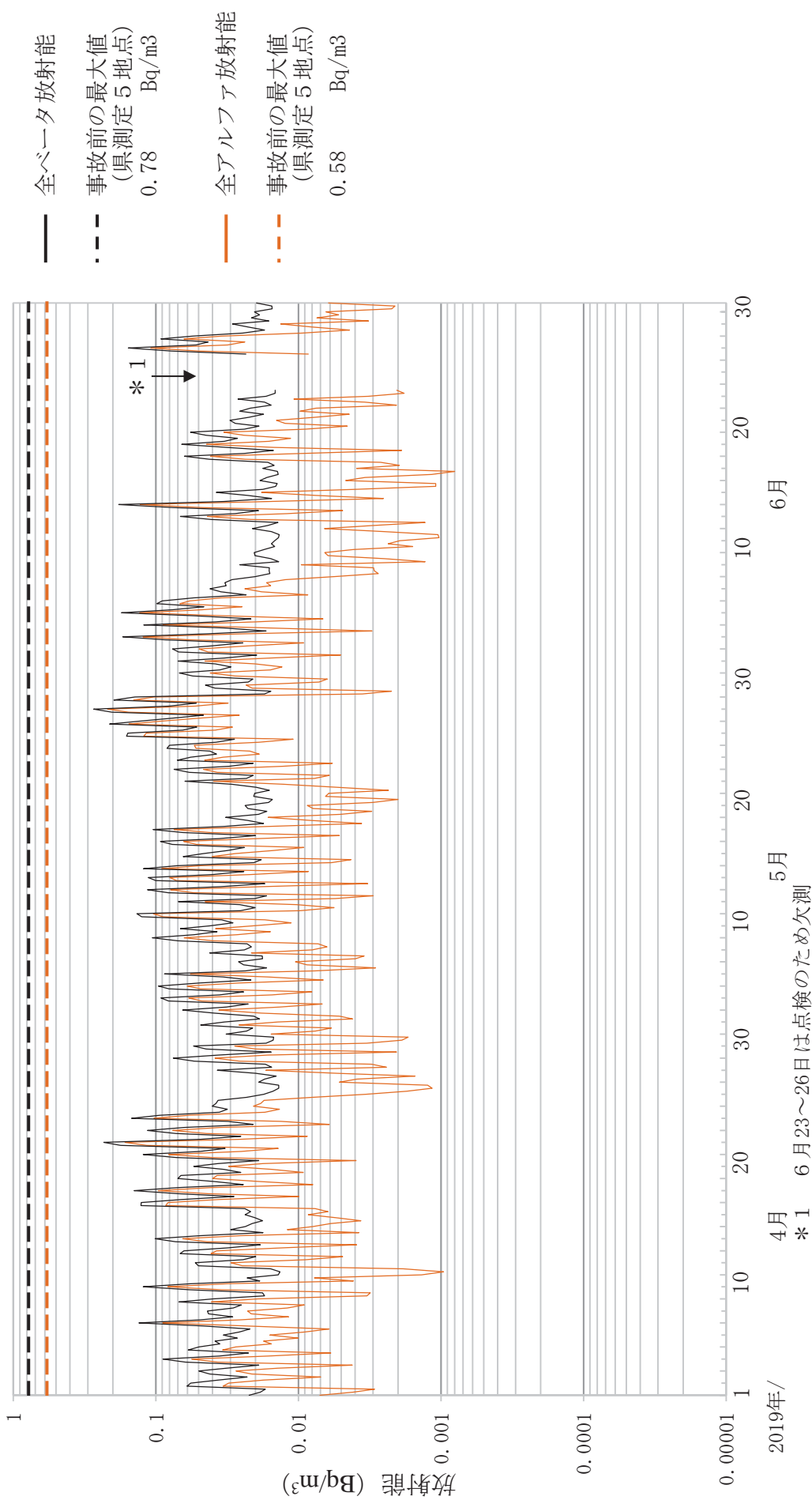
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

10 双葉町郡山
(平成31年4月1日～6月30日)



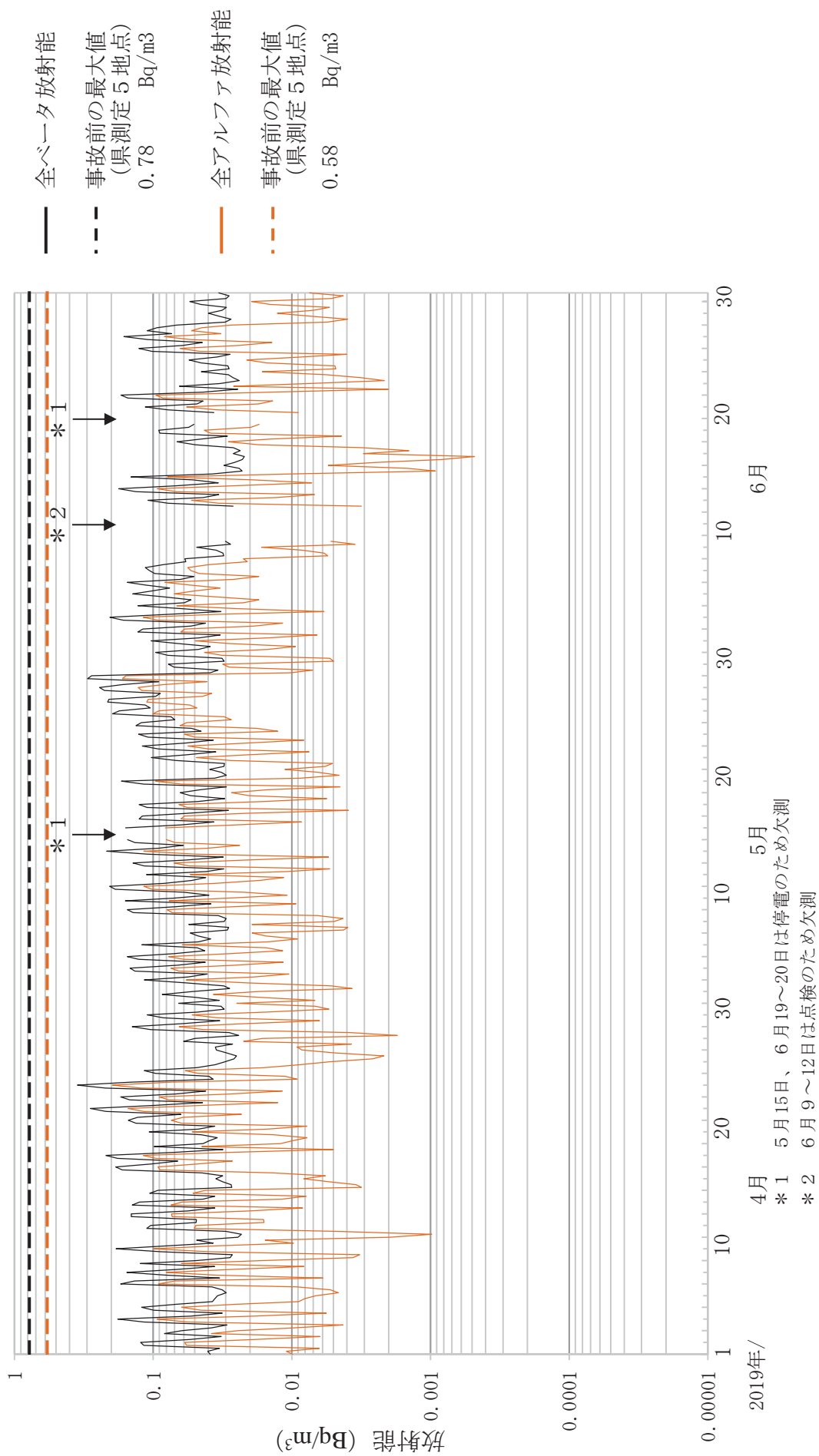
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

11 浪江町幾世橋
(平成31年4月1日～6月30日)



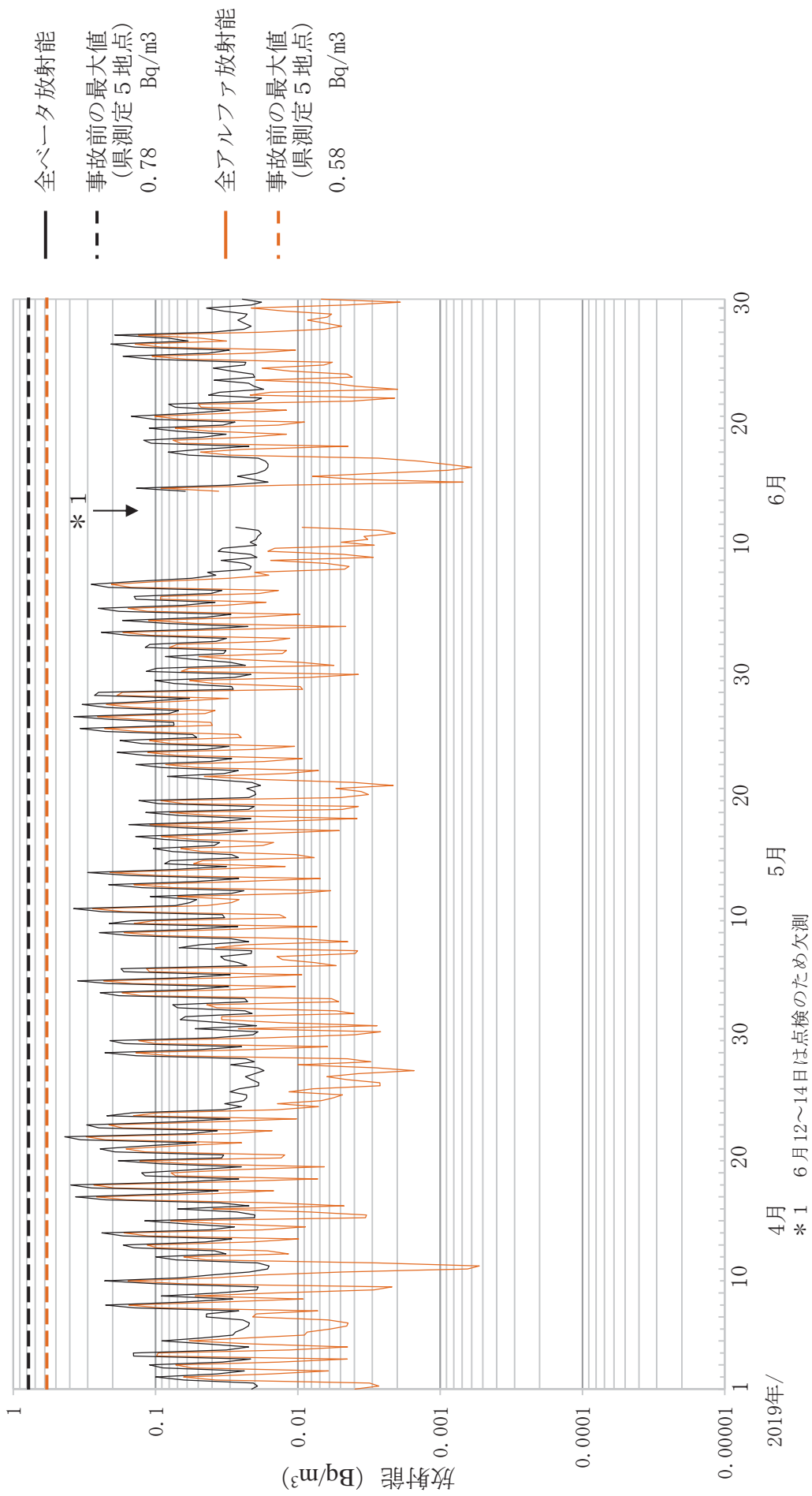
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

12 浪江町大柿ダム
(平成31年4月1日～6月30日)



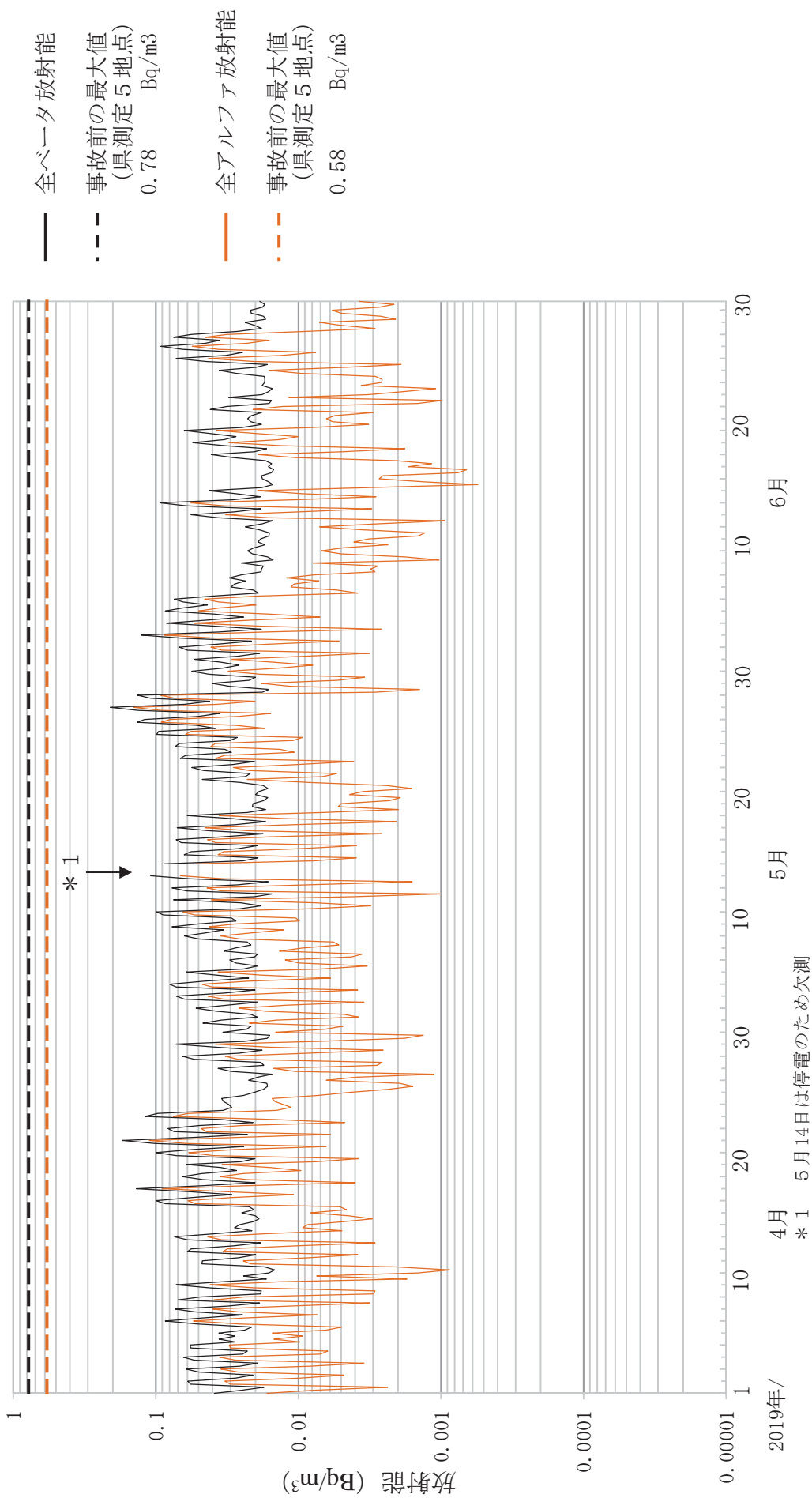
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

13 葛尾村夏湯
(平成31年4月1日～6月30日)



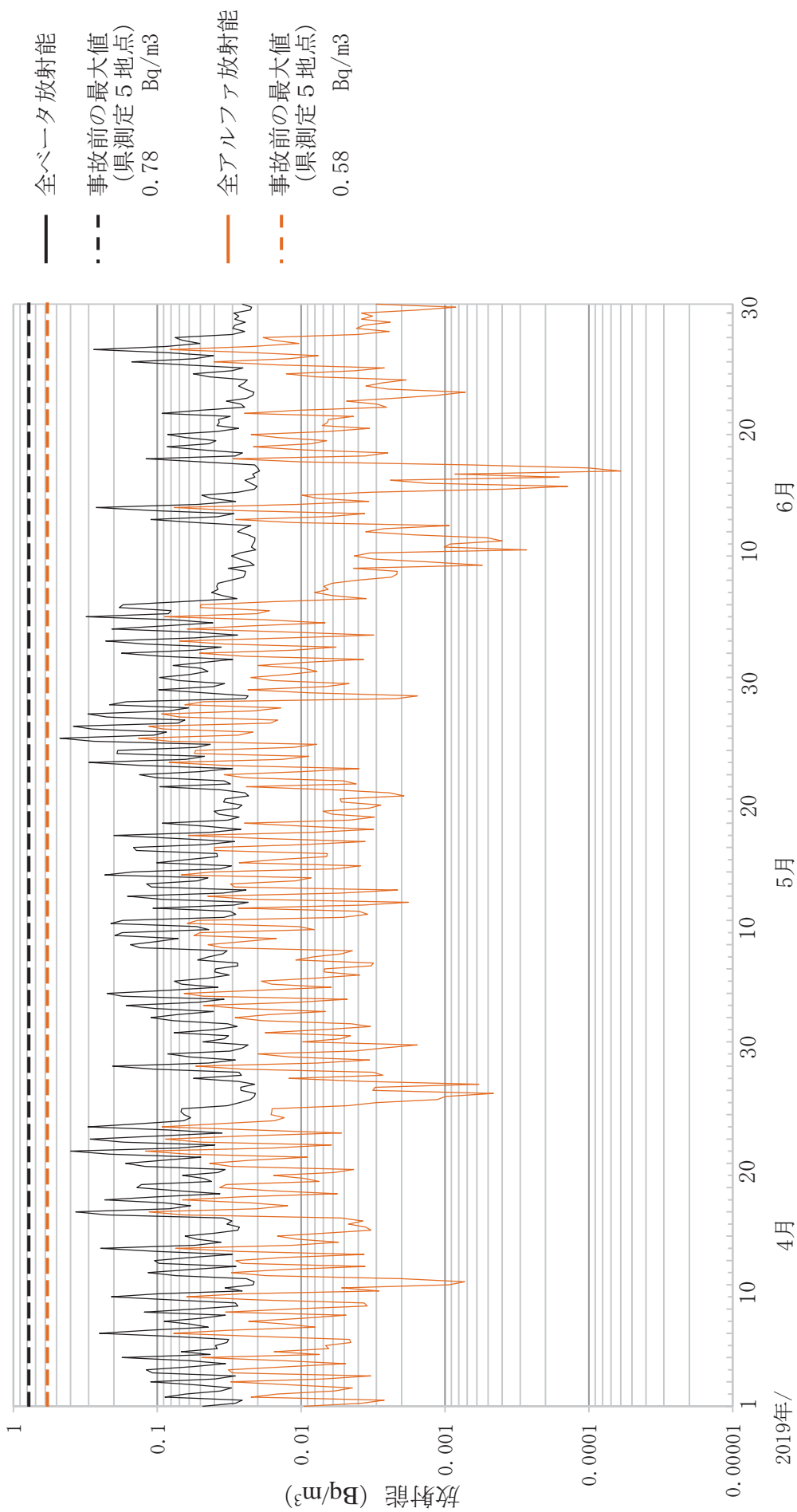
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

14 南相馬市泉沢
(平成31年4月1日～6月30日)



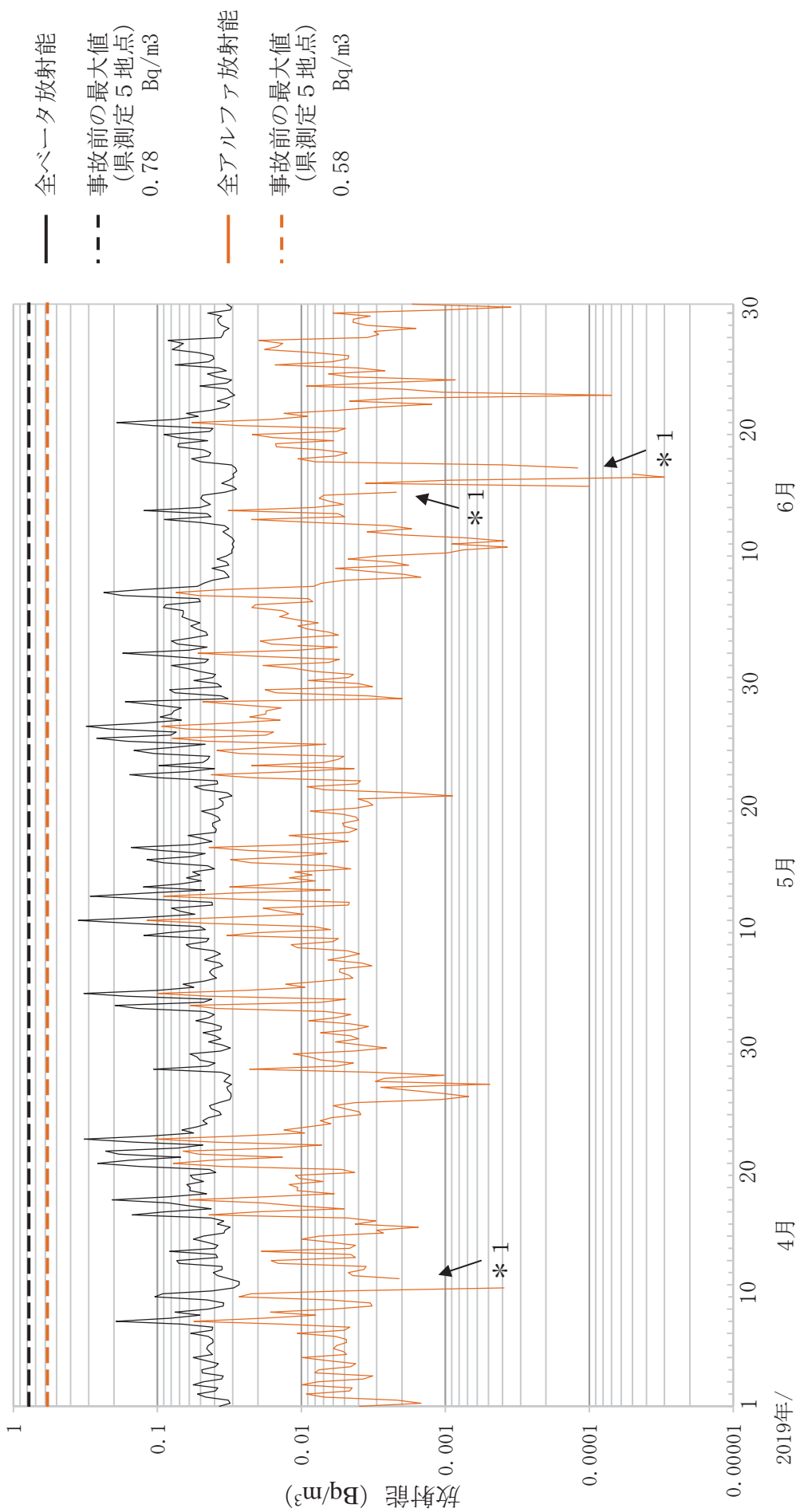
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

15 南相馬市萱浜
(平成31年4月1日～6月30日)



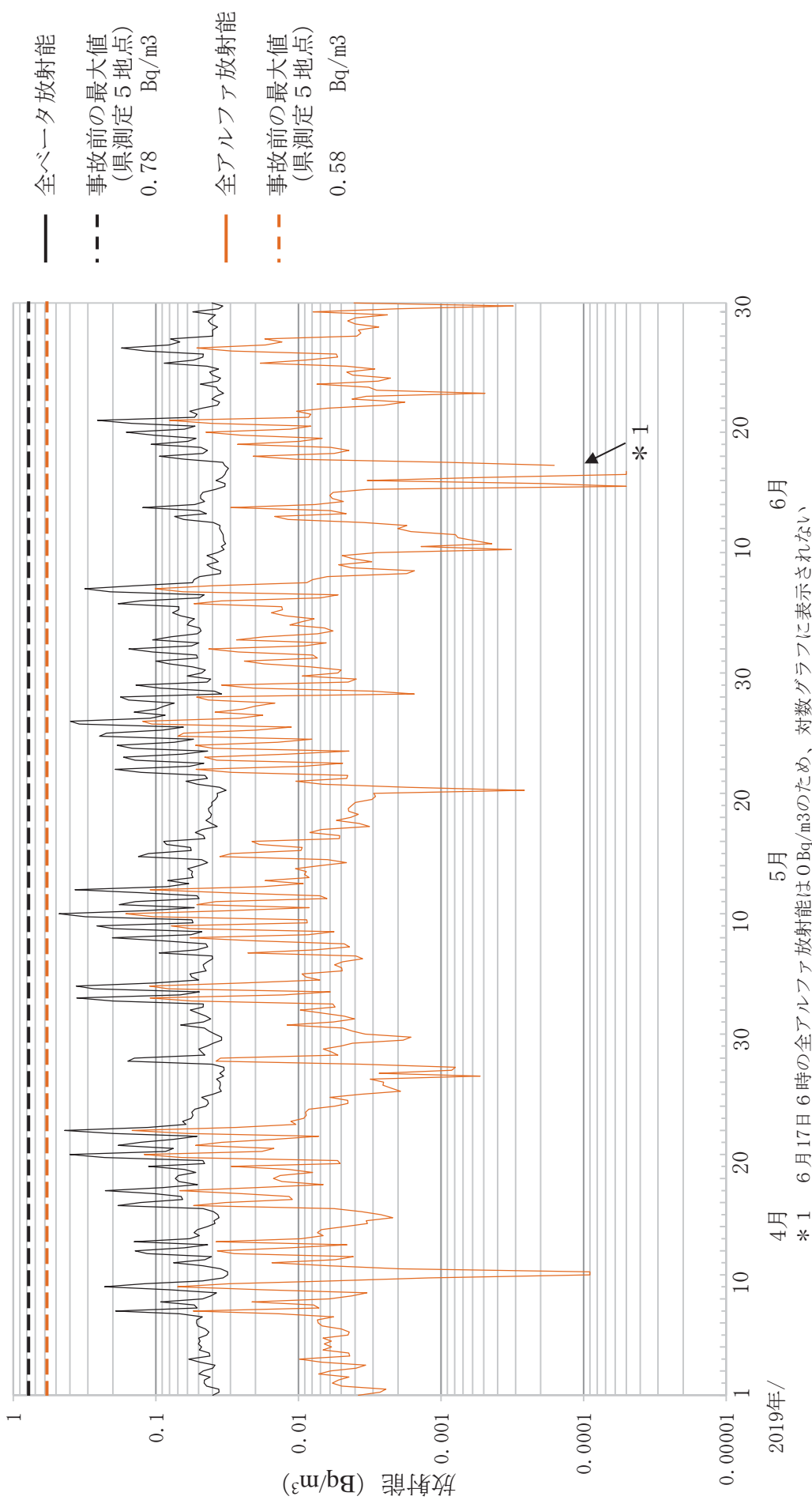
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

16 飯館村伊丹沢
(平成31年4月1日～6月30日)



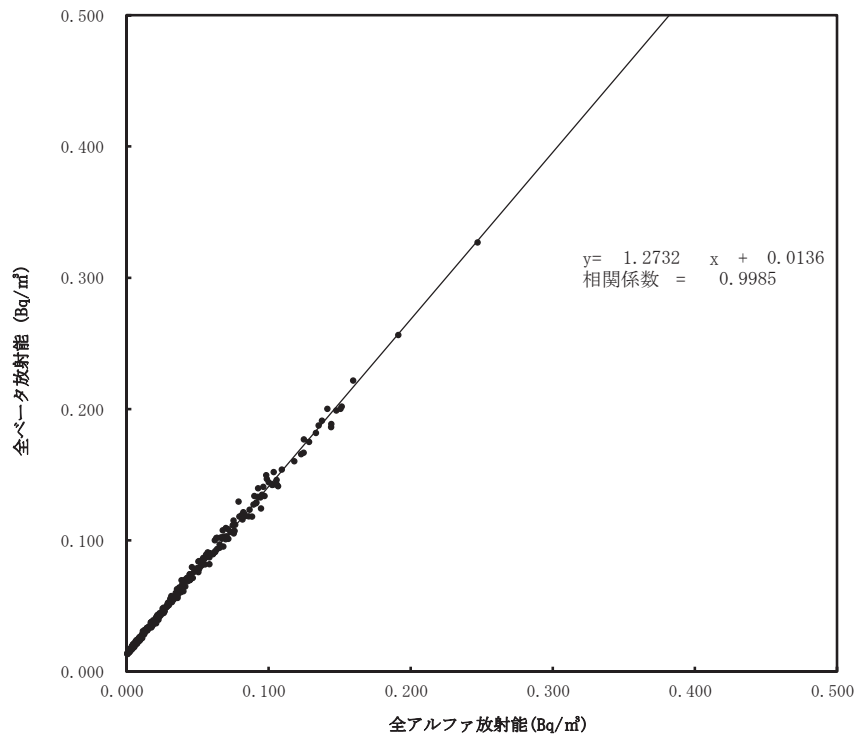
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

17 川俣町山木屋
(平成31年4月1日～6月30日)



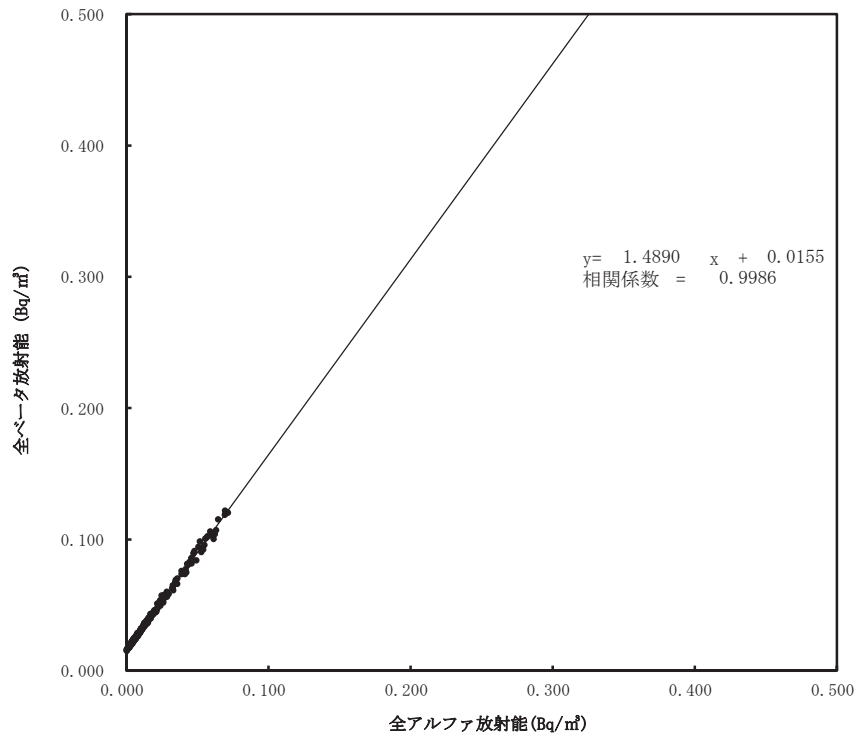
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(いわき市小川)



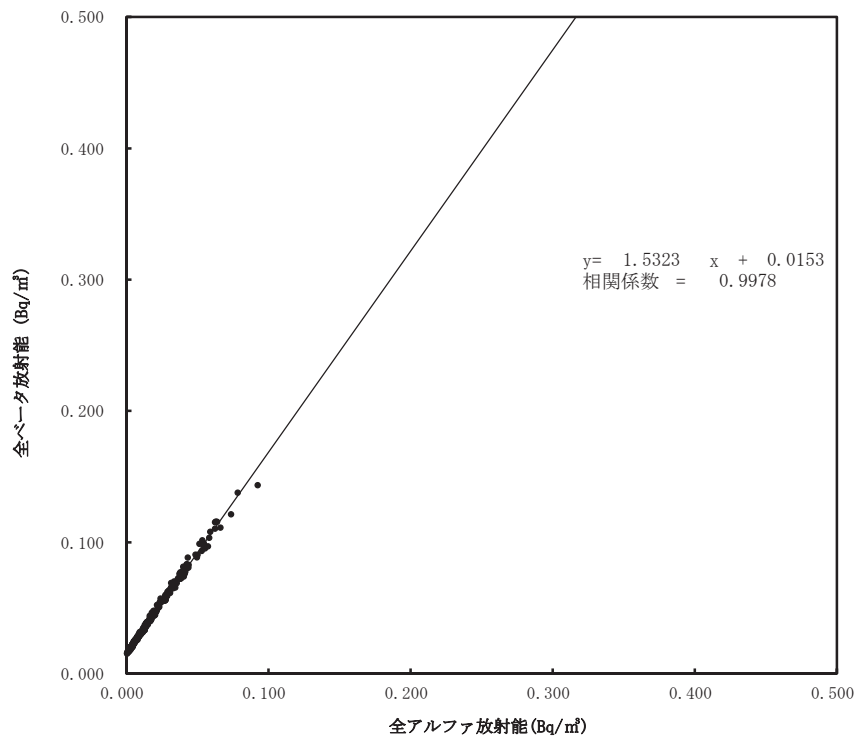
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(田村市都路馬洗戸)



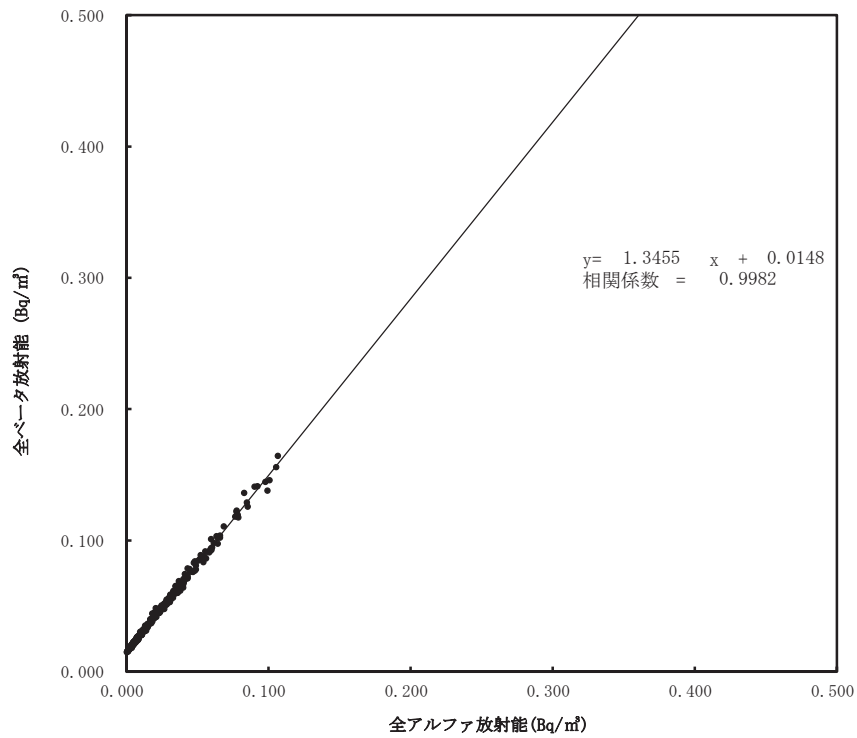
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(広野町小滝平)



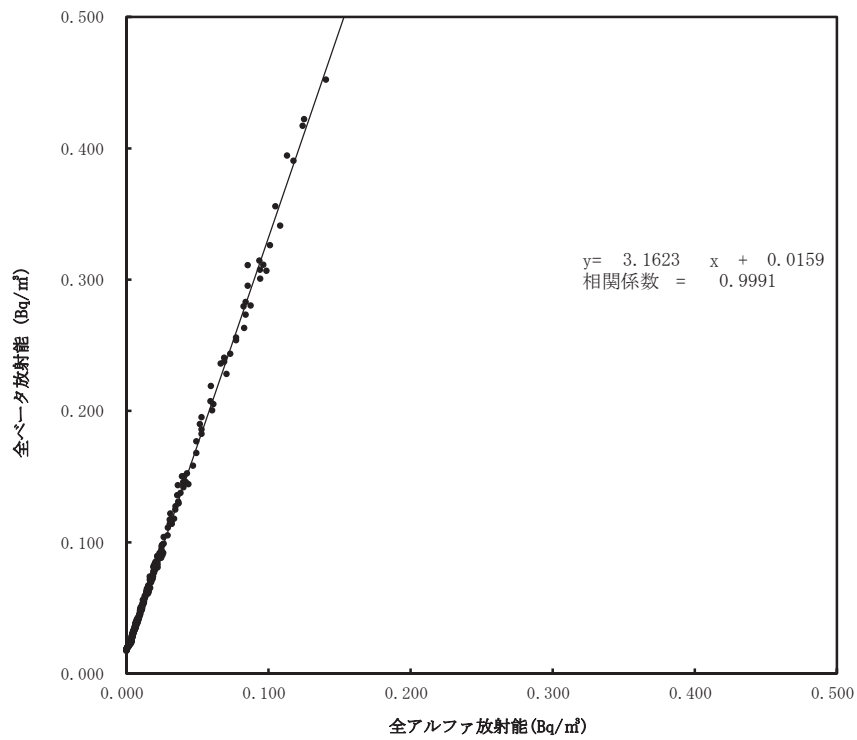
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(檜葉町木戸ダム)



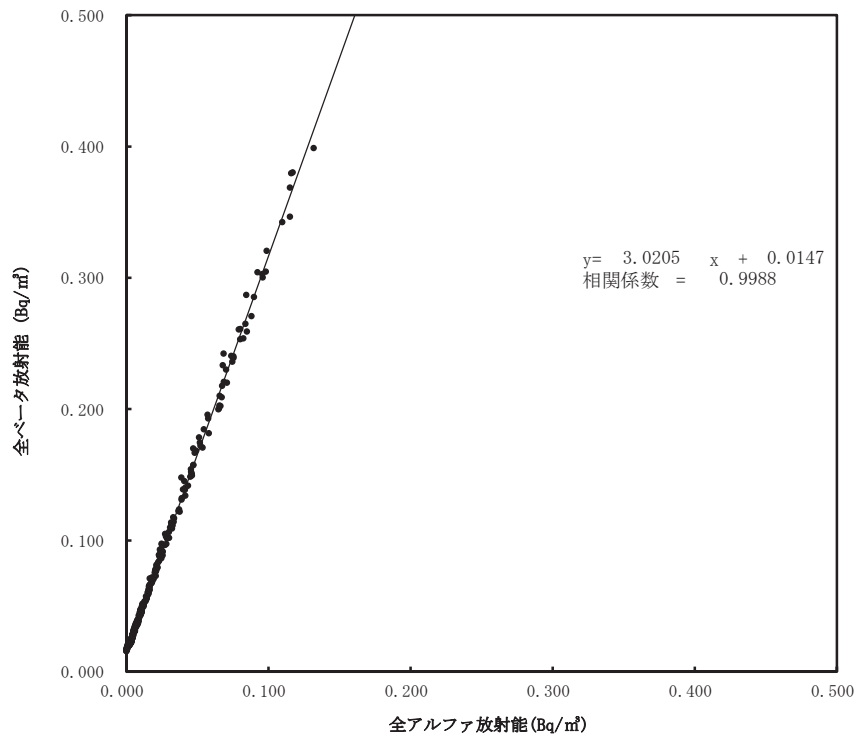
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(檜葉町繁岡)



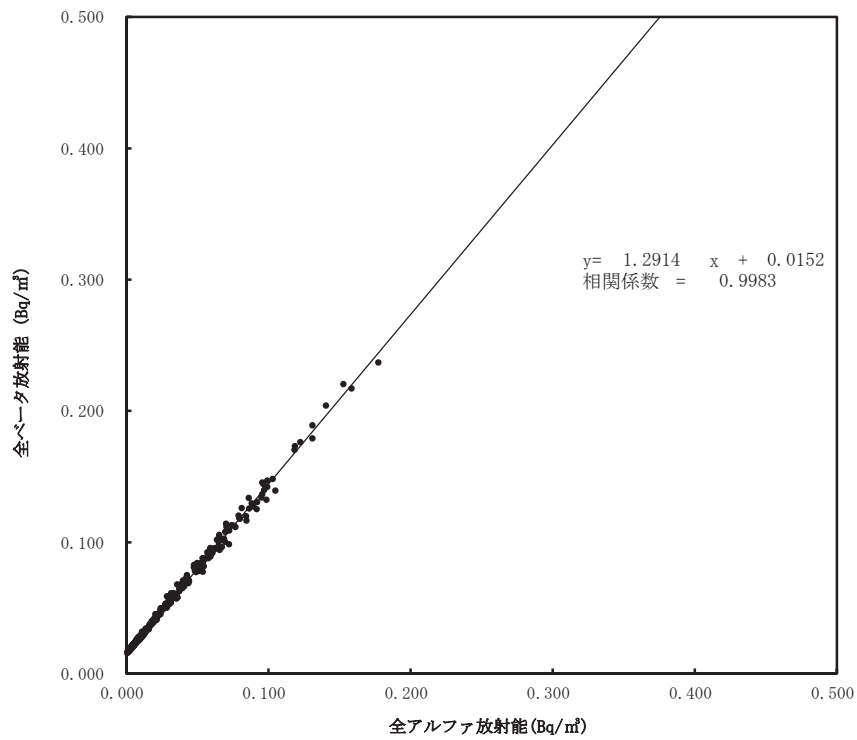
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(富岡町富岡)



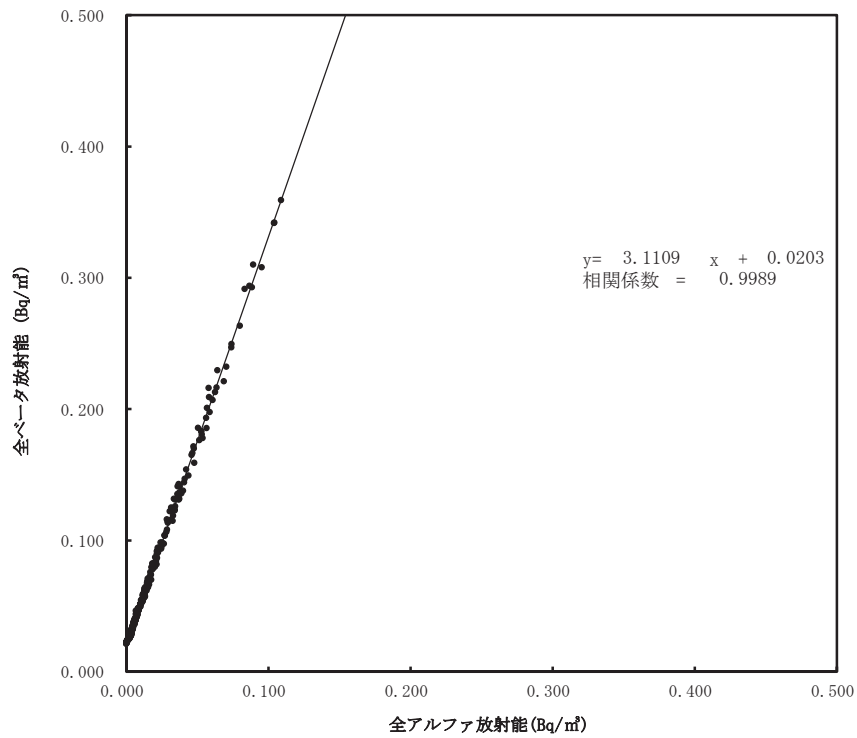
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(川内村下川内)



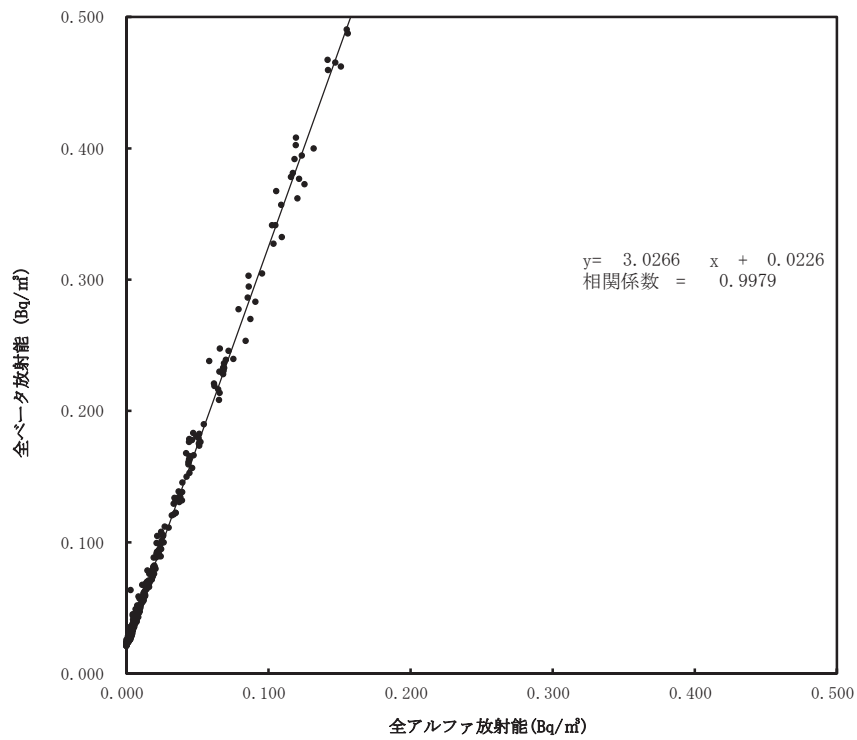
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(大熊町大野)



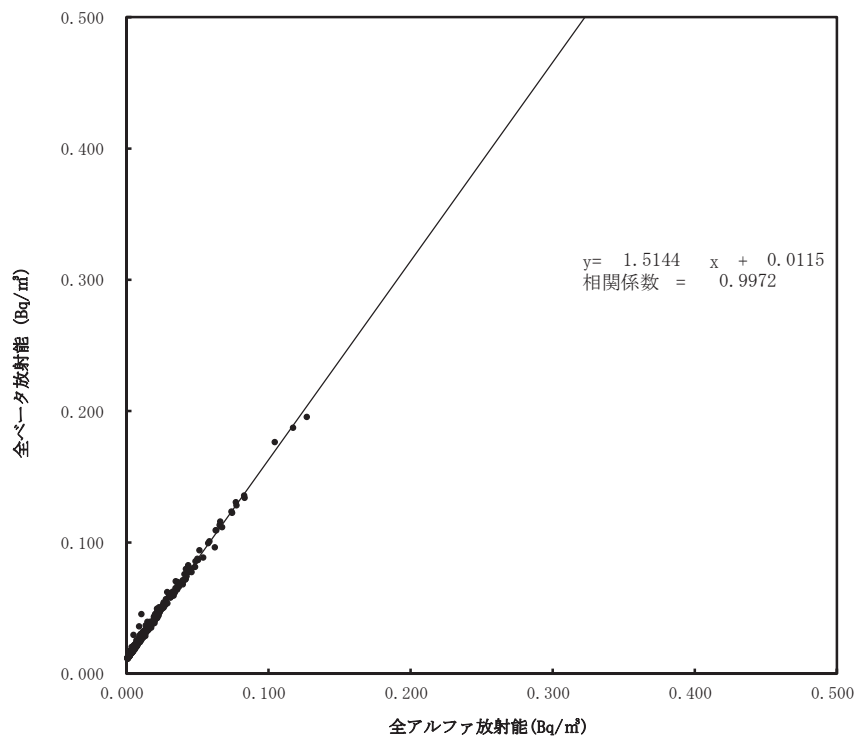
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(大熊町夫沢)



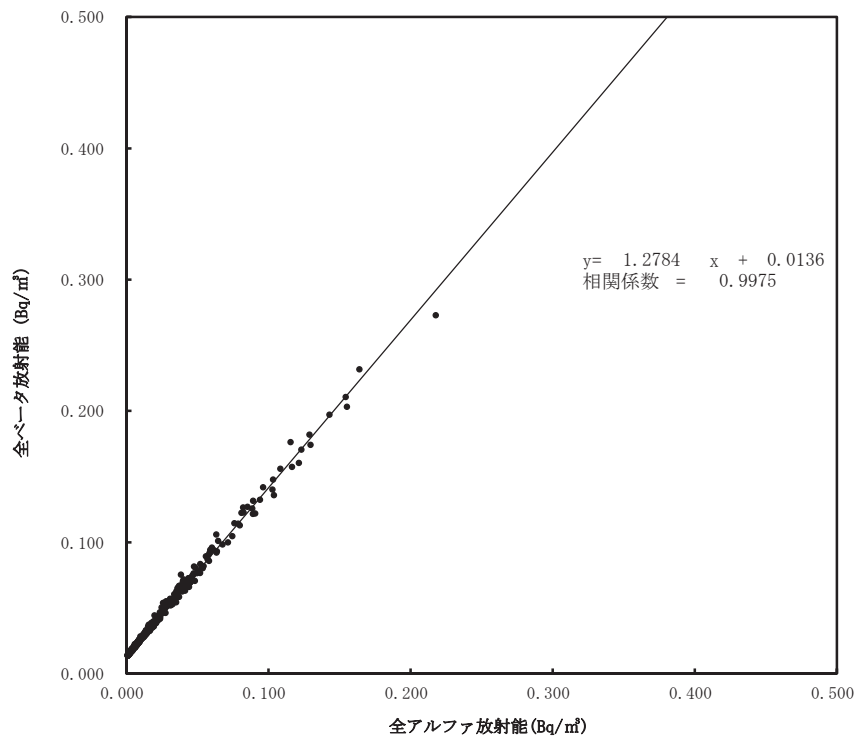
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(双葉町郡山)



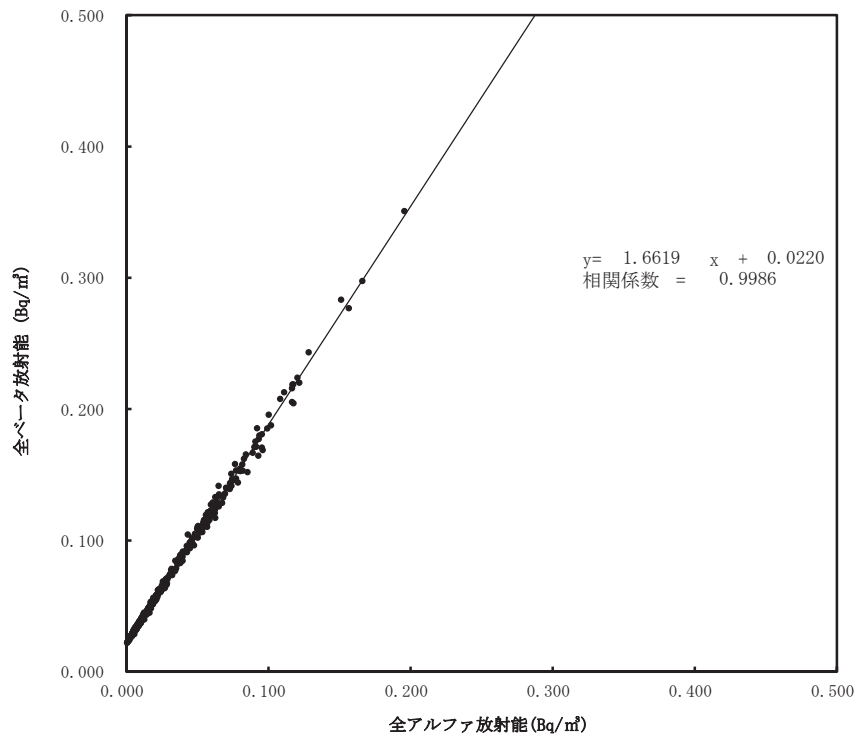
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(浪江町幾世橋)



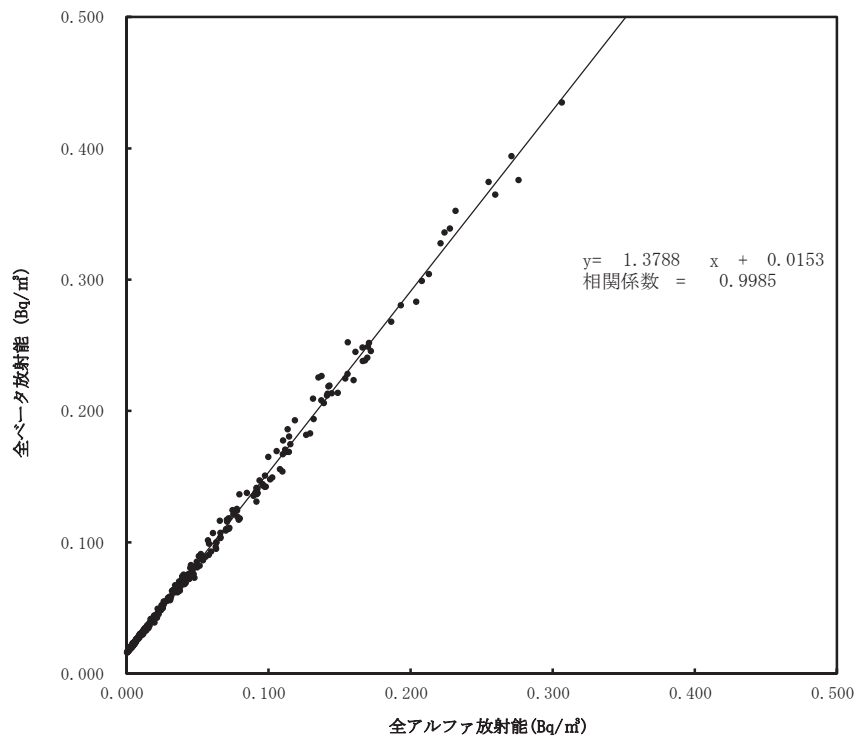
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(浪江町大柿ダム)



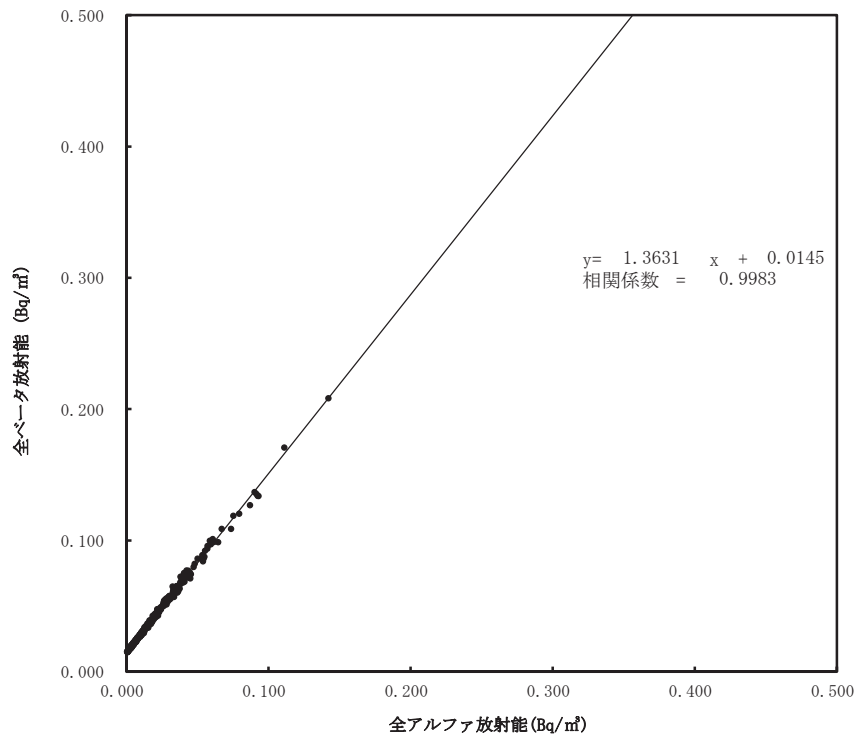
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(葛尾村夏湯)



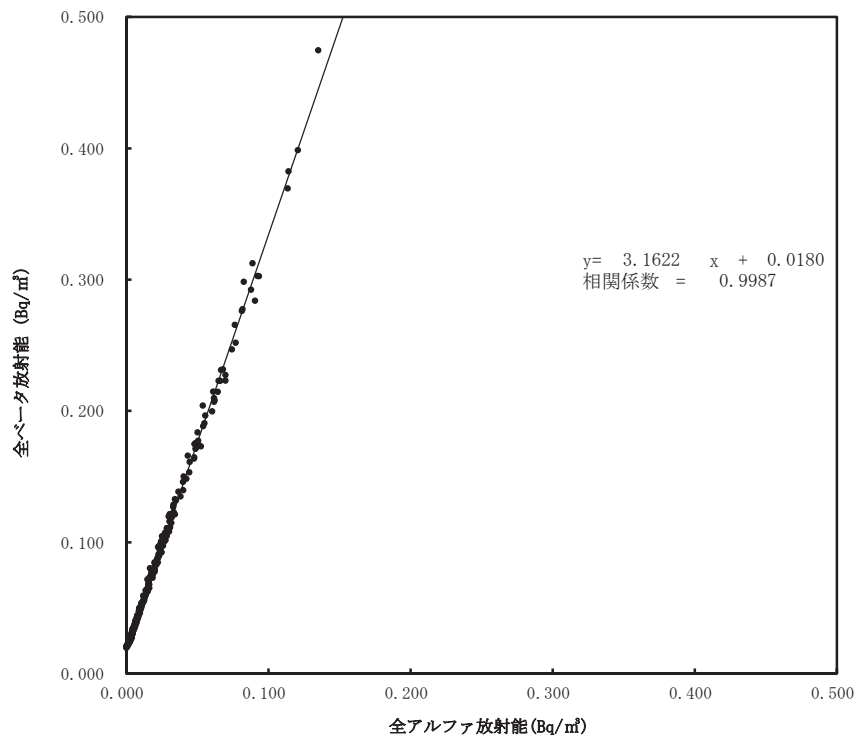
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(南相馬市泉沢)



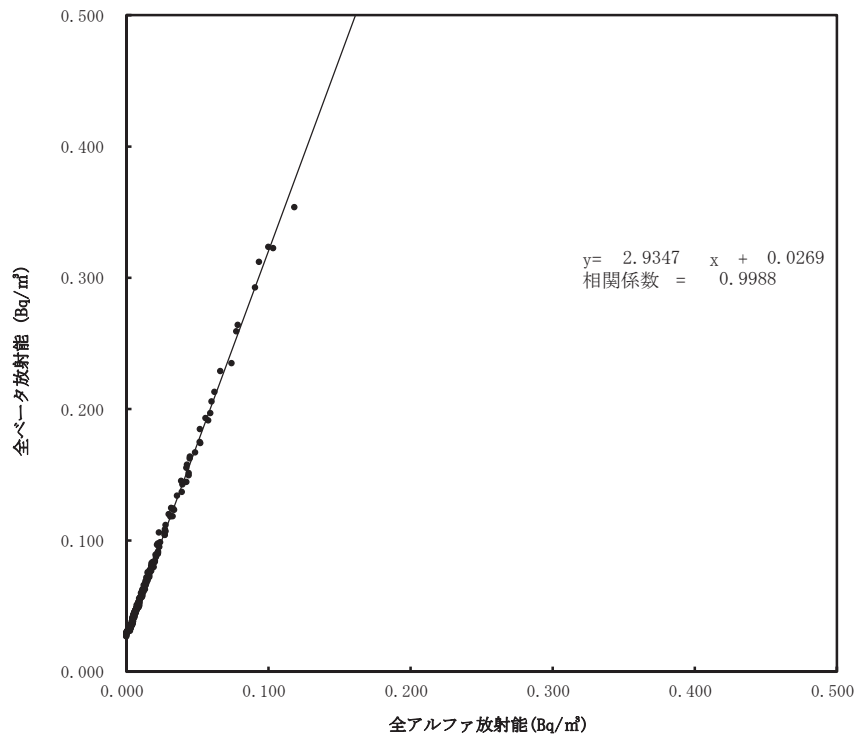
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(南相馬市萱浜)



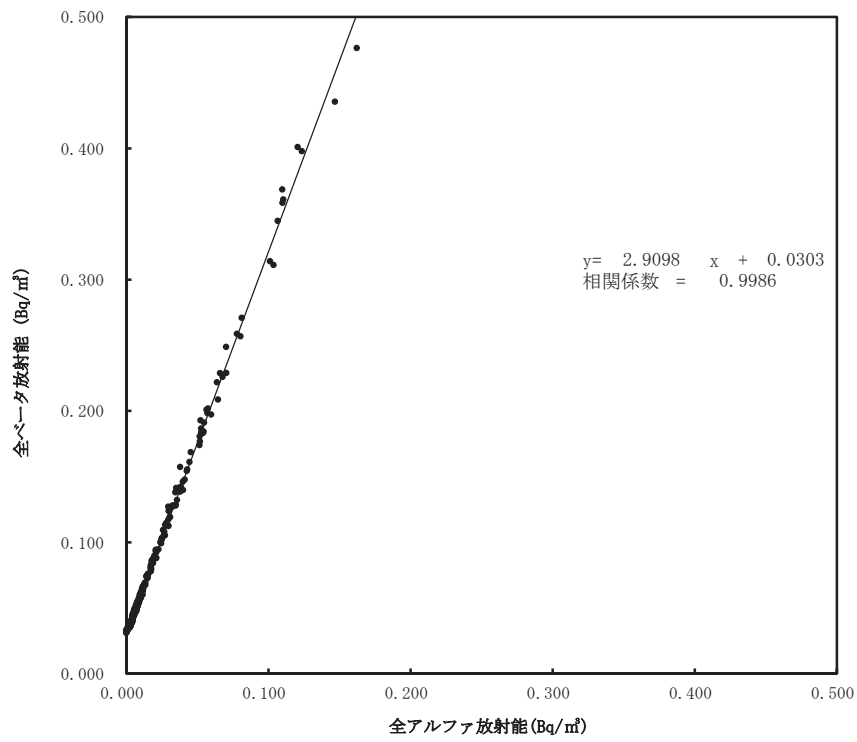
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(飯館村伊丹沢)

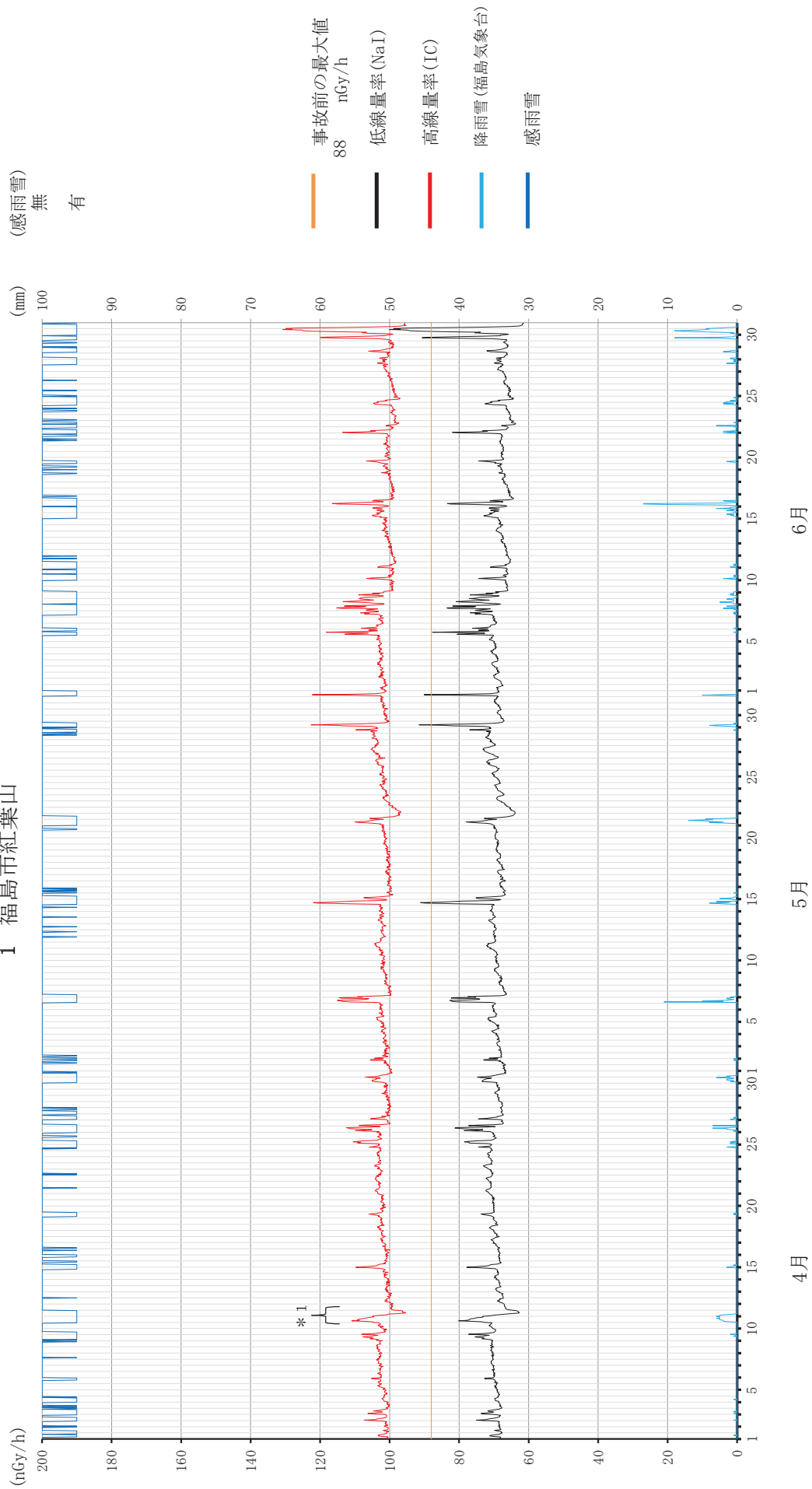


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(川俣町山木屋)

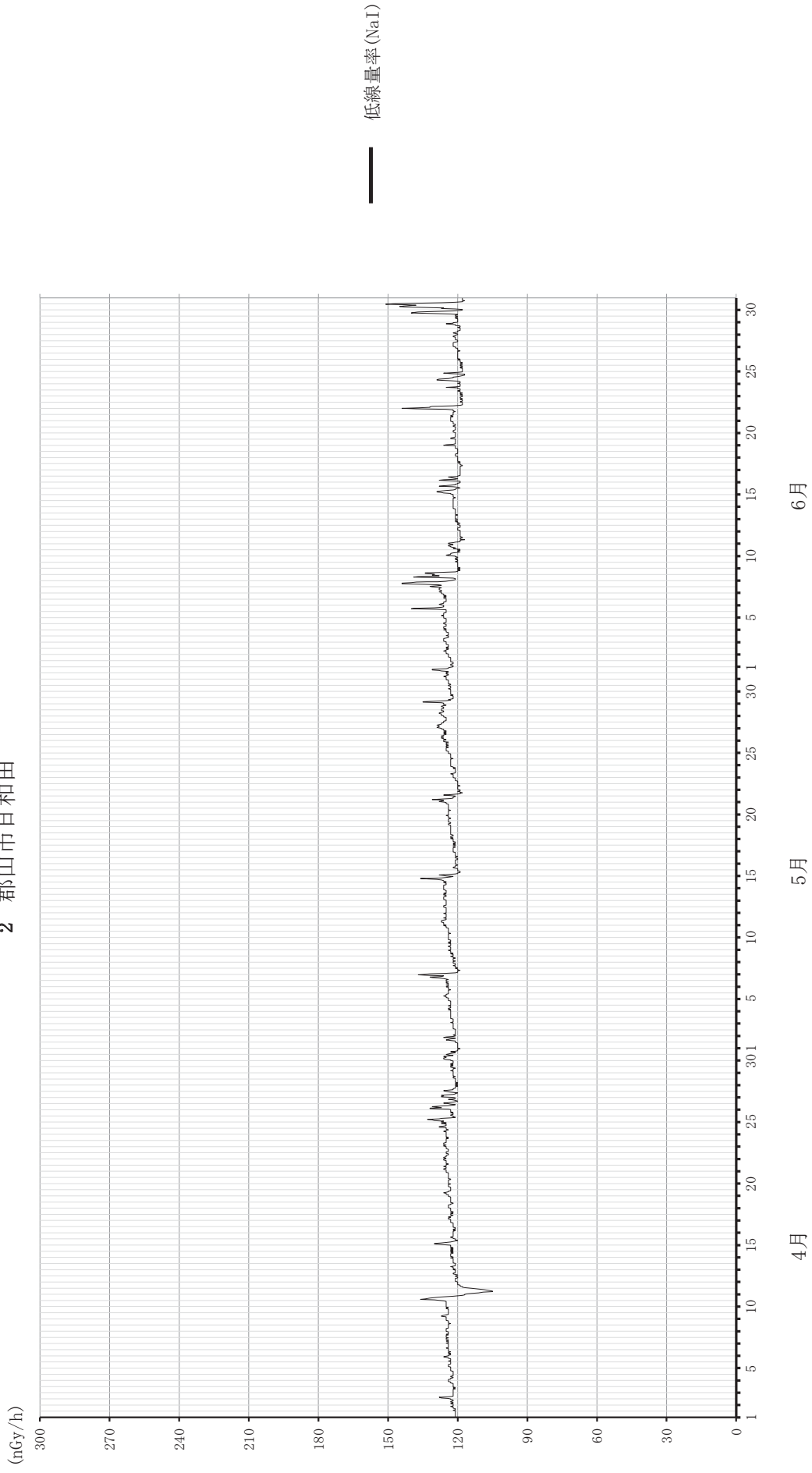


空間線量率の変動グラフ
1 福島市紅葉山



* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
2 郡山市日和田



空間線量率の変動グラフ 3 いわき市平

